

9. 動物

9.1 調査実施状況	9-1
9.2 調査結果	9-3
(1) 哺乳類生息確認種一覧	9-3
(2) 鳥類ライン・定点センサス結果	9-4
(3) 猛禽類確認状況	9-12
(4) 両生類・爬虫類生息確認種一覧	9-206
(5) 昆虫類時期別確認種一覧	9-207
(6) 土壌動物時期別地点別確認種一覧	9-216
(7) 魚類生息確認種一覧	9-220
(8) 底生生物生息確認種一覧	9-221
(9) 底生生物地点別確認種一覧	9-223

9. 動物

9.1 調査実施状況

調査項目	調査方法	実施時期
哺乳類	任意踏査	・ 春季（平成26年4月14～16,25日） ・ 夏季（平成26年7月8,15,29日） ・ 秋季（平成25年11月26～28日） ・ 冬季（平成26年1月23,28,30日）
	センサーカメラ	・ 春季（平成26年4月14～28日） ・ 夏季（平成26年7月1～15日） ・ 秋季（平成25年11月12～26日） ・ 冬季（平成26年1月17～30日）
	トラップ調査	・ 春季（平成26年4月14～16日） ・ 秋季（平成25年11月26～28日）
鳥 類	ラインセンサス	・ 春季（平成26年4月22～24日） ・ 繁殖期（平成26年6月13,20,23,24日）
	ポイントセンサス	・ 夏季（平成26年7月11,18,28日） ・ 秋季（平成25年10月30日～11月1日）
	任意踏査	・ 冬季（平成26年2月25～27日）
爬虫類 両生類	任意踏査	・ 春季（平成26年4月14～16,25日） ・ 夏季（平成26年7月8,15,29日） ・ 秋季（平成25年10月29日～11月1日）
昆虫類	任意採集	・ 春季（平成26年5月15,16,29,30日）
	ピットフォールトラップ	・ 夏季（平成26年7月2,3,22,23日）
	ライトトラップ	・ 秋季（平成25年10月30日～11月1日）
クモ類	任意踏査	・ 春季（平成15年4月14日～4月15日） ・ 夏季（平成14年6月30日～7月1日,7月8日） ・ 秋季（平成14年10月4日,10月28日）
土壌動物	土壌動物採取	・ 春季（平成15年4月14日） ・ 夏季（平成14年7月8日） ・ 秋季（平成14年10月28日）
陸産貝類	任意踏査	・ 春季（平成15年4月14日～4月15日） ・ 夏季（平成14年6月30日～7月1日,7月8日） ・ 秋季（平成14年10月28日,平成14年10月31日,平成14年11月8日）
魚 類	任意採集	・ 春季（平成26年5月12日） ・ 夏季（平成26年7月24日） ・ 秋季（平成25年11月19～20日） ・ 冬季（平成26年2月3～4日）
底生生物	コドラート調査 任意採集	・ 春季（平成15年4月24日～4月25日,平成17年5月24日,平成17年6月1日） ・ 夏季（平成14年8月8日～8月9日） ・ 秋季（平成14年10月17日～10月18日） ・ 冬季（平成14年12月24日～12月25日）

調査年月日	定点現地調査													繁殖状況調査
	St1	St2	St3	St4	St5	St6	St7	St8	St9	St10	St11	St12	St13	
平成 25 年 2 月 21 日	○		○			○	○				○			
平成 25 年 2 月 22 日	○		○			○	○				○			
平成 25 年 3 月 7 日	○		○			○	○				○			
平成 25 年 3 月 8 日	○		○			○	○				○			
平成 25 年 3 月 19 日														○
平成 25 年 4 月 20 日	○		○	○		○	○			○	○			
平成 25 年 4 月 21 日	○		○			○	○			○	○			
平成 25 年 4 月 25 日														○
平成 25 年 5 月 13 日	○		○				○			○	○			
平成 25 年 5 月 14 日	○		○		○					○	○			
平成 25 年 5 月 20 日														○
平成 25 年 6 月 17 日	○		○		○	○	○				○			
平成 25 年 6 月 18 日			○		○	○	○			○	○			
平成 25 年 6 月 24 日														○
平成 25 年 7 月 3 日	○		○		○		○			○	○			
平成 25 年 7 月 4 日	○		○		○					○	○			
平成 25 年 7 月 5 日														○
平成 25 年 8 月 9 日														○
平成 26 年 2 月 25 日	○		○				○	○			○			
平成 26 年 2 月 26 日	○		○			○	○			○	○			
平成 26 年 3 月 7 日	○		○			○	○				○			
平成 26 年 3 月 8 日	○		○				○					○	○	
平成 26 年 3 月 13 日														○
平成 26 年 4 月 26 日			○		○		○			○	○	○		
平成 26 年 4 月 27 日	○		○				○			○	○	○		
平成 26 年 5 月 9 日														○
平成 26 年 5 月 26 日			○				○			○	○	○		
平成 26 年 5 月 27 日	○		○				○				○	○	○	
平成 26 年 5 月 30 日														○
平成 26 年 6 月 4 日	○		○				○		○		○			
平成 26 年 6 月 5 日	○		○				○			○	○	○		
平成 26 年 6 月 20 日														○
平成 26 年 7 月 2 日	○		○				○				○	○		
平成 26 年 7 月 3 日	○		○				○	○			○			
平成 26 年 7 月 4 日														○
平成 26 年 8 月 6 日														○

9.2 調査結果

哺乳類生息確認種一覧

目名	科名	種名（和名、学名）	秋	冬	春	夏
モグラ	モグラ	ヒミズ <i>Urotrichus talpoides</i>			○	
		アズマモグラ <i>Mogera imaizumii</i>	○	○	○	
ウサギ	ウサギ	ノウサギ <i>Lepus brachyurus</i>	○	○	○	○
ネズミ	リス	ニホンリス <i>Sciurus lis</i>	○		○	
	ネズミ	アカネズミ <i>Apodemus speciosus speciosus</i>	○		○	
		ヒメネズミ <i>Apodemus argenteus argenteus</i>	○			
ネコ	イヌ	タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>	○	○	○	○
		キツネ <i>Vulpes vulpes japonica</i>				○
	イタチ	テン <i>Martes melampus melampus</i>	○	○	○	○
		イタチ <i>Mustela itatsi itatsi</i>	○		○	○
	ジャコウネコ	ハクビシン <i>Paguma larvata</i>	○		○	○
ウシ	イノシシ	イノシシ <i>Sus scrofa leucomystax</i>	○	○	○	○
5目	8科	12種	10種	5種	10種	7種

注) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト [平成24年度版]」に準拠した。

鳥類ラインセンサス結果（ライン1）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
カワラヒワ	6	18.8
ヒヨドリ	5	15.6
シジュウカラ	4	12.5
ホオジロ	4	12.5
スズメ	3	9.4
ハシブトガラス	3	9.4
モズ	2	6.3
カケス	2	6.3
コゲラ	1	3.1
ガビチョウ	1	3.1
ウグイス	1	3.1
合 計	11 種 32 個体	100.0

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	9	30.0
ツバメ	4	13.3
メジロ	4	13.3
ウグイス	3	10.0
ガビチョウ	2	6.7
エナガ	2	6.7
カワラヒワ	2	6.7
コゲラ	1	3.3
キビタキ	1	3.3
ホオジロ	1	3.3
ハシブトガラス	1	3.3
合 計	11 種 30 個体	100.0

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
エナガ	6	20.7
ホオジロ	5	17.2
シジュウカラ	4	13.8
コガモ	2	6.9
ツグミ	2	6.9
ガビチョウ	2	6.9
カワラヒワ	2	6.9
マガモ	1	3.4
コゲラ	1	3.4
モズ	1	3.4
ジョウビタキ	1	3.4
イカル	1	3.4
カケス	1	3.4
合 計	13 種 29 個体	100.0

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	14	43.8
メジロ	7	21.9
ウグイス	4	12.5
コゲラ	2	6.3
キジバト	1	3.1
ツバメ	1	3.1
ガビチョウ	1	3.1
ヤマガラ	1	3.1
ホオジロ	1	3.1
合 計	9 種 32 個体	100.0

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	7	13.7
ツグミ	6	11.8
ウグイス	6	11.8
カルガモ	5	9.8
エナガ	5	9.8
シジュウカラ	4	7.8
ホオジロ	4	7.8
カワラヒワ	3	5.9
ツバメ	2	3.9
コガモ	1	2.0
キジバト	1	2.0
ガビチョウ	1	2.0
ヤブサメ	1	2.0
センダイムシクイ	1	2.0
キビタキ	1	2.0
メジロ	1	2.0
カケス	1	2.0
ハシブトガラス	1	2.0
合 計	18 種 51 個体	100.0

鳥類ラインセンサス結果（ライン2）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	15	17.0
エナガ	11	12.5
シジュウカラ	10	11.4
カワラヒワ	8	9.1
アオジ	7	8.0
ヤマガラ	6	6.8
ホオジロ	5	5.7
カケス	5	5.7
キジバト	3	3.4
ウグイス	3	3.4
ベニマシコ	3	3.4
コゲラ	2	2.3
セグロセキレイ	2	2.3
モズ	2	2.3
ジョウビタキ	2	2.3
ハシブトガラス	2	2.3
キセキレイ	1	1.1
ガビチョウ	1	1.1
合 計	18 種	100.0
	88 個体	

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
カワラヒワ	18	23.1
ホオジロ	12	15.4
エナガ	10	12.8
シジュウカラ	6	7.7
カケス	6	7.7
アトリ	5	6.4
キジバト	3	3.8
アカゲラ	3	3.8
ツグミ	3	3.8
アオジ	3	3.8
コゲラ	2	2.6
ジョウビタキ	2	2.6
カシラダカ	2	2.6
キセキレイ	1	1.3
ヒヨドリ	1	1.3
ベニマシコ	1	1.3
合 計	16 種	100.0
	78 個体	

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	25	33.8
カワラヒワ	7	9.5
スズメ	6	8.1
キジバト	5	6.8
ウグイス	5	6.8
ツグミ	4	5.4
ヤマガラ	3	4.1
メジロ	3	4.1
カルガモ	2	2.7
コゲラ	2	2.7
ガビチョウ	2	2.7
エナガ	2	2.7
アオサギ	1	1.4
ノスリ	1	1.4
キセキレイ	1	1.4
キビタキ	1	1.4
オオルリ	1	1.4
ムクドリ	1	1.4
ハシボソガラス	1	1.4
ハシブトガラス	1	1.4
合 計	20 種	100.0
	74 個体	

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	14	45.2
ガビチョウ	3	9.7
ウグイス	2	6.5
メジロ	2	6.5
ハシブトガラス	2	6.5
アオサギ	1	3.2
トビ	1	3.2
キジバト	1	3.2
コゲラ	1	3.2
ツバメ	1	3.2
セグロセキレイ	1	3.2
ホオジロ	1	3.2
スズメ	1	3.2
合 計	13 種	100.0
	31 個体	

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	20	48.8
ウグイス	4	9.8
ガビチョウ	4	9.8
アオサギ	2	4.9
キジバト	2	4.9
コゲラ	2	4.9
シジュウカラ	2	4.9
メジロ	2	4.9
サシバ	1	2.4
ホオジロ	1	2.4
ヤマガラ	1	2.4
合計	11 種	100.0
	41 個体	

鳥類ラインセンサス結果（ライン3）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	4	28.6
シジュウカラ	3	21.4
カケス	3	21.4
コゲラ	2	14.3
ヤマガラ	2	14.3
合 計	5 種	100.0
	14 個体	

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
エナガ	3	42.9
シジュウカラ	2	28.6
コゲラ	1	14.3
カケス	1	14.3
合計	4 種	100.0
	7 個体	

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ウグイス	4	19.0
エナガ	4	19.0
カケス	4	19.0
シジュウカラ	3	14.3
ヒヨドリ	2	9.5
キジバト	1	4.8
コゲラ	1	4.8
ヤブサメ	1	4.8
ヤマガラ	1	4.8
合計	9 種	100.0
	21 個体	

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
コゲラ	3	20.0
メジロ	3	20.0
ヒヨドリ	2	13.3
ヤマガラ	2	13.3
キジバト	1	6.7
ガビチョウ	1	6.7
ヤブサメ	1	6.7
ウグイス	1	6.7
キビタキ	1	6.7
合計	9 種	100.0
	15 個体	

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	7	38.9
メジロ	7	38.9
ヤマガラ	2	11.1
ウグイス	1	5.6
キビタキ	1	5.6
合計	5 種	100.0
	18 個体	

鳥類ラインセンサス結果（ライン4）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
スズメ	13	33.3
ヒヨドリ	6	15.4
カケス	5	12.8
ウグイス	3	7.7
アオジ	3	7.7
シジュウカラ	2	5.1
ハシブトガラス	2	5.1
キジバト	1	2.6
アオゲラ	1	2.6
モズ	1	2.6
ヤマガラ	1	2.6
ホオジロ	1	2.6
合 計	12 種	100.0
	39 個体	

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ホオジロ	12	35.3
カシラダカ	10	29.4
カワラヒワ	3	8.8
ヤマガラ	2	5.9
アオジ	2	5.9
スズメ	2	5.9
コゲラ	1	2.9
ヒヨドリ	1	2.9
ツグミ	1	2.9
合計	9 種	100.0
	34 個体	

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	3	20.0
キジバト	2	13.3
ウグイス	2	13.3
シジュウカラ	2	13.3
メジロ	2	13.3
スズメ	2	13.3
オオルリ	1	6.7
ハシブトガラス	1	6.7
合計	8 種	100.0
	15 個体	

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	4	50.0
キジバト	2	25.0
ウグイス	1	12.5
ホオジロ	1	12.5
合計	4 種	100.0
	8 個体	

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	6	31.6
メジロ	5	26.3
ホオジロ	3	15.8
コゲラ	1	5.3
ツバメ	1	5.3
ウグイス	1	5.3
ヤマガラ	1	5.3
スズメ	1	5.3
合計	8 種	100.0
	19 個体	

鳥類定点センサス結果（定点1）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
カワラヒワ	26	53.1
カケス	4	8.2
ホオジロ	3	6.1
ヒヨドリ	2	4.1
ガビチョウ	2	4.1
シジュウカラ	2	4.1
アオジ	2	4.1
ハシブトガラス	2	4.1
アオゲラ	1	2.0
コゲラ	1	2.0
モズ	1	2.0
ウグイス	1	2.0
ヤマガラ	1	2.0
ハシボソガラス	1	2.0
合 計	14 種 49 個体	100.0

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
カシラダカ	8	20.5
ヒヨドリ	7	17.9
ホオジロ	7	17.9
エナガ	5	12.8
コゲラ	3	7.7
シジュウカラ	3	7.7
ガビチョウ	2	5.1
アオジ	1	2.6
カワラヒワ	1	2.6
カケス	1	2.6
ハシブトガラス	1	2.6
合計	11 種 39 個体	100.0

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
キジバト	3	11.1
ガビチョウ	3	11.1
エナガ	3	11.1
ホオジロ	3	11.1
ヒヨドリ	2	7.4
ウグイス	2	7.4
シジュウカラ	2	7.4
メジロ	2	7.4
ハシブトガラス	2	7.4
トビ	1	3.7
アカゲラ	1	3.7
ヤブサメ	1	3.7
ヤマガラ	1	3.7
カワラヒワ	1	3.7
合計	14 種 27 個体	100.0

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	5	26.3
コゲラ	3	15.8
メジロ	3	15.8
ウグイス	2	10.5
シジュウカラ	2	10.5
ハシブトガラス	2	10.5
ガビチョウ	1	5.3
ヤブサメ	1	5.3
合 計	8 種 19 個体	100.0

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	3	16.7
ガビチョウ	3	16.7
ウグイス	3	16.7
コゲラ	2	11.1
メジロ	2	11.1
ハシブトガラス	2	11.1
ヤマガラ	1	5.6
ホオジロ	1	5.6
ハシボソガラス	1	5.6
合計	9 種 18 個体	100.0

鳥類定点センサス結果（定点2）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	8	33.3
アオジ	4	16.7
カワラヒワ	4	16.7
ヤマガラ	2	8.3
ホオジロ	2	8.3
ハイタカ	1	4.2
アカゲラ	1	4.2
ガビチョウ	1	4.2
ハシブトガラス	1	4.2
合 計	9 種	100.0
	24 個体	

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
メジロ	5	31.3
ヒヨドリ	3	18.8
ガビチョウ	2	12.5
ウグイス	2	12.5
シジュウカラ	2	12.5
ヤマガラ	1	6.3
ハシブトガラス	1	6.3
合計	7 種	100.0
	16 個体	

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
アトリ	15	28.8
カワラヒワ	8	15.4
カシラダカ	7	13.5
エナガ	6	11.5
カケス	5	9.6
シジュウカラ	3	5.8
キジバト	2	3.8
アカゲラ	2	3.8
コゲラ	2	3.8
ホオジロ	2	3.8
合計	10 種	100.0
	52 個体	

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	6	25.0
メジロ	5	20.8
カワラヒワ	3	12.5
コゲラ	2	8.3
ウグイス	2	8.3
ノスリ	1	4.2
キジバト	1	4.2
アオゲラ	1	4.2
オオルリ	1	4.2
シジュウカラ	1	4.2
ハシブトガラス	1	4.2
合計	11 種	100.0
	24 個体	

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
カワラヒワ	5	27.8
ウグイス	3	16.7
ヒヨドリ	2	11.1
シジュウカラ	2	11.1
メジロ	2	11.1
コゲラ	1	5.6
ガビチョウ	1	5.6
キビタキ	1	5.6
サンコウチョウ	1	5.6
合 計	9 種	100.0
	18 個体	

鳥類定点センサス結果（定点3）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	5	27.8
エナガ	5	27.8
カワラヒワ	3	16.7
アオジ	2	11.1
キジバト	1	5.6
シジュウカラ	1	5.6
カケス	1	5.6
合 計	7 種 18 個体	100.0

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
エナガ	3	25.0
シジュウカラ	3	25.0
キジバト	2	16.7
カワラヒワ	2	16.7
カケス	2	16.7
合計	5 種 12 個体	100.0

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	9	39.1
カケス	8	34.8
エナガ	3	13.0
ウグイス	1	4.3
ヤマガラ	1	4.3
ホオジロ	1	4.3
合計	6 種 23 個体	100.0

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	6	42.9
ガビチョウ	2	14.3
ウグイス	2	14.3
メジロ	2	14.3
ヤマガラ	1	7.1
ホオジロ	1	7.1
合 計	6 種 14 個体	100.0

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	6	60.0
メジロ	2	20.0
ウグイス	1	10.0
シジュウカラ	1	10.0
合 計	4 種 10 個体	100.0

鳥類定点センサス結果（定点4）

秋季調査

種名	個体数	優占率 (%)
カワラヒワ	19	50.0
ヒヨドリ	5	13.2
エナガ	3	7.9
トビ	2	5.3
ヤマガラ	2	5.3
アオジ	2	5.3
ハシブトガラス	2	5.3
コゲラ	1	2.6
メジロ	1	2.6
カケス	1	2.6
合 計	10 種	100.0
	38 個体	

冬季調査

種名	個体数	優占率 (%)
エナガ	4	28.6
アトリ	4	28.6
ハシブトガラス	3	21.4
トビ	1	7.1
ガビチョウ	1	7.1
カケス	1	7.1
合計	6 種	100.0
	14 個体	

春季調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	9	42.9
エナガ	4	19.0
メジロ	2	9.5
カワラヒワ	2	9.5
キジバト	1	4.8
ガビチョウ	1	4.8
ウグイス	1	4.8
ヤマガラ	1	4.8
合計	8 種	100.0
	21 個体	

繁殖期調査

種名	個体数	優占率 (%)
ヒヨドリ	3	37.5
ホトトギス	1	12.5
ヤブサメ	1	12.5
キビタキ	1	12.5
カワラヒワ	1	12.5
ハシブトガラス	1	12.5
合 計	6 種	100.0
	8 個体	

夏季調査

種名	個体数	優占率 (%)
メジロ	4	40.0
ヒヨドリ	3	30.0
キビタキ	1	10.0
カワラヒワ	1	10.0
スズメ	1	10.0
合 計	5 種	100.0
	10 個体	

猛禽類調査

定点調査結果

- 平成 24 年度調査（平成 25 年 2 月～3 月）

（ア）オオタカ

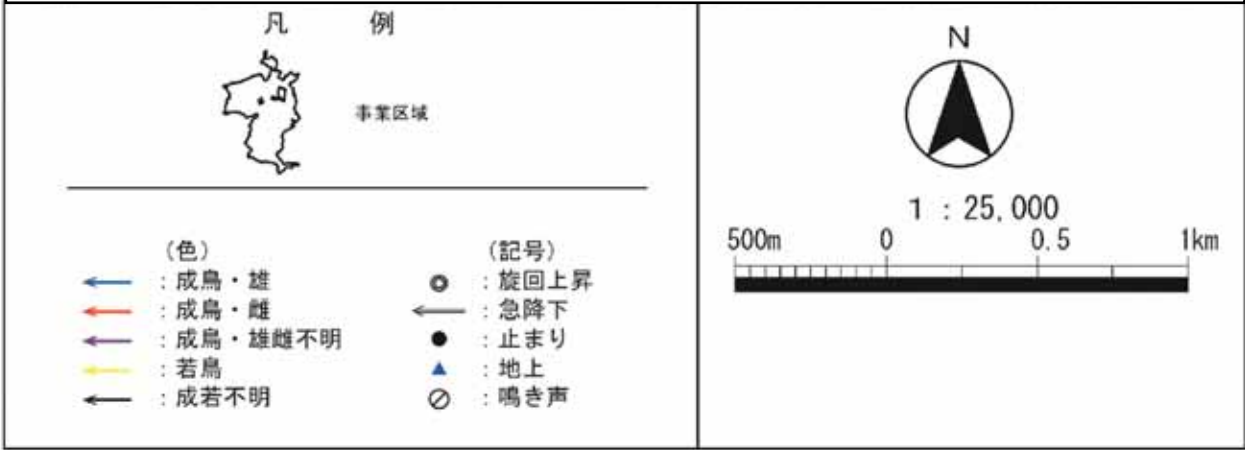
オオタカ確認状況（H25.2.21）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H25.2.21	1	成鳥	雄	14:55 ～ 14:55	川下地区上空に確認。カラス2羽にモビングされながら旋回した後、滑空して北に向かう。	11	-

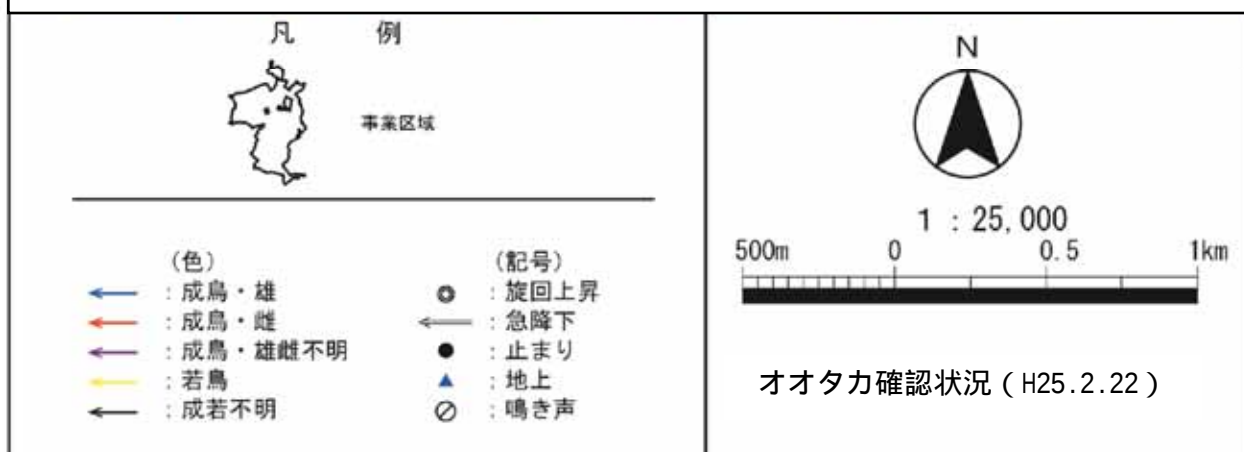
オオタカ確認状況（H25.2.22）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H25.2.22	1	成鳥	雄	14:08 ～ 14:12	計画地内の尾根上に出現し、旋回。北へ移動した後、西へ直飛。後、北東へ降下し見失う。	1	-
H25.2.22	2	成鳥	雌	11:37 ～ 11:45	St.11 北西の谷山林上空で旋回中を発見。南東に移動しながら旋回上昇。高空に達し、南へ移動。St.11 の西で急降下(狩り失敗)。上昇し、高度を上げて高空を東へ。高空から St.11 南東小ピークの南東側へ急降下して見えなくなる。	11	-
H25.2.22	3	成鳥	雌	12:36 ～ 12:37	川沿いに低空を飛来し、St.11 南東尾根上空で旋回上昇。後、南東に降下して見失う。	11	-

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。



貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。



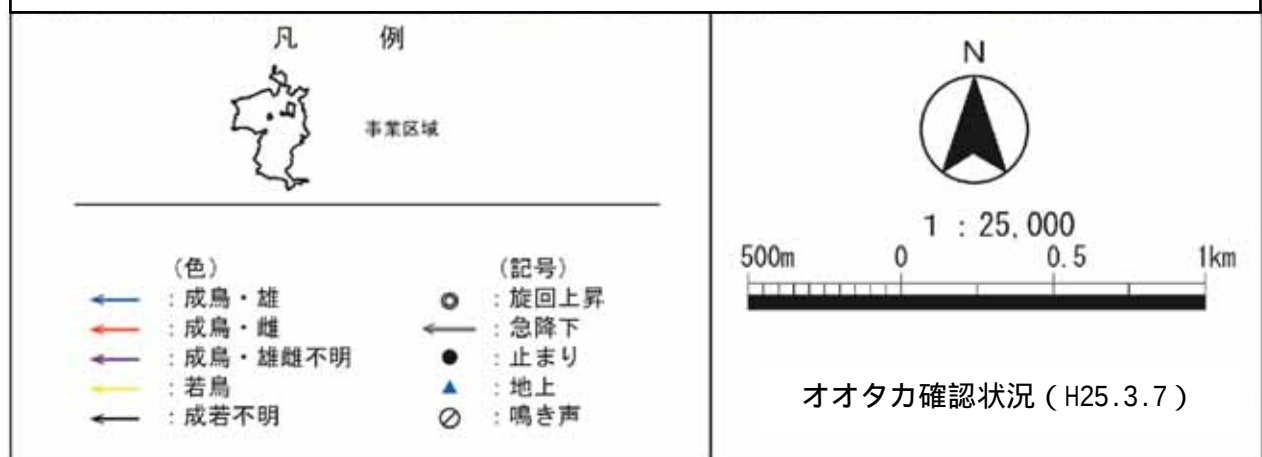
オオタカ確認状況 (H25.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.3.7	1	成鳥	雄	13:09 ~ 13:10	213m南西の尾根上空付近に確認。旋回した後、滑空して南東へ向かう。	6	-
H25.3.7	2	成鳥	雄	13:13 ~ 13:16	北方向の上空で旋回している。上昇し、高度を上げた後、北東方向へゆっくり降下していく。手前、竹林で見えなくなる。	3	-

オオタカ確認状況 (H25.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.3.8	1	成鳥	雄	9:26 ~ 9:46	St.7の南西の耕地上から、北西に羽ばたいて、St.7の西側の耕地上でスズメのハンティングを行うが、失敗する。その後、その周辺の草地に逃げ込んだスズメの周りを動きまわりながら、飛び出してくるのを伺っていたようである。時々、草地の中に頭部を入れて、探していた。9:46に、地上から飛び立って羽ばたきながら、西へ飛翔する。St.7の西の林縁低空へ直飛中に、民家陰になり見失う。	7	-
H25.3.8	2	成鳥	雄	14:17 ~ 14:24	180.3m上空に確認同時に確認したオオタカとは少し離れた位置で、羽ばたきディスプレイを行いながら旋回。もう1羽が東へ去ると、180.3m東にて旋回上昇しながら徐々に北へ移動。高度を上げた後、滑空を始め南東へ向かう。	6	-
H25.3.8	3	不明	不明	14:17 ~ 14:18	180.3m東に確認。羽ばたきディスプレイを行うオオタカとは少し離れた位置で旋回し、徐々に東へ去る。	6	-

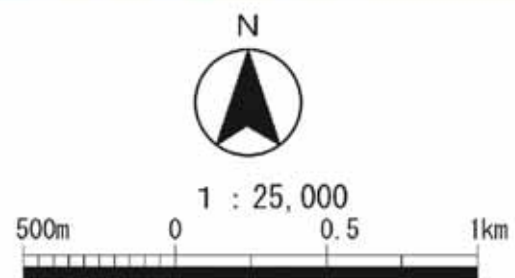
貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。



貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。



(色)	(記号)
← 青 : 成鳥・雄	○ (点) : 旋回上昇
← 赤 : 成鳥・雌	← (横線) : 急降下
← 紫 : 成鳥・雄雌不明	● (点) : 止まり
← 黄 : 若鳥	▲ (三角) : 地上
← 黒 : 成若不明	○ (輪) : 鳴き声



オオタカ確認状況 (H25.3.8)

平成 25 年度調査（平成 25 年 4 月～8 月、平成 26 年 2 月～3 月）

(ア) ハチクマ

ハチクマ確認状況（H25.5.14）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25. 5. 14	1	若鳥	不明	12:10 ～ 12:12	サシバを観察中に、ハチクマの飛翔を確認する。観察していたサシバがハチクマに攻撃を加える。その後、ハチクマは東へ向かい、S1 上空でさらに別のサシバが近づいてきたが、先に確認したサシバの観察を継続したため、その後のハチクマの飛翔等は不明。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声



0 200 400 800 (m)



ハチクマ飛翔図（H25.5.14）

(イ) オオタカ

オオタカ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H25.4.20	1	成鳥	雄	14:21 ～ 14:21	観察地点 St.5 上空をカラスに追われながら、西へ直飛する。手前尾根に遮られ、見失う。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔

↙：急降下

・：止まり

◎：旋回上昇

⊗：旋回

▲：地上

⊙：鳴き声



オオタカ飛翔図（H25.4.20）

オオタカ確認状況（H25.5.14）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25. 5. 14	1	成鳥	不明	9:44 ～ 9:44	186mピークより南南西へ直飛する。観察地点 St. 3 から西の斜面付近で見失う。	3
H25. 5. 14	2	不明	不明	9:42 ～ 9:44	宮崎地区の東側、180.3mピークの南東付近から南へ羽ばたいて直飛する。手前の尾根越しに時々見えるが、尾根に遮られ、見失う。	1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



オオタカ飛翔図（H25.5.14）

オオタカ確認状況（H25.6.17）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25.6.17	1	成鳥	不明	10:49 ～ (5秒)	大平地区を西へ羽ばたいて直飛するのを確認。斜面林に遮られ見えなくなる。	7
H25.6.17	2	成鳥	不明	10:51 ～ 10:55	観察地点 St. 7 南西の 105m 付近上空で旋回上昇しているのを確認。高空まで上昇し、南東へ急降下。	1
H25.6.17	3	成鳥	雄	13:19 ～ 13:27	梅平地区東の谷戸奥付近の上空に確認。旋回上昇しながら、徐々に北へ移動後、滑空をはじめ、東へ向かう。	6
H25.6.17	4	若鳥	雌	13:28 ～ 13:29	小口川上空に東から現れ、ハシブトガラスに追われながら、南西方向へ直飛する。	6
H25.6.17	5	成鳥	雄	14:19 ～ 14:20	板山地区の南西、西側から速い速度で東へ滑翔・降下してくるのを発見。一時見えなくなるが、西へ羽ばたいて直飛するのを再発見する。南平地区の尾根を越えて西側へ向かう。	7

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図 (H25.6.17)

オオタカ確認状況（H25.6.18）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H25. 6. 18	1	若鳥	雄	11:37 ～ 10 秒	板山地区の東、尾根の上空を旋回 するのを確認。尾根に遮られ見え なくなる。	5

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

- ：成鳥（雄）
- ：成鳥（雌）
- ：雌雄不明成鳥
- ：若鳥
- ：成若不明・雌雄不明

- ←：飛翔
- ↙：急降下
- ・：止まり
- ◎：旋回上昇
- ⊗：旋回
- ▲：地上
- ⊙：鳴き声



オオタカ飛翔図（H25.6.18）

オオタカ確認状況 (H26.2.25)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.2.25	1	成鳥	雄	10:25 ~ (5秒)	板山地区北の標高160mほどの高さで、南へ羽ばたいて直飛するのを発見する。手前樹林で遮られ見えなくなる。(アピールするそぶりを見せていた。)	7
H26.2.25	2	成鳥	雄	10:33 ~ 10:41	板山地区南の174mピークの尾根上で旋回上昇し、さらに下尾筒を広げ、三川又地区上空で波状ディスプレイをしつつ南へ向かう。その後、激しく羽ばたきつつ西北西へ向かう(相手を追いかけるような飛翔)。尾根に遮られ見えなくなる。	7
H26.2.25	3	成鳥	不明	11:24 ~ (5秒)	St.1の北西側尾根の林上を北北東へ羽ばたいて直飛するのを確認する。林に遮られ見えなくなる。	7
H26.2.25	4	成鳥	不明	11:28 ~ 11:30	小口地区の西側で旋回上昇しつつ東へ向かう。 ※St.1へ引き継ぐ	7
H26.2.25	5	成鳥	不明	11:30 ~ 11:32	※St.7の続き 北方向の高空をカラスと旋回している(接触などはない)。その後、カラスは離れ、ゆっくり北東方向へ時々、羽ばたきながら旋回移動していく。高空旋回中に見失う。	1
H26.2.25	6	成鳥	雌	13:13 ~ 13:14	南平地区上を東北東へ滑空するのを発見する。板山地区へ向かう。手前林に遮られ見えなくなる。 ※St.1に引き継ぐ	7
H26.2.25	7	成鳥	雌	13:14 ~ 13:15	※St.7の続き 板山地区の尾根に沿うように北東へ直飛してくるのを確認。その後旋回し、尾根を南東方向へ越え見失う。 St.3へ続く	1
H26.2.25	8	成鳥	雌	13:15 ~ 13:18	St.1の続き St.3西の尾根付近を旋回しながら南東へ向かう。久那川右岸上空を800mほど南下後、旋回を始める。その後、すぐ東へ直飛する。手前の建物の陰に入り見失う。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)

— : 成鳥 (雌)

— : 雌雄不明成鳥

— : 若鳥

— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔

↙ : 急降下

・ : 止まり

◎ : 旋回上昇

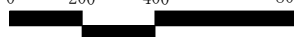
⊗ : 旋回

▲ : 地上

⊙ : 鳴き声



0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図 (H26.2.25)

オオタカ確認状況（H26.2.26）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 2. 26	1	成鳥	雄	10:18 ～ 10:22	板山地区の南 174m ピーク上空で旋回上昇するのを発見。下尾筒を広げ深く羽ばたき、ディスプレイをしつつ旋回後、南へ向かいながら波状ディスプレイを行う。その後、三川又付近上空を北西に滑空してから翼をたたんで急降下する。	7
H26. 2. 26	2	成鳥	不明	12:41 ～ (5 秒)	三川又地区の東をハシブトガラスに追われつつ西へ直飛するのを確認する。尾根に遮られ見えなくなる。	7
H26. 2. 26	3	成鳥	雄	13:58 ～ 14:12	St. 9 南辺りで旋回を確認する。その後、ハイタカと 2 羽で旋回した後、北東へ直飛する。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図（H26.2.26）

オオタカ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H26.3.7	1	成鳥	不明	10:13 ~ 10:13	St.2 南西側尾根上でカラスに追われ林内から出て、林内へ入る。	1
H26.3.7	2	成鳥	不明	10:20 ~ 10:21	St.2 西側谷部を南から北へ向かう。St.2 北西尾根林内へ入る。	1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ◎：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図（H26.3.7）

オオタカ確認状況 (H26.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.8	1	成鳥	雌	9:35 ~ 9:45	173m ピークの南尾根上から出現し、北へ上昇しながら旋回を続け、173m ピーク高空から西へ向きを変え旋回移動する。その後、St.7 高空から羽ばたいて西へ飛翔後、新那珂橋高空でディスプレイフライトを始める（羽ばたきと下尾筒広げ）。その後、高空を南へ飛翔した後、南西に向きを変え、波状ディスプレイと急降下をしながら高度を下げて見えなくなる。	12
H26.3.8	2	成鳥	雌	9:40 ~ 9:54	南平尾根すれすれを南へ飛翔する。旋回し、やや高度を上げた後、深く羽ばたき南へ直飛する。	13
H26.3.8	3	成鳥	不明	10:02 ~ 10:05	計画地東 136m ピーク付近で旋回する。その後ハイタカに追われ、南西へ向かい旋回移動、直飛する。計画地上空で林に遮られ見えなくなる。	3
H26.3.8	4	成鳥	不明	10:06 ~ 10:08	小口温泉方向で旋回しながら、西方向へ南平地区まで移動する。その後、尾根上を滑翔、降下し、尾根すれすれで見失う。	13
H26.3.8	5	成鳥	不明	10:19 ~ 10:21	173m ピーク南の上空でトビ 3 羽と旋回後、北へ上昇しながら旋回移動する。その後、東へ滑翔中に手前尾根に遮られ見失う。	12
H26.3.8	6	成鳥	雄	10:25 ~ 10:43	182m ピークの南西上空を南へ飛翔し、182.5m ピークの北側で旋回を始める。その後、高空まで上昇した後、南東へ滑空して、173m ピークの南西高空から南東へ急降下した。急降下して 173m ピーク南の林内のスギ林に入り見失う。	12
H26.3.8	7	成鳥	不明	10:49 ~ 10:49	北側下方でカラスが騒ぎ出し、沢上へ旋回上昇して出現する。St.5 方向へ旋回移動し、手前尾根で見失う。	13
H26.3.8	8	成鳥	雌	10:52 ~ 10:54	174m ピーク上空に出現した。カラス数羽に追われ、数回旋回後、西の南平方向へ向かう。	1

オオタカ確認状況 (H26.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.8	9	成鳥	雄	12:10 ~ 12:11	182.5m ピーク南の斜面を南東へ上昇しながら旋回後、182.5m ピークの南尾根上を南東に越えて見失う。	12
H26.3.8	10	成鳥	雌	12:15 ~ 12:16	182.5m 西の斜面の上空で出現し、羽ばたきながら旋回後、ディスプレイ旋回をしながら南へ移動する。その後、No. 11 が出現し、その個体を追いながら南東へ飛翔し、南平の 182.5m ピークの南尾根上を 2 羽で越えて見失う。	12
H26.3.8	11	成鳥	雄	12:16 ~ 12:16	182.5m ピークの南西斜面上空から出現し、No. 10 に追われ、羽ばたきながら南東へ飛翔する。182.5m ピークの南尾根上を 2 羽で越えて見失う。	12
H26.3.8	12	成鳥	雄	12:14 ~ 12:15	南平尾根南端付近から No. 13 とともに東へ直飛していく。No. 13 に追われながら 174m ピーク南の尾根で見失う。	13
H26.3.8	13	成鳥	雌	12:14 ~ 12:15	南平尾根南端付近から No. 12 とともに東へ直飛していく。No. 12 を追いながら 174m ピーク南の尾根で見失う。	13
H26.3.8	14	成鳥	雌	12:15 ~ 12:18	西から 2 羽で出現する。モビングし合いながら 174m ピーク西から北側へ回り、北へ滑翔し、板山付近のスギ林へ入る。	1
H26.3.8	15	成鳥	雄	12:15 ~ 12:19	西から 2 羽で出現する。モビングし合いながら 174m ピーク西から北側へ回り、北へ滑翔し、板山付近のスギ林へ入る。その後林内より出現し、南へ滑翔する。カラス数羽に追われながら南西へ向かい、高度を下げ見えなくなる。	1
H26.3.8	16	成鳥	不明	12:50 ~ 12:54	St. 7 の西北西斜面の落葉広葉樹に南向きで止まる。しばらく羽づくろいをする。北東方向を気にした様子で飛び立ち降下する。北へ向かうが手前スギ林で見失う。	13

オオタカ確認状況 (H26.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 3. 8	17	成鳥	不明	12:51 ~ 12:54	St.1 南東で旋回しているのを確認する。旋回上昇後、南東へ移動する。さらに東へ滑翔し、再び旋回上昇し高空へ向かう。その後、南へ向かう。	1
H26. 3. 8	18	成鳥	不明	12:54 ~ 13:01	168m ピーク上空で旋回、次第に南東へ移動する。久那川あたりで南へ直飛した後、東へ向かい旋回移動する。	3
H26. 3. 8	19	成鳥	不明	12:56 ~ 12:57	大平地区上空で旋回する。	13
H26. 3. 8	20	成鳥	雌	13:10 ~ 13:22	182.5m ピークの西斜面から鳴きながら出現する。南東へ上昇しながら旋回後、182.5m ピークの南西の落葉広葉樹の枝に鳴きながらパチする (13:11)。その後、警戒 call を続ける。13:18 に少し南から雄が飛翔して、交尾を始めた (10 秒)。13:22 に飛び立ち見失う (雄の後に飛翔したと思われる)。	12
H26. 3. 8	21	成鳥	雄	13:18 ~ 13:22	182.5m ピーク南西側の雌がとまっている枝の少し南から出現し、雌のとなりに止まった後、すぐに交尾を始めた。その後、13:21 に少し上部の枝に止まり、枝を折った後、182.5m ピークの西斜面の林内へ入り見失う。	12
H26. 3. 8	22	成鳥	不明	14:22 ~ 14:22	182.5m 南西斜面の上で旋回後、182.5m の西の林内で見失う。	12
H26. 3. 8	23	成鳥	雄	14:29 ~ 14:29	173m ピーク南の谷部上空で旋回する。その後、北東方向へ滑翔する。手前の樹林に遮られ見失う。	13

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図（H26.3.8）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図（H26.3.8）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

オオタカ飛翔図（H26.3.8）

(ウ) サシバ

サシバ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.4.20	1	成鳥	雄	9:30 ~ 9:42	S1 南西の道路沿いの電柱に止まっているのを発見する。しばらくして、降下する(ハンティングとみられる)が、すぐに低い電柱に止まる。足元をついばんでいる。その後、飛び立ち、S1 の北側の林に入り、見失う。	3	S1
H25.4.20	2	不明	不明	9:42 ~ 9:42	No.1 の個体が入った林から鳴き声がする。	3	S1
H25.4.20	3	成鳥	雄	9:44 ~ 9:46	学校側の道路沿いの電柱に止まっているのを発見。その後、飛び立ち、降下する。	3	S1
H25.4.20	4	成鳥	雄	9:49 ~ 9:49	地表近くから飛び立ち、南東へ向かう。谷入口付近で手前の建物の陰に入り、見失う。	3	S1
H25.4.20	5	成鳥	不明	9:51 ~ 9:52	川下西側の上空から出現し、北へ滑翔する。大畑の西斜面へ降下しながら移動中に尾根陰で見失う。	11	S4
H25.4.20	6	成鳥	雄	10:09 ~ 10:29	S3 の西側から鳴きながら出現し、南西へ直飛する。その後、川下の南斜面のサクラの木に止まる。11分に西へ飛翔し、電柱の少し南の電線に止まり、探餌する。2度ほど田んぼのあぜ道でハンティングをした後、少し南の電線に止まる。22分に西へ降下してハンティングをするが失敗し、地上から飛び立ち、北東へ飛翔する。川下の南の林縁の電柱に止まり、29分にS3の谷へ飛翔して見失う。	11	S3
H25.4.20	7	成鳥	不明	10:12 ~ 10:16	北方向より南へ飛翔し、観察地点 St.4 上空で旋回する。その後、西へ飛翔し、急降下する。	4	S2

サシバ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.4.20	8	成鳥	不明	10:13 ~ 10:17	学校側の道路沿いの電柱に止まっているのを発見。その後、S1 方向へ直飛し、S1 付近のアカマツに止まるが、道路方向へ直飛する。道路上空で旋回をはじめると、別個体の飛翔を確認。2羽で飛翔しながら次第に北へ向かう。羽ばたきディスプレイをしながら追っているように見える。2羽とも小倉地区の西側の谷へ入り、見失う。	3	S1
H25.4.20	9	成鳥	不明	10:20 ~ 10:23	学校のスギ樹頂にパーチする。その後、南へ直飛し S1 の南の尾根を越え、谷に入り見失う。	3	S1
H25.4.20	10	成鳥	雄	10:32 ~ 10:32	S3 の西側低空を西へ飛翔後、川下の西側林縁を北へ飛翔する。尾根陰になり、見失う。	11	S3
H25.4.20	11	成鳥	不明	10:32 ~ 10:33	S1 の谷付近から、東方向へ直飛する。その後、林に隠れ見失う。	3	S1
H25.4.20	12	成鳥	不明	10:43 ~ 10:44	飛翔しているのを発見。道路沿いの電線に止まるが、バランスがとれず飛び立つ。付近の樹林内に入り見失う。	6	—
H25.4.20	13	成鳥	雄	10:49 ~ 10:50	観察地点 St. 3 南東の道路沿いの電柱に止まる。水田にハンティングと思われる降下をしたため、見失うが、11:50 に脚に何かを持ち、S1 の谷へ向かい飛翔する。低空のため手前の林や建物に隠れ、見失う。	3	S1
H25.4.20	14	成鳥	雄	11:07 ~ 11:26	川下の南西の電柱に止まる。すぐに南東へ降下し、田んぼの畦でハンティングする(11:07)が、失敗し、畦道の上で見回す。11:12 に再び電柱に止まる。11:24 に急降下して 11:07 と同じ畦道上におりる。11:26 に羽ばたきながら低空を東へ飛翔して、S3 の西林縁で鳴きながら旋回後、S3 の谷へ入り見失う。	11	S3

サシバ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 4. 20	15	成鳥	雄	11:07 ~ 11:09	観察地点 St. 3 南東の道路沿いの電柱に止まる。水田でハンティングをした後、近くの落葉広葉樹に止まり、餌を食べる。食べ残した餌をもって S1 方向へ向かう。	3	S1
H25. 4. 20	16	成鳥	雄	11:10 ~ 11:24	学校側そばの電柱に止まっているのを発見。11:20 に東へ飛翔し、水田付近の低い電柱に止まる (11:21)。付近の落葉広葉樹に移動し、11:22 に水田でハンティングをする。その後、11:23 に樹木に止まり、11:24 に S1 方向へ飛び立つ。	3	S1
H25. 4. 20	17	成鳥	雄	11:31 ~ 12:02	S1 の谷から現れ、観察地点 St. 3 南東の道路沿いの電柱に止まる。水田で 2 回ハンティングを行うが、失敗。その後、南東へ飛び立つ。建物の陰になり、見失う。	3	S1
H25. 4. 20	18	成鳥	雄	11:52 ~ 12:23	川下の南斜面の桜の木に止まっているのを発見 (見回し)。11:46 に西に降下し、畦道の上で止まる。地上から周囲を見回して止まっていた。12:14 に南西へ飛翔し、電線に止まる。12:18 に民家の林へ急降下後、少し西側の電柱へ止まる。12:21 に真下の畦道に急降下後、再び電柱に止まる。12:22 に深い羽ばたきをしながら、川下へ飛翔後、侵入してきたサシバ No. 21 を追い出し、東へ飛翔する。尾根陰になり見失う。	11	S3
H25. 4. 20	19	成鳥	雄	12:06 ~ 12:19	観察地点 St. 3 東の道路沿いの電柱に止まっているのを発見。水田で 2 回ハンティングを行う。12:19 に S1 方向へ直飛。S1 北の尾根に入り見失う。	3	S1

サシバ確認状況（H25.4.20）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 4. 20	20	不明	不明	12:19 ～ 12:19	S1 付近から鳴き声がするのを確認。	3	S1
H25. 4. 20	21	若鳥	不明	12:23 ～ 12:24	川下の上空で旋回する。その後、上昇しながら北東へ旋回移動中に尾根陰で見失う。	11	—
H25. 4. 20	22	成鳥	不明	12:36 ～ 12:43	観察地点 St. 3 の南東の道路沿いの電柱に止まっているのを発見。12:43 に畦へ降下し、トカゲのようなものを持って S1 方向へ飛翔する。S1 付近のスギ林の中へ入り、見失う。	3	S1
H25. 4. 20	23	成鳥	雄	12:55 ～ 12:55	川下の上から東へ飛翔し、S3 の谷へ羽ばたきながら直飛して見失う。	11	S3
H25. 4. 20	24	成鳥	雌	13:13 ～ 13:13	巣 S3 の中に入っているのを確認。	11	S3
H25. 4. 20	25	成鳥	不明	14:01 ～ 14:01	S2 西側の尾根の上で旋回後、北へ降下中に見失う。	1	S2
H25. 4. 20	26	不明	不明	14:02 ～ 14:03	174m 上空を No. 27 と共に旋回し、その後、S2 付近に降下する。	1	S2
H25. 4. 20	27	不明	不明	14:02 ～ 14:03	174m 上空を No. 26 と共に旋回し、その後、S2 付近に降下する。	10	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ◎：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.4.20）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
⇐：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
●：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.4.20）

サシバ確認状況 (H25.4.21)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.4.21	1	成鳥	不明	9:09 ~ 9:09	水田で探餌しているのを発見。地上から飛び立ち樹林内に入り見失う。	7	—
H25.4.21	2	成鳥	不明	10:15 ~ 10:15	宮崎地区東の林縁を南へ飛翔する。その後、羽ばたいて旋回後、東へ飛翔中に尾根陰になり見失う。	10	S2
H25.4.21	3	成鳥	不明	10:42 ~ 10:43	地上で餌を捕っているのを確認。その後、飛び立ち樹林内に入り見失う。	5	—
H25.4.21	4	不明	不明	10:55 ~ 11:05	S1 付近の電線に止まり、トビを追い払う。	3	S1
H25.4.21	5	不明	不明	11:25 ~ 11:40	川下地区西側の水田にある電線に止まっているのを発見。その後、S3 方向に飛び立つ。樹林内に入り見失う。	3	S3
H25.4.21	6	成鳥	不明	11:36 ~	板山南東より現れる。急降下して樹林内に入る。	7	—
H25.4.21	7	不明	不明	13:22 ~ 13:23	S1 付近を飛翔するトビの追い出しを行う。	3	S1
H25.4.21	8	不明	不明	13:29 ~ 13:30	観察地点 St.3 付近の電線に止まる。	3	S1
H25.4.21	9	不明	不明	13:45 ~ 13:45	旋回上昇するのを確認。その後、S1 付近へ飛翔する。	3	S1
H25.4.21	10	不明	不明	14:28 ~ 14:30	S3 方向から飛翔し、道路沿いの電線に止まる。その後、南東方面へ飛翔し林に入る。	3	S3
H25.4.21	11	不明	不明	14:37 ~ 15:00	S3 方向から飛翔し、道路沿いの電線に止まり、水田でハンティングを繰り返す。	3	S3
H25.4.21	12	成鳥	雄	14:40 ~ 14:58	S2 の西尾根の上から、北へ直飛して小口川の左岸の尾根の枯木に止まり、探餌や見回しをする。その後、南へ飛翔し、落葉広葉樹林の中に入り見失う。	10	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.4.21）

サシバ確認状況 (H25.5.13)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 5. 13	1	成鳥	雄	10:06 ~ 10:07	観察地点 St. 10 の南東の畑上空を、脚に小型のへびを持ちながら羽ばたいて飛翔する。観察地点 St. 10 の東の斜面に降下中に尾根陰となり、見失う。	10	S2
H25. 5. 13	2	成鳥	雄	10:24 ~ 10:24	観察地点 St. 3 東の斜面林の枯木に止まっているのを確認。その後、北東へ飛び立ち、その後、降下して見失う。	3	S1
H25. 5. 13	3	成鳥	不明	10:27 ~ 10:34	観察地点 St. 3 の北東で旋回上昇後、先に飛翔していたトビをやや牽制するような動きを見せる。その後、共に離れ、旋回しながら北西へ向かう。急降下し見失う。	3	—
H25. 5. 13	4	成鳥	雄	10:38 ~ 10:38	宮崎地区の東側を南東へ羽ばたいて飛翔する。宮崎地区の東南東の畑の上を飛翔中に、樹林に遮られ見失う。	10	S2
H25. 5. 13	5	成鳥	不明	10:45 ~ 10:45	川下地区の電柱に止まっているのを確認。その後、飛び立ち見失う。	11	S3
H25. 5. 13	6	成鳥	雄	10:50 ~ 11:02	宮崎地区の東にある畑よりトビを追って飛翔する。旋回上昇後、南方向へ移動し、落葉広葉樹へ止まる。その後、枝より離れ、降下して陰に隠れる。	1	S2
H25. 5. 13	7	成鳥	雄	10:58 ~ 11:04	S1 北側の細い道路沿いにある電柱に止まり、その後、南へ飛び立ち、林縁の樹木に止まる。しばらくして、ハンティングと思われる降下をし、その後は確認できず。	3	S1
H25. 5. 13	8	不明	不明	11:53 ~ 11:54	新那珂橋上空で No. 9 と共に旋回上昇した後、順次、東南東へ直飛していく。	7	—
H25. 5. 13	9	不明	不明	11:53 ~ 11:54	新那珂橋上空で No. 8 と共に旋回上昇した後、順次、東南東へ直飛していく。	7	—

サシバ確認状況 (H25.5.13)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 5. 13	10	成鳥	不明	12:25 ～ 12:54	久那川沿いの落葉広葉樹に止まっているのを確認。その後、50m程下流（南側）の樹木に移動し、水田付近でハンティングをした後、さらに南側の樹木に止まる。しばらくして飛び立ち、水田の中の電柱に止まる。その後、ハンティングを2回行い、2度目に成功する。地面で食べた後、飛び立ち、落葉広葉樹に止まるが、地面に降下して見えなくなる。	3	S1
H25. 5. 13	11	成鳥	不明	11:59 ～ 12:05	中津原上空を旋回するのを発見。旋回しながら北西へ向かう。	11	S3
H25. 5. 13	12	成鳥	雄	12:33 ～ 13:02	中津原北西の電線に止まっているのを発見。その後、ハンティング、電柱に止まるを繰り返し、途中で見失う。	11	S3
H25. 5. 13	13	成鳥	雄	13:05 ～ 13:17	観察地点 St. 3 東北東の道沿いの電柱に止まっているのを発見。その後、飛び立ち、西へ向かい林の陰になり、見失う。	3	S1
H25. 5. 13	14	成鳥	雄	13:31 ～ 13:32	宮崎地区の東側の林縁枯木に北向きで止まり監視をするのを発見。その後、13:32 に南へ羽ばたき飛翔する。	10	S2
H25. 5. 13	15	成鳥	雄	13:47 ～ 13:55	S1 近くの枯木に止まっているのを発見。その後、西へ飛び立ち、林内に入り見失う。	3	S1
H25. 5. 13	16	成鳥	雄	13:58 ～ 14:11	S1 北西を旋回するのを発見。その後、S1 北西の尾根のモミに止まる。14:08 に北東へ飛び立ち、観察地点 St. 3 北東の電柱に止まる。その後、川沿いの落葉広葉樹に止まった後、久那川の上流に向かい見失う。	3	S1

サシバ確認状況（H25.5.13）

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.5.13	17	成鳥	雄	14:25 ～ 14:54	No. 16 の止まった川沿いの落葉広葉樹に止まり、その後、北西の電柱に西向きで止まる。12:42 に少し南にある道路沿いの電柱に止まり、12:45 にハンティングを行う。その後、再び川沿いの落葉広葉樹に戻り、獲物（カエル）を食べる。12:54 に飛び立ち S1 西側の林に入り見失う。	3	S1
H25.5.13	18	成鳥	不明	14:47 ～ 14:49	174m の上空で旋回後、北西へ降下しながら直飛して谷へ急降下する。その後、上昇し旋回後、南東へ滑翔中に樹林陰になり、見失う。	10	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.5.13）

サシバ確認状況 (H25.5.14)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.5.14	1	成鳥	不明	9:10 ~ 9:10	観察地点 St. 5 上空で飛翔を確認。西へ飛翔し、尾根を越え見失う。	5	—
H25.5.14	2	成鳥	不明	9:20 ~ 9:20	観察地点 St. 5 北のスギ林上空から飛翔するのを確認。水田上空を南西へ飛翔する。	5	—
H25.5.14	3	不明	不明	9:23 ~ 9:24	板山地区東の尾根上で旋回した後、北へ滑翔し、尾根に遮られ、見失う。	1	—
H25.5.14	4	成鳥	不明	9:35 ~ 9:35	観察地点 St. 5 西のスギ林上空で飛翔するのを確認。その後、南西へ直飛する。	5	—
H25.5.14	5	成鳥	不明	9:45 ~ 9:51	観察地点 St. 5 南西の枯木の樹頂に止まっているのを確認。その後、もう 1 羽のサシバ (No. 6) を追って南西方向へ飛翔する。	5	—
H25.5.14	6	不明	不明	9:51 ~ 9:51	No. 5 に追われて南西の方向へ飛翔する。林の陰で見失う。	5	—
H25.5.14	7	不明	不明	9:56 ~ 10:05	観察地点 St. 5 南西の枯木の樹頂に止まっているのを確認。その後、鳴きながら北西側へ飛翔し、林の中へ入り、見失う。	5	—
H25.5.14	8	不明	不明	10:05 ~ 10:05	サシバ No. 7 の飛翔中に確認。観察地点 St. 5 西のスギ林を旋回しながら、北方向へ飛翔し見失う。	5	—
H25.5.14	9	成鳥	不明	10:08 ~ 10:12	174m の南東上空で旋回後、北西に降下しながら直飛する。174m 北西で旋回を続け、174m へ飛翔中に尾根陰で見失う。	10	S2
H25.5.14	10	成鳥	不明	10:14 ~ 10:19	大畑西側の上空で旋回しているのを確認。その後、旋回を続け、北東へ移動する。高平の北 260m 南側斜面で急降下し、見失う。	3	S4
H25.5.14	11	成鳥	雄	10:14 ~ 10:17	小口川上空を旋回するのを確認。北へ旋回移動後、小口地区上空を南西方向へ飛翔中、林に遮られ見失う。(No. 14 に続く)	10	S2
H25.5.14	12	成鳥	不明	10:16 ~ 10:17	186m 北側の谷部から出現し、U ターンして谷部へ入る。	11	—

サシバ確認状況 (H25.5.14)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.5.14	13	成鳥	雄	10:16 ~ 10:22	186m 北の谷津田辺りから旋回上昇してくるのを確認。旋回と直飛、滑翔をしながら北へ向かう。	11	S4
H25.5.14	14	成鳥	雄	10:17 ~ 10:24	(No. 11 の続き) 小口地区の上空を飛翔するのを確認。南東へ向かい宮崎地区の東側をゆっくりと飛翔する。その後、北へ向かって波状ディスプレイのような降下を一度行う。空中で昆虫と思われるものを捕らえ、そのまま食した後、南へ直飛し、板山地区の P174m の東側を南へ越える。	1	S2
H25.5.14	15	若鳥	不明	10:22 ~ 10:26	小倉地区の南西から東へ直飛してくるのを確認。その後、久那川右岸上空で旋回を続けたのち、南西へ向かい、S1 の尾根を越えて南の谷へ急降下する。一度見失うが、一度旋回した後、同じ谷に入り見失う。	3	—
H25.5.14	16	成鳥	不明	10:22 ~ 10:22	No. 15 が現れた付近で、旋回する個体を確認する。	3	—
H25.5.14	17	成鳥	不明	10:22 ~ 10:24	No. 15 が久那川側へ現れると S1 付近から鳴き声がした。	3	S1
H25.5.14	18	成鳥	不明	10:25 ~ 10:37	観察地点 St. 5 西側の谷部の林上空を旋回するのを確認する。徐々に上昇しながら南東方向へ旋回・移動後、急降下し、見失う。	5	—
H25.5.14	19	不明	不明	10:47 ~ 10:57	S3 南西で旋回上昇を確認。旋回しながら北へ移動し、S3 上空で旋回上昇する。サシバ No. 21、No. 22 にモビングされ、北東へ直飛する。手前尾根で見えなくなる。	11	—
H25.5.14	20	成鳥	雄	10:48 ~ 15 秒	宮崎地区の南を北西へ羽ばたいて直飛するのを確認。尾根の東に沿って北へ向かう。林に遮られ見失う。	1	S2

サシバ確認状況 (H25.5.14)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 5. 14	21	成鳥	不明	10:55 ~ 10:57	S3 付近から羽ばたき上昇してきて、No. 19 に攻撃する。侵入個体 No. 19 を追い北東へ向かう。手前尾根に遮られ見えなくなる。	11	S3
H25. 5. 14	22	成鳥	不明	10:55 ~ 10:57	S3 付近から羽ばたき上昇してくる。No. 19 に攻撃し、追って北東へ。手前尾根に遮られ見えなくなる。	11	S3
H25. 5. 14	23	成鳥	雄	11:17 ~ 11:18	宮崎地区上を西側から、足に餌を持ち東へ向かう。尾根先北側の斜面、落葉広葉樹林の林縁から林内へ入っていく。	1	S2
H25. 5. 14	24	成鳥	不明	11:34 ~ 11:34	観察地点 St. 5 南東の谷部上空で飛翔を確認する。すぐに林の陰になり見失う。	5	—
H25. 5. 14	25	成鳥	雄	11:48 ~ 11:51	観察地点 St. 3 南側久那川付近から、S1 営巣林へ飛翔する個体を確認。S1 の谷で旋回した後、北へ旋回移動する。小倉地区の高空で旋回する No. 26 の下で旋回を続けた後、No. 26 が西へ向かうと S1 方向へ移動し、S1 の北西のモミ樹頂に止まる。その後、No. 26 観察中に見失う。	3	S1
H25. 5. 14	26	不明	不明	11:50 ~ 11:56	No. 25 を観察中に発見。小倉地区上空を旋回しながら、西側へ移動する。その後、尾根を越え見失う。	3	—
H25. 5. 14	27	成鳥	不明	12:02 ~ 12:02	S1 のある谷の上空で旋回した後、斜面林に入り見失う。	3	S1
H25. 5. 14	28	成鳥	不明	12:05 ~ 12:10	観察地点 St. 5 北側の谷地上空を旋回するのを確認。徐々に上昇しながら南へ移動する。手前の林に遮られ見失う。	5	—
H25. 5. 14	29	成鳥	不明	12:05 ~ 12:15	174mピークの南尾根からその東の谷にかけて旋回移動する。そのまま旋回を続け、観察地点 St. 5 の北東で急降下したのち、ハチクマ (No. 1) へ攻撃する。その後も旋回を続け、北西へ進路を変えたのち、直飛、旋回後、尾根を越え、見失う。	3	—

サシバ確認状況 (H25.5.14)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.5.14	30	成鳥	不明	12:22 ~ 12:22	観察地点 St. 3 南の耕作地上低空を東へ直飛する。手前の建物の陰となり見失う。	3	S1
H25.5.14	31	成鳥	雄	12:22 ~ 12:31	S3 の谷津付近から出現する。谷津入り口の川下地区の上空で旋回しながら、足で虫を捕らえて食べる。その後、旋回しながら北へ移動する。その後、急降下し見失う。	11	S3
H25.5.14	32	成鳥	雄	12:28 ~ 12:49	宮崎地区の東側で旋回した後、南へ向かう。板山地区の上空から南東にかけて旋回しつつ、降下、昆虫のハンティング、食べる行動を2度行う。その後、羽ばたきディスプレイをしつつ旋回上昇してから北へ急降下し、降下先で No. 34、No. 35 を発見する。旋回後、尾根上の枯木に西向きで止まる。12:44 に飛び立ち、旋回した後、宮崎地区の東で再び羽ばたきディスプレイを行う。南へ向かい翼をたたんで急降下し、板山の東の尾根を南へ越える。	1	S2
H25.5.14	33	成鳥	不明	12:29 ~ 12:33	観察地点 St. 5 北側上空を旋回するのを確認。徐々に上昇しながら南へ移動し見失う。	5	—
H25.5.14	34	不明	不明	12:34 ~ 12:40	No. 32 を確認中、急降下した宮崎地区の南東で No. 35 と共に旋回しているのを発見。No. 32 観察のため見失う。	1	—
H25.5.14	35	不明	不明	12:34 ~ 12:40	No. 32 を確認中、急降下した宮崎地区の南東で No. 34 と共に旋回しているのを発見。No. 32 観察のため見失う。	1	—
H25.5.14	36	不明	不明	12:40 ~ 12:40	観察地点 St. 5 東のスギ林より、警戒音を確認。	5	—
H25.5.14	37	不明	不明	12:49 ~ 12:49	観察地点 St. 5 東のスギ林より、警戒音を確認。	5	—

サシバ確認状況 (H25.5.14)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.5.14	38	成鳥	雄	13:07 ~ 13:10	宮崎地区の東側樹林上から出現し、南西へ旋回移動後、北東へ旋回しながら移動し、小口地区の東で滑翔する。尾根に遮られて見失う。	10	S2
H25.5.14	39	成鳥	雌	13:17 ~ 13:20	川下地区の西から羽ばたきを交え飛翔してくるのを確認。2度旋回したのち、東へ滑翔する。	11	S3
H25.5.14	40	成鳥	雄	13:47 ~ 13:47	宮崎地区の北東の尾根上から出現し、羽ばたきながら直飛する。宮崎地区東の畑の上を飛翔中に樹林陰になり、見失う。	10	S2
H25.5.14	41	成鳥	雄	13:48 ~ 13:52	宮崎地区の東を南へ直飛し、旋回北上した後、トビに後方から攻撃する。その後、ゆっくり飛翔した後、南へ滑翔し、板山地区の東の尾根を南へ越える。	1	S2
H25.5.14	42	成鳥	不明	14:15 ~ 14:16	川下の北側の水田上空で旋回しているのを確認。その後、東へ滑翔し、手前尾根で見えなくなる。	11	S3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ◎：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.5.14）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
⋯：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
●：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.5.14）

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.6.17	1	成鳥	不明	9:00 ~ 9:01	S1 西の樹木に止まっているのを確認。その後、降下し、ハンティングする。一時見えなくなるが直後、何か緑色の餌をくわえ、巣へ戻る。その後、巣の対面の斜面へ直飛し、見失う。	3	S1
H25.6.17	2	成鳥	雌	9:15 ~ 9:20	S1 の谷内から現れ、南東尾根の南端にあるスギに止まる。9:20 に南の谷に降下して見失う。	3	S1
H25.6.17	3	成鳥	雄	9:22 ~ 9:43	板山地区南西、174mピークの西で嘴に餌をくわえて旋回上昇し、途中空中で餌を足に持ち替え、自ら食す。食後、ディスプレイと思われる深いはばたきをしつつ旋回上昇する。一度南東へ向かい、大平地区の東で羽ばたきディスプレイをしつつ旋回上昇する。東へ向かう際、太陽と重なり見失う。	7	—
H25.6.17	4	成鳥	不明	9:31 ~ 9:33	S1 の東側上空を旋回しながら北西へ向かう。小倉地区の西側尾根を越えて見失う。	3	S1
H25.6.17	5	成鳥	不明	9:36 ~ 9:53	S1 のある谷から北へ飛翔を確認。小倉地区内の民家の屋敷林のスギ樹頂に止まる。9:38 に地面に降下し（ハンティングと思われる）、9:39 に S1 に向かい直飛する（餌の運搬と思われる）。9:41 に北へ直飛し、屋敷林のヒノキ樹頂に止まる。9:47 に飛び立ちトビに対し攻撃する。旋回上昇しながらしつこく追い回した後、トビが北東へ直飛をはじめたと同時に南南西へ急降下し、林内に入り、見失う。	3	S1
H25.6.17	6	成鳥	不明	9:56 ~ 9:57	S1 の谷から現れ、久那川上空で旋回する。その後、No.7 を観察中に見失う。	3	S1

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 17	7	若鳥	不明	9:57 ~ 10:01	久那川沿いを西へ向かい S1 巣の北側にある尾根上のモミに止まる。その後、No. 8 に追い出され、No. 9 に追われながら、旋回上昇して東側へ向かう。その後、北西へ向かう。	3	—
H25. 6. 17	8	成鳥	雌	9:57 ~ 10:11	S1 の西側のピーク針葉樹樹頂に止まるのを確認。No. 7 を追い出し、No. 7 の止まっていたモミに止まる。10:11 に飛び立ち、営巣林内へ入り見失う。	3	S1
H25. 6. 17	9	成鳥	雄	9:57 ~ 10:02	S1 の谷から旋回上昇し、No. 8 に追い出された No. 7 を追い始める。No. 7 と No. 9 の 2 羽で旋回上昇した後、No. 7 が北西へ向かうと同時に東へ向かい、S1 から久那川の対岸の谷津付近へ降下する。	3	S1
H25. 6. 17	10	成鳥	不明	9:59 ~ 10:12	観察地点 St. 11 の西側上空から出現し、大畑の西側で旋回上昇する。時々深い羽ばたきをしながら高空で旋回を続け、その後、西南西へ急降下して斜面に降下中に尾根陰になり、見失う。	11	S4
H25. 6. 17	11	成鳥	不明	10:10 ~ 10:10	鳴き声を確認後、地上 60m ぐらいの低空を飛行するのを確認。	5	—
H25. 6. 17	12	不明	不明	10:13 ~ 10:13	林の中で鳴き声を確認。	5	—
H25. 6. 17	13	若鳥	不明	10:18 ~ 10:19	川下の西斜面で羽ばたいて旋回後、東へ羽ばたきながら直飛する。川下の北斜面の林内に入り、見失う。	11	—
H25. 6. 17	14	不明	不明	10:19 ~ 10:21	旋回上昇した後、北へ飛行するのを確認。	5	—
H25. 6. 17	15	成鳥	不明	10:22 ~ 10:28	巣 S2 方向から西へ飛行してきて、鳴きながらトビに攻撃する。その後、羽ばたきながら旋回し、東へ移動する。尾根を越え見えなくなる。	1	S2

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 17	16	成鳥	不明	10:23 ~ 10:28	板山地区、174mピークの尾根の東側から越えてきて、旋回しつつ北へ向かった後、北へ直飛していく。	7	S2
H25. 6. 17	17	若鳥	不明	10:24 ~ 10:26	川下の北斜面から No. 18 と出現して、2羽で羽ばたきながら斜面を東へ旋回移動する。川下の北東の斜面へ2羽で旋回移動中に尾根陰で見失う。	11	—
H25. 6. 17	18	成鳥	雄	10:24 ~ 10:26	No. 17 と同じ行動。	11	S3
H25. 6. 17	19	成鳥	不明	10:30 ~ 10:34	宮崎地区の東で確認。羽ばたきを交え南西に直飛する。板山地区 174m ピーク北側で旋回後、北東へ滑翔。St. 2 の南側の谷部へ入り見えなくなる。	1	S2
H25. 6. 17	20	成鳥	不明	10:32 ~ 10:33	板山地区上を南へ直飛してくるのを発見。その後、旋回して南へ向かい、尾根に越え見失う。	7	S2
H25. 6. 17	21	若鳥	不明	10:32 ~ 10:37	和見の上空から出現し、東へ旋回移動する。和見の東の尾根上で旋回を続け、東へ直飛中に尾根陰で見失う。	11	—
H25. 6. 17	22	成鳥	雄	10:32 ~ 10:36	和見の上空に出現し、No. 22 と東へ旋回移動する。和見の東側で旋回上昇後、高空を東に滑空する。その後、手前の樹林に遮られ見失う。	11	S3
H25. 6. 17	23	不明	不明	10:47 ~ (10秒)	大平地区で旋回するのを林越しに確認。林に遮られ見えなくなる。	7	—
H25. 6. 17	24	成鳥	雄	11:08 ~ 11:17	梅平地区北の上空に確認。羽ばたきディスプレイをしながら旋回上昇後、滑空して西北西へ向かう。	6	—
H25. 6. 17	25	成鳥	雄	11:10 ~ 15秒	板山地区 174mピークの南から西へ羽ばたいて直飛する。手前林に遮られ見えなくなる。	7	—
H25. 6. 17	26	成鳥	不明	11:25 ~ 11:33	小口地区東 187m ピーク上空に東から現れ、旋回、旋回上昇しながら、徐々に北西へ移動する。途中、羽ばたきディスプレイを行う。高空まで上昇した後、滑空を始め、さらに北西へ向かう。	6	—

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 17	27	成鳥	不明	11:35 ~ 11:46	南平地区南を南へ向かうのを発見。旋回上昇したのち、ゆっくりと高空を東へ飛翔し、その後、南平地区上空を北西へ向かう。目前の林に遮られ見失う。	7	—
H25. 6. 17	28	成鳥	不明	12:05 ~ 12:07	S1 付近から鳴き声がした後、谷のスギ樹頂に止まるのを確認。他の個体の観察中に見失う。	3	S1
H25. 6. 17	29	若鳥	不明	12:05 ~ 12:11	No. 28 の鳴き声と同時に S1 谷内から現れ、旋回上昇しつつ北へ移動する。小倉地区西側を旋回中、見失う。	3	—
H25. 6. 17	30	成鳥	不明	12:09 ~ 12:14	No. 29 確認中に小倉地区西側のピーク西側から現れる。No. 31 と旋回したのち、別に現われた No. 31 と共に旋回し、小ピーク西側へ入り見失う。	3	—
H25. 6. 17	31	成鳥	不明	12:10 ~ 12:13	No. 29、No. 30 を確認中に北から現れる。No. 30 と共に旋回後、やや北寄りに旋回移動する。	3	—
H25. 6. 17	32	若鳥	不明	12:16 ~ 12:19	小倉地区の南西の谷上空辺りから現れ、そのまま南東へ旋回移動し、見失う。	3	—
H25. 6. 17	33	不明	不明	12:30 ~ 12:31	213mピーク南西の谷戸付近上空に確認。旋回後、滑空して西へ向かう。(梅平地区北の水田地帯へ降りた可能性あり)。	6	—
H25. 6. 17	34	成鳥	雌	12:50 ~ 12:54	S1 付近の谷から久那川沿いの東の水田へ直飛してくるのを確認。水田内の樹木に止まる。その後、水田へ降下し見失う。ハンティングと思われるが、その後、確認できず見失う。	3	S1
H25. 6. 17	35	成鳥	不明	12:51 ~ 12:53	宮崎地区上空から手前林を越えて出現。西へ羽ばたきを交え滑翔する。カラスにモビングされ、旋回し西へ。	1	S2

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 17	36	成鳥	雄	12:54 ~ 13:03	川下の北側から鳴きながら出現して急降下する。川下の北の林内へ入った後、No. 37と2羽で出現した。その後、2羽で羽ばたき、旋回を続けた後、和見の上空を南へ飛翔中に尾根陰で見失う。	11	S3
H25. 6. 17	37	成鳥	雌	12:55 ~ 13:00	川下の北側の斜面の林内からNo. 36と出現し、羽ばたいて旋回する。No. 36に追われながら和見の上空を2羽で上昇しながら旋回移動する。その後、S3上空を南へ飛翔中に尾根陰で見失う。	11	S3
H25. 6. 17	38	成鳥	不明	12:56 ~ 12:58	S1の北東で旋回上昇後、S1の西側の林へ急降下し、見失う。	3	S1
H25. 6. 17	39	成鳥	雄	13:01 ~ 13:06	板山地区南西、174mピークの西側で旋回するのを発見。旋回上昇したのち、北東へ直飛していく。手前林に遮られ見失う。	7	—
H25. 6. 17	40	成鳥	不明	13:02 ~ 13:09	中津原上空を南西に旋回移動するのを確認。途中でトビに追われながら旋回し、その後、南東方向へ直飛する。手前林に遮られ見失う。	3	—
H25. 6. 17	41	成鳥	雄	13:12 ~ 13:13	観察地点 St. 1 の西側から現れ、上空を通り東へ直飛する。水田のほうへ降下していく。手前の林に隠れ見えなくなる。	1	S2
H25. 6. 17	42	成鳥	不明	13:34 ~ 13:36	観察地点 St. 3 の南側の電柱に止まるのを確認。13:35に飛び立ち、西へ直飛する。小学校跡地のヒノキ樹頂に止まる。13:36に飛び立ち、S1の谷に入り見失う。	3	S1
H25. 6. 17	43	成鳥	不明	13:40 ~ 13:42	板山地区の 174mピーク南西上空で旋回しているのを確認。旋回上昇後、北東へ直飛し、林内へ急降下する。	1	—

サシバ確認状況 (H25.6.17)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 17	44	成鳥	不明	13:44 ~ 14:02	板山地区の 174m ピーク南西のスギ林の樹頂に南向きで止まっているのを発見。主に羽づくろいをしていることが多く、時々辺りを見回す。14:02 に飛び立って、スギ林の影となり見えなくなる。	7	—
H25. 6. 17	45	成鳥	不明	13:50 ~ 13:51	梅平地区北東の谷戸付近上空に確認。旋回後、滑空して南へ向かい、梅平地区南東の谷戸の中に入る。(餌は持っていない)	6	—
H25. 6. 17	46	不明	不明	13:50 ~ 13:51	219.9m ピーク西の上空で旋回後、南東へ滑翔する。滑翔中に尾根陰で見失う。	11	—
H25. 6. 17	47	成鳥	不明	14:06 ~ 14:09	板山地区の 174m ピーク南西で旋回しているのを確認。7 分に 174m 南東側沢部へ高度を下げ見えなくなる。8 分に旋回上昇し、174m 上空へ。再び南東側へ高度を下げ見えなくなる。	1	—
H25. 6. 17	48	成鳥	雌	14:16 ~ 14:21	S1 付近のアカマツ枯木に止まっているのを確認。その後、東へ飛び立ち、旋回移動後、東へ直飛。川を挟んで左岸の谷津に入り、見失う。	3	S1
H25. 6. 17	49	成鳥	不明	14:22 ~ 14:25	観察地点 St. 2 の北に確認。羽ばたきながら南西へ滑翔。鳴きながら足を出し、174m 南西谷部へ降下する。	1	S2
H25. 6. 17	50	成鳥	雄	14:28 ~ 14:32	板山地区南、174m ピークの南を西へ直飛するのを発見。旋回上昇したのち、北西へ向かう。	7	—
H25. 6. 17	51	成鳥	雄	14:53 ~ 14:57	小学校跡地のヒノキ樹頂に止まるのを確認。しばらくして、北へ飛び立ち旋回後、西の林付近に降下し見失う。	3	S1
H25. 6. 17	52	不明	不明	14:32 ~ 14:34	板山地区北を南へ向かうのを発見。羽ばたきディスプレイをしつつ、旋回上昇したのち、南西へ翼をたたんで急降下する。南平地区の北へ向かう。	7	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙↘：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.6.17）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔

↙：急降下

・：止まり

◎：旋回上昇

⊗：旋回

▲：地上

⊙：鳴き声



サシバ飛翔図（H25.6.17）

サシバ確認状況 (H25.6.18)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 18	1	成鳥	雌	9:56 ~ 10:01	S1 東尾根のスギ樹頂に止まっているのを確認。9:58 に西へ飛翔し、針葉樹に止まる。10:01 に飛び立ち一時見えなくなるが、すぐ現れ、林内へ入り見失う。	3	S1
H25. 6. 18	2	成鳥	不明	10:12 ~ 10:12	巣 S2 付近から南へ飛翔するのを確認。手前の尾根に隠れ見えなくなる。	10	S2
H25. 6. 18	3	成鳥	雄	10:49 ~ 10:50	南から餌（カエル）を持って飛翔してくるのを確認。巣 S2 南側尾根の枯れ木に止まり、周辺を確認後、巣 S2 方向へ。	10	S2
H25. 6. 18	4	成鳥	不明	11:03 ~ 11:03	S1 付近より東へ直飛する。尾根を迂回し、南の谷へ入り見失う。	3	S1
H25. 6. 18	5	不明	不明	11:36 ~ (3 秒)	板山地区南の 174m ピーク南の斜面林上を北東へ直飛するのを確認する。	5	—
H25. 6. 18	6	成鳥	不明	11:43 ~ 11:44	S3 の南上空で鳴きながら旋回するのを確認。その後、北へ羽ばたいて旋回移動中に尾根陰で見失う。	11	S3
H25. 6. 18	7	成鳥	不明	11:46 ~ 11:55	和見地区東の上空で旋回後、北西に羽ばたき旋回上昇する。川下地区高空から東へ飛翔して、再び和見地区の高空で旋回上昇する。その後、高空で羽ばたき旋回中に、ガス雲の中へ消失して見失う。	11	S3
H25. 6. 18	8	成鳥	雄	10:48 ~ (10 秒)	巣 S2 付近から出現し、南へ飛翔。手前の尾根に隠れ見えなくなる。	10	S2
H25. 6. 18	9	成鳥	不明	11:52 ~ 11:54	中津原地区の南西でトビ 2 羽と共に旋回するのを確認。徐々に東へ旋回移動後、南東へ直飛し、手前尾根に隠れ見失う。	3	—
H25. 6. 18	10	成鳥	不明	11:55 ~ 12:14	板山地区南で羽ばたきディスプレイをしつつ、旋回上昇を繰り返す。この後、北へ滑翔し、翼をたたんで急降下する。	5	—

サシバ確認状況 (H25.6.18)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 6. 18	11	成鳥	雄	12:00 ～ 12:08	宮崎地区を南へ直飛するのを確認。小口温泉上空付近で旋回上昇する。No. 12 と共に南平方向へ滑翔し、南東に向きを変える。手前林で見えなくなる。	10	—
H25. 6. 18	12	成鳥	雄	12:00 ～ 12:10	宮崎地区上空から No. 11 を追いかけて南へ直飛する。No. 11 と共に小口温泉上空付近で旋回上昇する。南平方向に滑翔し、旋回上昇後、西へ降下する。	10	—
H25. 6. 18	13	成鳥	不明	14:14 ～ 14:32	川下地区上空から北へ羽ばたき、鳴きながら直飛して川下地区北西で旋回を続ける。その後、西へ飛翔して斜面の枯れ木の枝に止まる。さかんに羽づくろいをした後、14:32 に林内へ降下して見失う。	11	—
H25. 6. 18	14	成鳥	不明	12:03 ～ 12:12	S1 付近より東へ直飛する。尾根を迂回し、旋回しながら、南へ移動後、スギ樹頂に止まる。12:11 に飛び立ち、見失う。	3	S1
H25. 6. 18	15	成鳥	雄	12:26 ～ 12:35	S1 から西北西の位置にある針葉樹に止まっているのを確認。12:27 に S1 の西側の尾根の針葉樹に移動する。12:32 に尾根付近の林冠で止まりと短い飛翔を繰り返す（ハングイン→失敗を繰り返した様子）。12:35 に南側へ飛び立ち見失う。	3	S1
H25. 6. 18	16	成鳥	不明	13:02 ～ 13:25	中津原地区の東のスギに止まっているのを確認。羽づくろいし、13:25 に南へ急降下し、見失う。	3	—
H25. 6. 18	17	成鳥	雄	13:23 ～ 13:23	S2の南西方向からS2のある林内へ入る。	10	S2

サシバ確認状況 (H25.6.18)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.6.18	18	成鳥	雄	13:27 ~ 13:43	S2 付近の林内より出現し、西側の枯木に止まる。辺りを見回し、羽づくろいをした後、林内に降下する。35 分に出現し、アカマツ樹頂に止まり、辺りを見回し羽づくろい後、林内へ降下する。39 分に再び出現し、アカマツに止まる。昆虫を捕まえ、翅をむしった後、S2 ある林内へ入る。	10	S2
H25.6.18	19	成鳥	雌	13:34 ~ 13:34	S1 の谷より現れ、南側の尾根へ向かう。	3	S1
H25.6.18	20	成鳥	雄	13:54 ~ 13:57	S2 林内より出現し、尾根上のアカマツ樹頂に止まる。辺りを見回し、57 分に南へ飛翔する。手前尾根で見えなくなる。	10	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ◎：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.6.18）

サシバ確認状況（H25.7.3）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.3	1	成鳥	雄	9:03 ～ 9:04	S1 林内より北側の尾根上の枯木に止まる。羽づくろいをしたのち、西側林内へ入り、見失う。	3	S1
H25.7.3	2	成鳥	不明	9:07 ～ 10:18	S1 東側のアカマツ樹頂に止まる。辺りを見回し、9:35 に西へ飛び立ち、同尾根のアカマツ枯木に止まる。10:18 に林内に入り、見失う。	3	S1
H25.7.3	3	成鳥	雄	9:16 ～ 9:18	板山地区南東の谷津の北側を東へ向かうのを確認する。	7	—
H25.7.3	4	成鳥	雌	10:16 ～ 10:17	小口温泉東の水田上空に確認。鳴きながら旋回・直飛して北北西へ向かう。	1	S2
H25.7.3	5	成鳥	雌	10:21 ～ 10:37	S2 西側の枯木樹頂に北から出現して止まる。南向きに止まり、辺りを見回す。23 分に樹冠に降下し、ハンティング後、別の枯木に止まり採食する。南西向きに止まり、辺りを見回した後、北側のスギ樹頂に北向きに止まる。羽づくろい後、S2 方向の林内へ入る。	10	S2
H25.7.3	6	成鳥	不明	10:35 ～ 10:40	S1 東の道路沿いの電波塔に止まっているのを確認。羽づくろいをつつ、辺りを見回す。10:39 に飛び立ち、S1 尾根上のアカマツ枯木に止まるが、すぐに飛び立ち、尾根林内へ入り、見失う。	3	S1
H25.7.3	7	不明	不明	10:43 ～ 10:43	S1 付近から鳴き声を確認。	3	S1
H25.7.3	8	不明	不明	10:43 ～ 10:45	板山地区南東の谷津北側から、鳴きながら南へ向かうのを確認。スギ林の林縁樹頂に北向きで止まり、盛んに鳴く。その後、南へ飛び立ち、尾根に遮られ見失う。	7	—
H25.7.3	9	成鳥	雄	10:49 ～ 10:50	大畑の南西から脚に大きな餌を持ち、羽ばたいて飛翔する。観察地点 St. 11 の北西の巣 S4 に餌を持って飛翔し、その後、すぐに飛び立って斜面を北へ飛翔し、見失う。	11	S4

サシバ確認状況 (H25.7.3)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 7. 3	10	不明	不明	11:07 ~ 11:07	S1 付近から鳴き声を確認。	3	S1
H25. 7. 3	11	不明	不明	11:10 ~ 11:10	S1 付近から鳴き声を確認。	3	S1
H25. 7. 3	12	成鳥	雄	11:37 ~ 11:50	学校跡地の針葉樹頂に止まっているのを確認。羽づくろいをしつつ辺りを見回す。11:50 に南へ飛び立ち旋回しながら S1 方向へ南下する。	3	S1
H25. 7. 3	13	不明	不明	11:46 ~ 11:46	板山地区の南東の谷津の北側を東へ向かうのを確認する。	7	—
H25. 7. 3	14	不明	不明	11:47 ~ 11:47	大畑の南所空で No. 15 に追い出される。川下地区の上空で見えなくなる。		—
H25. 7. 3	15	成鳥	雄	11:47 ~ 12:07	大畑の南上空に出現する。No. 14 を追い出した後、観察地点 St. 11 の東の神社のモミ樹上に南向きで止まる。辺りを見回し、羽づくろいをする。12:06 に北東へ羽ばたいて直飛し、大畑の尾根を北に越えて見失う。	11	S4
H25. 7. 3	16	成鳥	雌	11:50 ~ 11:53	S1 付近から北へ直飛する個体を確認する。その後、小倉地区の民家の屋敷林の針葉樹に止まる。	3	S1
H25. 7. 3	17	若鳥 (幼鳥)	不明	12:23 ~ 12:28	S1 の斜面下部のアカマツに止まっているのを確認。	3	S1
H25. 7. 3	18	成鳥	雄	12:23 ~ 12:26	S1 の谷で No. 17 が止まるアカマツに飛来するのを確認。すぐに東へ直飛し、観察地点 St. 3 から約 100 m 南の電柱に止まる。12:26 に南東へ降下し、見失う (ハンティングと思われる)。	3	S1
H25. 7. 3	19	若鳥 (幼鳥)	不明	12:25 ~ 12:25	S1 付近の電柱に止まる。その後、地面近くに降下するが、すぐに現れ、林内の落葉樹に止まる。	3	S1
H25. 7. 3	20	若鳥 (幼鳥)	不明	12:26 ~ 12:37	No. 17 と同じアカマツの枝に止まっているのを確認。辺りを見回している。12:37 に谷部へ降下する (ハンティングと思われる)。建物に隠れ見失う。	3	S1

サシバ確認状況 (H25.7.3)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.3	21	成鳥	雌	12:29 ~ 12:48	S2 西側の枯木の枝に南西向きに止まり辺りを見回す。30 分に樹冠に降下し、ハンティングをした後、再び枯木に戻り、採食する。48 分に北側、林内に入り見失う。	10	S2
H25.7.3	22	成鳥	不明	12:46 ~ 12:46	大畑の北側を西への飛翔を確認する。219.9mピークの南の谷へ降下中に見失う。	11	S4
H25.7.3	23	成鳥	雌	12:53 ~ 13:02	S2 北西側のスギ樹頂に、北側谷部より上昇してきて、止まるの確認。東向きに止まり、辺りを見回し、羽づくろい後、北へ降下する。	10	S2
H25.7.3	24	成鳥	雄	12:54 ~ 13:01	S1 東の道路沿いの電波塔に止まっているの確認する。脚に緑色の餌（カエル?）を持っている。その後、S1 の谷に降下して見失う。その後、すぐ谷上に現れ、学校跡地の針葉樹頂に止まる。13:01 に南西へ飛び立ち、林内に入り見失う。	3	S1
H25.7.3	25	成鳥	不明	13:06 ~ 13:08	中津原の北側の尾根上のアカマツ樹上に北向きで止まっているの確認。13:08 に東へ羽ばたいて飛翔する。斜面を飛翔中、手前の林に遮られ見失う。	11	—
H25.7.3	26	成鳥	不明	13:19 ~ 13:20	S1 斜面下部のアカマツに止まる。すぐに飛び立ち、斜面を回り込み、1 つ南側の谷へ入り見失う。	3	S1
H25.7.3	27	成鳥	雌	13:19 ~ 13:22	S2 北西側のスギ樹頂に北から滑翔してきて南向きに止まる。大型の昆虫をくわえており、辺りを見回した後、昆虫を飲み込む。羽づくろい後、北に降下する。	10	S2
H25.7.3	28	不明	不明	13:22 ~ 13:22	S1 の谷の奥から鳴き声を確認。	3	S1
H25.7.3	29	成鳥	不明	13:44 ~ 14:01	中津原地区の東にある針葉樹頂に止まっているの確認。辺りを見回している。14:01 に北へ飛び立ち見失う。	3	—

サシバ確認状況 (H25.7.3)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.3	30	不明	不明	13:52 ~ 13:52	板山地区南の谷津上を北へ直飛するのを確認する。	7	—
H25.7.3	31	成鳥	雌	14:01 ~ 14:01	大畑の北側から出現する。嘴に餌をくわえ 219.9mピークの南の谷へ羽ばたいて飛翔する。その後、尾根に遮られ見失う。	11	S4
H25.7.3	32	成鳥	雌	14:09 ~ 14:24	S2 北西スギ樹頂に北向きに止まっているのを確認する。その後、北へ降下し見失う。	10	S2
H25.7.3	33	若鳥 (幼鳥)	不明	14:33 ~ 14:39	S1 の尾根上のアカマツ枯木に止まっているのを確認。14:35 に飛び立ち、落葉広葉樹でハンティング(大きいイモムシを捕る)を行い、斜面下部のアカマツに止まる。その後、採食する。14:39 に飛び立ち、林内に入り見失う。	3	S1
H25.7.3	34	成鳥	雄	14:47 ~ 14:48	観察地点 St. 11 の北側から羽ばたいて出現する。巣 S4 の南斜面のアカマツの枝に止まる。14:48 に南西に飛翔して、観察地点 St. 11 西側の林縁のアカマツに止まるが、すぐに飛び立ち、西の谷の中へ入り見失う。	11	S4

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙↘：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
●：鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図（H25.7.3）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

- ：成鳥（雄）
- ：成鳥（雌）
- ：雌雄不明成鳥
- ：若鳥
- ：成若不明・雌雄不明

- ←：飛翔
- ↙：急降下
- ・：止まり
- ◎：旋回上昇
- ⊗：旋回
- ▲：地上
- ⊙：鳴き声



サシバ飛翔図（H25.7.3）

サシバ確認状況（H25.7.4）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.4	1	若鳥	不明	9:05 ～ 9:22	174m ピーク北西の谷部のスギ樹頂に止まっているのを確認。探餌している。9:15 に飛び立ち、南西へ降下し、別のスギ樹頂に止まる(9:15)。	1	—
H25.7.4	2	不明	不明	9:08 ～ 3秒	板山地区南東、174mピークの東側で谷津上を鳴きながら、南へ羽ばたいて直飛するのを確認する。	5	—
H25.7.4	3	成鳥	不明	9:13 ～ 9:50	中津原の北西斜面スギ樹頂に止まり、探餌、羽づくろい、休息をする。9:49 に南西に向きを変え、南西に飛び立つ。少し南西側の林内へ入り見失う。	11	—
H25.7.4	4	成鳥	雌	9:17 ～ 9:18	S1 付近から現れ、道沿いの電波塔へ止まる。その後、南西へ飛び立ち、見失う。	3	S1
H25.7.4	5	成鳥	不明	9:22 ～ 9:30	P173m北東のピークの北西尾根上のアカマツ樹頂に止まっているのを確認。探餌している。9:30 に飛び立ち、南東へ降下（ハンティングと思われる）。	1	—
H25.7.4	6	若鳥 (幼鳥)	不明	9:22 ～ 9:31	S1 斜面林に止まっている幼鳥 1羽を確認。観察中にもう 1羽の幼鳥が現れ、2羽で林内に入り、見失う。	3	S1
H25.7.4	7	成鳥	不明	9:31 ～ 9:40	P173m北東のピーク上（No.1 の近く）のヒノキ樹頂に止まっているのを確認。探餌している。9:40 に飛び立ち、滑空して東へ向かう。	1	—
H25.7.4	8	成鳥	不明	9:40 ～ 9:40	168mピーク北西尾根を南へ越える。	3	S1
H25.7.4	9	成鳥	不明	9:43 ～ 9:43	S1 西側の尾根を南へ越える。	3	S1
H25.7.4	10	成鳥	不明	9:52 ～ 10:04	予定地南の尾根上のアカマツ樹頂に止まっているのを確認する。羽づくろい、探餌を行う。10:04 に飛び立ち、斜面沿いに北東へ滑空する。ハンティングと思われる。	1	—

サシバ確認状況 (H25.7.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.4	11	成鳥	不明	10:03 ~ 10:04	中津原地区西の斜面のスギ樹頂に止まる。10:04 に羽ばたいて飛び立ち、少し東の林内に入り、見失う。	11	—
H25.7.4	12	成鳥	雌	10:07 ~ 10:20	S2 南西の尾根上の枯れアカマツに止まっているのを確認。10:14 に飛び立ち、南南東へ滑空。スギ樹頂に止まる(10:14)。	1	S2
H25.7.4	13	成鳥	雄	10:09 ~ 10:09	S2 北西側林内で鳴き声を確認。S2 北側尾根上の広葉樹に止まり再び鳴く。その後、林内へ降下し見失う。	10	S2
H25.7.4	14	成鳥	不明	10:13 ~ 10:23	中津原西の斜面に南西向きで止まる。探餌、羽づくろいをする。10:23 に西へ降下し、落葉樹の青葉の中でイモムシを捕まえ、口にくわえて南東へ飛翔する。飛翔中に尾根陰となり見失う。	11	—
H25.7.4	15	成鳥	雄	10:14 ~ 10:17	計画地東側の尾根沿いに直飛するのを確認。S1 西の尾根を越える。	3	—
H25.7.4	16	不明	不明	10:20 ~ 5 秒	板山地区南東 174m ピーク東の谷津上の南から、鳴きながら西へ羽ばたいて直飛するのを確認する。	5	—
H25.7.4	17	不明	不明	10:23 ~ 10:24	板山地区の南、174m ピークの南で鳴きながら旋回した後、北東へ滑翔していく。	5	—
H25.7.4	18	成鳥	雄	10:23 ~ 10:35	S1 付近から南へ向かったのちUターンして、168m ピーク北側斜面の針葉樹頂に止まる。3 回ほど落葉広葉樹でハンティングするが失敗する。その後、東へ飛翔して、旋回しながら北東の林に入り見失う。	3	S1
H25.7.4	19	成鳥	雄	10:24 ~ 10:44	174m ピークの南尾根上の枯木に止まるのを確認。周りを見回し、羽づくろいを行う。10:43 に飛び立ち、羽ばたきディスプレイを行いながら、南西へ移動する。174m ピーク東で旋回後、斜面沿いに北東へ向かう。	1	S2

サシバ確認状況 (H25.7.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 7. 4	20	成鳥	雌	10:37 ~ 11:00	学校跡地南の針葉樹に止まっているのを確認。北へ止まりと飛翔を繰り返しながら向かう。No. 21 が現れると南へ旋回移動し、S1 の尾根を越える。	3	S1
H25. 7. 4	21	若鳥	不明	10:37 ~ 11:00	学校跡地北から No. 20 に追われ、S1 方向へ旋回移動し、尾根を越える。	3	—
H25. 7. 4	22	若鳥	不明	10:43 ~ 10:46	板山地区の東で No. 23 と 2 羽で旋回上昇したのち、北へ向かう。尾根に遮られ見えなくなる。	5	—
H25. 7. 4	23	成鳥	雄	10:43 ~ 10:46	板山地区の東で No. 22 と 2 羽で旋回上昇後、東へ向かう。尾根に遮られ見えなくなる。	5	—
H25. 7. 4	24	若鳥	不明	10:46 ~ 10:55	板山地区東の尾根上のアカマツ枯木に止まるのを確認。止まっている時は探餌をしている。10:55 に北西へ飛び立つ。	1	—
H25. 7. 4	25	成鳥	不明	10:49 ~ 11:01	中津原の西から東方向へ直飛して、林縁のスギ樹頂に止まる。11:01 に北東林内へ入り、見失う。	11	—
H25. 7. 4	26	成鳥	不明	11:02 ~ 11:02	No. 25 の個体が消失した直後に中津原西側から出現して羽ばたきながら東へ飛翔する。中津原の西斜面の上を飛翔中に見失う。	11	—
H25. 7. 4	27	成鳥	雌	11:07 ~ 11:14	S1 東尾根でハンティングを繰り返す。2 回目で成功し、昆虫類を自ら食べる。その後、林内に入り見失う。	3	S1
H25. 7. 4	28	成鳥	雄	11:18 ~ 11:23	S2 方向から西へ羽ばたきながら飛翔するのを確認。その後、林越しに No. 29 と旋回し、S2 方向へ戻る。S2 上空を通り南へ向かう。	10	S2
H25. 7. 4	29	成鳥	雌	11:19 ~ 11:21	S2 方向から鳴きながら No. 28 と同方向へ向かう。林越しに 2 羽で旋回しているのを確認。林に隠れ見えなくなる。	10	S2
H25. 7. 4	30	成鳥	雄	11:27 ~ 11:39	S1 の谷から現れ、東へ向かう。久那川の東側の谷津入口で旋回上昇した後、西南西へ直飛する。	3	—

サシバ確認状況 (H25.7.4)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25.7.4	31	成鳥	雄	11:37 ~ 11:38	南から飛んできて、S2 北東へ鳴きながら降下する（足に餌を持っている）。	10	S2
H25.7.4	32	成鳥	雌	11:59 ~ 12:00	S1 南側の谷から現れ、S1 東側の樹木へ止まる。餌を持ってきたらしく、すぐに幼鳥が寄ってきて受け渡す。その後、再び S1 南側の谷へ向かい、林内に入り、見失う。	3	S1
H25.7.4	33	成鳥	雄	12:03 ~ 12:04	S2 北付近上空に確認。餌（昆虫類）をくわえながら、旋回した後、降下して S2 付近林内に入る。すぐに林内より現れ（この時、餌をくわえていないように見える）、低空を滑空して北へ向かう。給餌したものと思われる。	1	S2
H25.7.4	34	不明	不明	12:17 ~ 12:20	S2 北～北東林内より鳴き声を確認する。（1 分毎に 1～3 回の鳴き声）	10	S2
H25.7.4	35	不明	不明	12:38 ~ 5 秒	板山地区東の谷津の上空を南へ直飛するのを確認する。	5	—
H25.7.4	36	成鳥	雄	12:38 ~ 12:55	板山地区南東の 174m ピークの東側を鳴きながら北へ向かうのを確認する。尾根上の針葉樹に止まる。12:40 に飛び立ち、板山地区の東 174m ピークの東側を南南東へ鳴きながら直飛し、一時、林に遮られ見えなくなるが、西へ向かうのを再発見する。174m ピーク南斜面のヒノキ林の樹頂に西向きで止まり、盛んに鳴く。その後、南へ飛び立つ。手前林に遮られ見えなくなる。	5	—
H25.7.4	37	成鳥	雄	12:52 ~ 13:10	久那川左岸から S1 に向かい直飛する。餌を持ち、巣 S1 で幼鳥に餌を渡した後、学校跡地の針葉樹に止まるが、すぐに飛び立ち、久那川を越えて東へ向かう。観察地点 St.3 の東の樹林のスギ樹頂に止まる。下を見回した後、降下し見失う。ハンティングと思われる。	3	S1

サシバ確認状況 (H25.7.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H25. 7. 4	38	成鳥	不明	13:03 ~ 13:15	No. 25 と同じスギ樹頂に南東向きで止まっているのを確認。見回しなどをし、13:15 に北東林内へ入り、見失う。	11	—
H25. 7. 4	39	成鳥	雌	13:29 ~ 13:31	174mピークの北西の斜面上に確認する。餌をくわえながら斜面沿いに北へ滑空し、S2 南の落葉樹林内へ入る。13:30 に同林内より現れ（この時は何もくわえていない）、滑空して南へ向かい、174mピーク南西斜面上のスギ樹頂に止まる（13:31）。	1	S2
H25. 7. 4	40	成鳥	雄	13:34 ~ 13:35	久那川左岸から巣 S1 へ直飛する。餌を持ち、巣 S1 で幼鳥に餌を渡した後、巣 S1 の南の谷へ入り見失う。	3	S1
H25. 7. 4	41	成鳥	雌	13:50 ~ 13:51	S2 北東に確認する。羽ばたきながら南へ向かう。	10	S2
H25. 7. 4	42	成鳥	不明	14:22 ~ 14:24	中津原の西斜面から羽ばたいて出現し、中津原の南西側で鳴きながら旋回後、北東へ飛翔する。	11	—
H25. 7. 4	43	成鳥	雄	14:34 ~ 14:41	久那川上を東へ向かうのを確認する。スギ樹頂に止まる。その後、竹林へ向かいハンティングする。	3	S1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声



0 200 400 800(m)

サシバ飛翔図（H25.7.4）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
● : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
⊙ : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

サシバ飛翔図 (H25.7.4)

(工) ミサゴ

ミサゴ確認状況 (H25.5.13)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25.5.13	1	不明	不明	10:35 ~ 10 秒	観察地点 St.7 の南側大平地区上空を足に餌（魚類）を持って東へ直飛する。目前林に遮られ見失う。	7

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ミサゴ飛翔図（H25.5.13）

ミサゴ確認状況（H25.5.14）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25.5.14	1	成鳥	不明	10:07 ～ 10:10	小倉地内 186m 上空から東へ向かい直飛する。久那川上空で旋回上昇したのち、さらに東へ向かう。手前林に遮られ見失う。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

┌──┐ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)

— : 成鳥 (雌)

— : 雌雄不明成鳥

— : 若鳥

— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔

↙ : 急降下

⋯ : 止まり

◎ : 旋回上昇

⊗ : 旋回

▲ : 地上

● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)



ミサゴ飛翔図 (H25.5.14)

ミサゴ確認状況（H26.2.26）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 2. 26	1	成鳥	雌	10:23 ～ 10:39	西方向から St. 10 上空を通過し、南東方向へ直飛していく。	1
H26. 2. 26	2	成鳥	不明	12:57 ～ 13:18	St. 11 の北西尾根上のアカマツ樹頂に止まり、東側の池を見ながら探餌していた。13:17 に東へ急降下し、ウグイと思われる魚を捕まえた。その後、足に餌を持ちながら羽ばたいて旋回後、低空を南西に移動中に見失う。	11
H26. 2. 26	3	成鳥	不明	13:43 ～ 14:08	St. 11 の北西尾根上のアカマツ樹頂に止まり、東側の池を見ながら探餌していた。14:08 に池で魚を捕まえた後、足に餌を持ちながら低空を南西へ飛翔中に尾根陰で見失う。	11
H26. 2. 26	4	成鳥	不明	14:34 ～ 15:00	St. 11 の北西尾根上のアカマツ樹頂に止まり、東側の池を見ながら探餌をしていた。その後、探餌や羽づくろいをしながら 15:00 までパーチを確認する。	11

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

┌──┐：事業実施区域

- ：成鳥（雄）
- ：成鳥（雌）
- ：雌雄不明成鳥
- ：若鳥
- ：成若不明・雌雄不明

- ←：飛翔
- ↙：急降下
- ・：止まり
- ◎：旋回上昇
- ⊗：旋回
- ▲：地上
- ⊙：鳴き声



ミサゴ飛翔図（H26.2.26）

ミサゴ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.7	1	成鳥	不明	9:21 ~ 9:39	川下の西の上空から出現して、羽ばたきながら北へ飛翔後、St. 11 北西の尾根上アカマツに南東向きでパーチした (9:22)。その後、東側の池を見ながら探餌する。しばらくして、北東向きになり、周囲のカラスを気にしている様子。9:39 に池の北側へ飛翔中に低空の為、尾根陰となり見失う。	11
H26.3.7	2	成鳥	不明	12:29 ~ 12:49	St. 11 北西の尾根上アカマツに北東向きで止まっているのを確認 (No. 1 と同じアカマツ)。その後、探餌や休息をしていた。12:49 に北へ羽ばたきながら飛翔中に低空の為、尾根陰となり見失う。	11

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
⇐：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ミサゴ飛翔図（H26.3.7）

ミサゴ確認状況 (H26.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.8	1	成鳥	不明	13:05 ~ 13:09	St.3 東側上空で旋回し、そのままゆっくり南下する。	3
H26.3.8	2	成鳥	不明	13:43 ~ 13:45	182.5m ピーク西の那珂川の上から出現して、東へ飛翔する。その後、斜面を北へ飛翔して 182m ピークの南西で旋回後、北東へ飛翔する。182m ピークの北西側の尾根陰で見失う。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ミサゴ飛翔図 (H26.3.8)

(オ) ハイタカ

ハイタカ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25.4.20	1	成鳥	不明	14:29 ～ 14:32	梅平北東で確認。旋回しながら南方 向へ飛翔する。樹林に遮られ見失 う。	6

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハイタカ飛翔図 (H25.4.20)

ハイツカ確認状況（H25.6.17）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25. 6. 17	1	不明	不明	12:14 ～ 12:20	219.9 の南の上空で出現して、旋回を続け、上昇後、南へ飛翔する。その後、St. 11 の西の高空から西へ降下しながら、直飛して、計画地の北側の上空で尾根陰になり見失う。	11
H25. 6. 17	2	若鳥	不明	12:14 ～ 12:19	梅平東の丘陵上空に確認。旋回上昇しながら徐々に南へ移動した後、滑空して南南東へ向かい	6

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハイタカ飛翔図（H25.6.17）

ハイタカ確認状況（H26.2.25）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 2. 25	1	成鳥	不明	9:40 ～ 9:41	St. 7 西の南平地区の南の尾根上でトビ 8 羽に混じって旋回上昇するのを発見する。その後、西へ滑空し、尾根に遮られて見えなくなる。	7
H26. 2. 25	2	成鳥	雌	10:25 ～ 10:37	中津原上空でカラスと互いに攻撃しているのを確認する。その後、高空で旋回上昇を続け、カラスと攻撃を続ける。St. 9 の高空でカラスと別れ、南西に滑空中に見失う。	11
H26. 2. 25	3	成鳥	不明	12:01 ～ 12:05	板山地区南の 174m ピーク付近上空で、旋回上昇しつつ北西へ向かうのを発見する。ハシブトガラスに追われながら旋回し、攻撃されたり、逆に攻撃するなどしながら板山の北の林内に急降下する。	7
H26. 2. 25	4	成鳥	不明	13:01 ～ 13:01	北東低空を旋回後、北方向へ直飛する。スギ林に遮られ見失う。	1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハイタカ飛翔図 (H26.2.25)

ハイタカ確認状況 (H26.2.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.2.26	1	不明	不明	10:01 ~ 10:07	大平地区上空で旋回上昇後、徐々に北東へ向かい、174m ピーク上空でさらに旋回上昇する。	7
H26.2.26	2	成鳥	雌	10:04 ~ 10:11	久那川右岸 168m ピーク付近でトビと共に旋回する。時折トビに突っかかっていく。その後、ゆっくり旋回上昇し、久那川左岸上空を北へ直飛する。St.3 東側を通過し、中津原の南西付近で急降下し、見失う。	3
H26.2.26	3	若鳥	不明	10:10 ~ 10:39	St.1 東北東の落葉林に東方向を向いて止まっているのを発見。下方を気にしながら、羽づくろいをする。その後、南東方向に飛び立ち、降下する。	1
H26.2.26	4	不明	不明	12:32 ~ 12:36	174m ピーク西で旋回するのを発見。北へ移動後、旋回上昇する。高空を東へ移動中、トビを攻撃し始める。しばらく攻撃しながら旋回を繰り返す。その後、トビと離れ、旋回中に高空で見失う。	1
H26.2.26	5	不明	不明	13:50 ~ 13:52	大平地区上空をから旋回上昇しながら北東へ向かうのを確認する。	7
H26.2.26	6	成鳥	雌	13:58 ~ 14:03	オオタカの観察中に St.3 すぐ北で旋回するのを確認。オオタカに近づかれると、攻撃を加えた。その後、オオタカが移動するが、追わなかった。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙↘：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
●：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハイタカ飛翔図（H26.2.26）

ハイタカ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.7	1	不明	不明	12:50 ~ 12:53	St.6 南東方向の上空で旋回するのを発見。旋回上昇し、高空へ移動後、北西へ滑翔する。その後、ヒノキ林に遮られ見失う。	6
H26.3.7	2	成鳥	雄	12:55 ~ 12:59	St.3 付近の耕作地上空で旋回し、徐々に北東へ移動中、旋回を混ぜながら直飛する。中津原地区の尾根斜面付近に急降下して見えなくなる。	3
H26.3.7	3	成鳥	不明	14:26 ~ 14:27	ゆっくり旋回しながら南へ移動後、翼をたたみ急降下し、尾根陰で見失う（ハンティングしたかは不明）。	6
H26.3.7	4	成鳥	雄	14:48 ~ 14:51	St.6 南東の耕作地上空で旋回するのを発見。やや南へ移動後、旋回上昇する。その後、南西方向へ直飛し、目の前のヒノキ林に遮られ見失う。	6

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
●：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハイタカ飛翔図（H26.3.7）

ハイタカ確認状況（H26.3.8）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.8	1	成鳥	不明	10:03 ～ 10:03	オオタカを追うように現れる。オオタカが直飛を始める前には追うのを止めた為、その後不明。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔

↙↘：急降下

●：止まり

◎：旋回上昇

⊗：旋回

▲：地上

⊙：鳴き声



0 200 400 800(m)



ハイトカ飛翔図（H26.3.8）

(カ) ノスリ

ノスリ確認状況 (H25.4.20)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25. 4. 20	1	成鳥	不明	10:48 ~ 10:56	梅平東側から飛翔するノスリを確認。飛翔中は餌を探している。途中カラスに2度攻撃される。樹林の陰になり見失う。	6
H25. 4. 20	2	成鳥	不明	11:00 ~ 11:01	小口川上空を飛翔するのを確認。旋回しながら上空を西北西に滑翔し、萩ノ草へ向かう。	6
H25. 4. 20	3	成鳥	不明	13:02 ~	梅平北東で確認	6
H25. 4. 20	4	成鳥	不明	14:54 ~ 14:55	梅平東側から滑翔してくる。梅平付近で旋回をしながら下方を見ている。林の陰で見失う。	6

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)

— : 成鳥 (雌)

— : 雌雄不明成鳥

— : 若鳥

— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔

↙ : 急降下

● : 止まり

◎ : 旋回上昇

⊗ : 旋回

▲ : 地上

⊙ : 鳴き声



ノスリ飛翔図 (H25.4.20)

ノスリ確認状況（H25.4.21）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H25. 4. 21	1	成鳥	不明	10:32 ～ 10:34	St. 10 東の尾根上のヒノキ樹上に北西向きで探餌していた。その後、尾根の北西に急降下して見失う。	10
H25. 4. 21	2	成鳥	不明	11:26 ～	旋回しながら上空を飛翔する。	7
H25. 4. 21	3	成鳥	不明	11:46 ～ 11:46	アカマツ枯木樹頂にパーチするノスリを発見。周囲を見てきたが、バランスを崩し飛び立つ。尾根を越えて見えなくなる。	7
H25. 4. 21	4	成鳥	不明	13:21 ～ 13:22	川下地区上空を旋回するノスリを確認。その後陰に隠れて見失う。	1
H25. 4. 21	5	成鳥	不明	13:31 ～ 11:38	アカマツ枯木樹頂にパーチするノスリを発見。その後飛び立ち、旋回しながらゆっくり降下する。樹林の陰で見失う。	7

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)

— : 成鳥 (雌)

— : 雌雄不明成鳥

— : 若鳥

— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔

↙ : 急降下

⋯ : 止まり

◎ : 旋回上昇

⊗ : 旋回

▲ : 地上

⊙ : 鳴き声



ノスリ飛翔図 (H25.4.21)

ノスリ確認状況（H25.6.17）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H25. 6. 17	1	成鳥	不明	9:29 ～ 9:31	梅平集落上空に確認。旋回後、滑空して東へ向かう。	6

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ノスリ飛翔図 (H25.6.17)

ノスリ確認状況 (H26.2.25)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.2.25	1	成鳥	不明	9:06 ~ 9:39	St. 11の西南西林縁の落葉樹上部に止まり、南東向きで羽づくろいや探餌、休息をする。9:39 にハシブトガラスに攻撃されながら、低空を飛翔して、西の林内へ入り見失う。	11
H26.2.25	2	成鳥	不明	9:43 ~ 9:44	St. 3 北東を東へ向かい、カラスに追われながら直飛する。林の陰に入り見失う。	3
H26.2.25	3	成鳥	不明	9:58 ~ 9:59	St. 11 の西の谷から出現して、No. 1 がとまった西南西の落葉樹にパーチする。南東向きで探餌をしていた。9:59 に南西の谷の中へ飛翔中に見失う。	11
H26.2.25	4	不明	不明	10:12 ~ 10:13	St. 11の南西の林縁低空を北東へ羽ばたいて飛翔後、St. 11 の北側の民家の上で羽ばたいて旋回し、低空を南東へ羽ばたきながら飛翔する。低空の為、大畑地区を南東へ移動中に樹林陰になり見失う。	11
H26.2.25	5	不明	不明	12:17 ~ 12:22	St. 3 東で旋回上昇した後、久那川を越えて西の尾根へ直飛し、急降下する。尾根より少し高い高度で旋回した後、南へ飛翔、林の陰になり見失う。	3
H26.2.25	6	成鳥	不明	12:23 ~ 12:31	St. 11 南の耕作地上空を西へ飛翔し、St. 11 南東林縁の上で旋回を始める。下方を見ながら探餌し、北へ飛翔し、その後も旋回移動をする。219.9m ピークの南の尾根上で旋回上昇後、高空を東へ飛翔する。219.9m ピークの南東高空で旋回を続けた後、219m ピークの上空から南西に羽をたたみながら高度を下げたあと、St. 11の北西へ急降下し、尾根陰で見失う。	11

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
● : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ノスリ飛翔図 (H26.2.25)

ノスリ確認状況 (H26.2.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.2.26	1	成鳥	不明	8:46 ~ 9:21	St. 11の北西林縁の落葉樹に南東向きで止まり、探餌や羽づくろいをする。9:19 に南東へ降下して農地の地上にパーチする(ハンティング)。その後、ハシボソガラス2羽が近づき、ノスリへ攻撃した後、隣にパーチする。9:21 に南西へ飛び立ち、1羽のカラスに追われながら、St. 11の西南西林内に入り、見失う。	11
H26.2.26	2	成鳥	不明	10:03 ~ 10:06	梅平地区上空に確認する。旋回を交えながら北西へ移動する。	6
H26.2.26	3	成鳥	不明	10:24 ~ 10:39	St. 11 北西の林縁の落葉樹頂部に止まり探餌する。南東向きで止まり、見回しや探餌、休息をする。10:39 に飛び立ち、見失う。	11
H26.2.26	4	成鳥	不明	10:30 ~ 10:33	St. 3 北の田畑上空で旋回する。しきりに下を見回している。途中で見失う。	3
H26.2.26	5	成鳥	不明	11:30 ~ 12:33	St. 11 北西の林縁の落葉樹頂部に、南東向きで止まっているのを発見。周囲のカラス等を気にしながら周囲を見回していた。12:01 に少し北東側の落葉樹に止まる。12:17 に南へ飛翔して、St. 11 南西の林縁の落葉樹に止まる。12:33 に北東へ飛翔し、St. 11 の西の電柱にパーチする。その後、カラス1羽に追われ、北西に飛翔し、St. 11 の北西の谷へ飛翔中に低空の為、見失う。	11
H26.2.26	6	成鳥	不明	12:33 ~ 12:35	板山地区の南東側、沢の南側で旋回上昇した後、半開翼で腹部からゆっくり降下する。尾根に遮られ見失う。	7
H26.2.26	7	不明	不明	14:18 ~ 14:22	中津原の北西上空でトビと旋回後、高空を北へ旋回移動する。その後、川下の西の高空から南東へ急降下する。その後、中津原の北尾根上の林内で見失う。	11

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□ : 事業実施区域

— : 成鳥 (雄)
— : 成鳥 (雌)
— : 雌雄不明成鳥
— : 若鳥
— : 成若不明・雌雄不明

← : 飛翔
↙ : 急降下
・ : 止まり
◎ : 旋回上昇
⊗ : 旋回
▲ : 地上
⊙ : 鳴き声



0 200 400 800 (m)

ノスリ飛翔図 (H26.2.26)

ノスリ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.7	1	成鳥	不明	9:03 ~ 9:04	中津原尾根付近から南西へ向かう。途中からトビに追われるが、St. 3の北の林に隠れ見えなくなる。	3
H26.3.7	2	不明	不明	10:06 ~ 10:11	南東方向上空で旋回し、ゆっくり上昇していく。観察中、下方に別のノスリとトビが視界に入るが、接触なし。さらに上昇し、高空から北西へ滑翔した後、南へ移動していく（滑翔中、ずっと翼をややたたんでいる）。	6
H26.3.7	3	成鳥	雄	10:30 ~ 11:24	St. 11北側の地上部の上を羽ばたきながら南へ飛翔し、St. 11の西の電柱（P1）にパーチし、探餌をする。10:32に南西へ飛翔し、St. 11の西南西林縁の落葉広葉樹（P2）に止まり、探餌や監視をする。10:39に北へ飛翔後、カラスに攻撃され、向きを南に変え地上部を南へ羽ばたきながら飛翔し、川下西側の林縁の落葉広葉樹（P3）に北東向きでパーチする。その後、探餌や休息をする。11:04に北東へ飛び立ち、ハンティングをする。地上部に降下した後、再び P3 と同じ落葉広葉樹にとまる。11:12に北へ飛び立ち、農地の地上部の上を探餌飛翔しながら、羽ばたいて直飛し、St. 11の西の電線（P4）に止まる。11:13に探餌をする。11:14に南東へ飛び立ち、St. 11の南のアンテナ（P5：町内放送のスピーカー）へパーチ。11:18に南東へ飛び立ち、農地上でハンティングをした後、川下の林縁の落葉広葉樹（P6）に止まる。11:23に北西に飛翔して再びアンテナ（P5）に止まる。11:24に東へ降下しながら地上部の上を羽ばたいて飛翔中に低空の為見失う。	11

ノスリ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.7	4	成鳥	不明	10:52 ~ 10:54	St.1 東側水田より旋回上昇してくる。水田上空を北へ向かいUターンして南へ滑翔しながら降下する。手前の林で見えなくなる。	1
H26.3.7	5	不明	不明	11:20 ~ 11:21	St.6 の南東尾根付近から旋回上昇後、南へ滑翔していく。	6
H26.3.7	6	成鳥	不明	13:26 ~ 13:37	川下の林縁の低空でカラス 2 羽に追われ南西に羽ばたいて飛翔後、川下の南西の電柱に北西向きでパチする (13:27)。その後、西側の農地を見ながら探餌していた。13:36 に南西に羽ばたきながら低空を飛翔する。その後、低空の為手前の竹林に遮られて見失う。	11
H26.3.7	7	不明	不明	14:25 ~ 14:26	St.6 の東南東方向の上空で旋回しているのを確認。旋回中 2 回下方を見て停飛する。	6
H26.3.7	8	成鳥	不明	13:15 ~ 13:21	小学校跡地上空でカラスに追われるのを発見。旋回しながら、やや上昇するとカラスは離れるが、トビに追われ、東へ直飛する。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

- ：成鳥（雄）
- ：成鳥（雌）
- ：雌雄不明成鳥
- ：若鳥
- ：成若不明・雌雄不明

- ←：飛翔
- ↙：急降下
- ・：止まり
- ◎：旋回上昇
- ⊗：旋回
- ▲：地上
- ⊙：鳴き声



ノスリ飛翔図（H26.3.7）

ノスリ確認状況 (H26.3.8)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.3.8	1	成鳥	不明	11:56 ~ 12:14	180.3m ピーク北西からカラスに追われ南へ滑翔する。St.2 南西スギ林へ降下した後、スギ中枝に西向きで止まり、辺りを見回す。	1
H26.3.8	2	成鳥	雄	12:09 ~ 12:14	180.3m ピーク西の谷部でNo.3 と共に旋回しているのを確認する。旋回上昇し、高空へ向かった後、北西へ滑翔する。	1
H26.3.8	3	成鳥	雌	12:09 ~ 12:14	180.3m ピーク西の谷部でNo.2 と共に旋回しているのを確認する。旋回上昇し、高空へ向かった後、北へ滑翔する。	1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

□□：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔

↙↘：急降下

●：止まり

◎：旋回上昇

⊗：旋回

▲：地上

⊙：鳴き声



0 200 400 800 (m)



ノスリ飛翔図（H26.3.8）

(キ) ハヤブサ

ハヤブサ確認状況 (H26.3.7)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H26.3.7	1	若鳥	不明	14:22 ~ 14:23	174m ピークの東上空から西へ向かい旋回した後、南へ直飛していく。	7

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ↙：急降下
 ●：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声



0 200 400 800 (m)

ハヤブサ飛翔図（H26.3.7）

ハヤブサ確認状況（H26.3.8）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H26. 3. 8	1	成鳥	不明	14:22 ～ 14:24	182. 5m ピークの北側から出現して、南南西へ滑翔する。その後、新那珂橋の右岸上空でトビと旋回を始め、南へ旋回移動した。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）

—：成鳥（雌）

—：雌雄不明成鳥

—：若鳥

—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔

↙：急降下

●：止まり

◎：旋回上昇

⊗：旋回

▲：地上

⊙：鳴き声



ハヤブサ飛翔図（H26.3.8）

- 平成 26 年度調査（平成 26 年 4 月～8 月）

(ア) ハチクマ

ハチクマ確認状況（H26.5.27）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.5.27	1	成鳥	雄	10:17 ～ 10:22	南平地区の尾根上空に確認。滑空して北西に向かう。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



ハチクマ飛翔図（H26.5.27）

(イ) オオタカ

オオタカ確認状況 (H26.4.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.4.26	1	成鳥	雄	10:00 ～ 10:01	営巣林上空に確認する。旋回しながら徐々に北東へ移動する。	12	D
H26.4.26	2	成鳥	不明	11:07 ～ 11:08	S2 北に確認。羽ばたきながら南へ滑翔する。手前の林に隠れ見えなくなる。	10	—
H26.4.26	3	成鳥	雄	11:29 ～ 11:30	板山地区の北東を南へ羽ばたいて直飛する。手前尾根に遮られ見えなくなる。	5	D

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図（H26.4.26）

オオタカ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.4.27	1	成鳥	不明	10:20 ～ 5 秒	営巣地西の草地上低空に確認。滑空して営巣林に入る。	12	D
H26.4.27	2	成鳥	雄	10:47 ～ 10:47	営巣林上の低空に確認。林の上をひと回りした後、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	3	成鳥	雄	10:21 ～ 15 秒	営巣林内より雌と共に現れ、トビを追って北西へ滑空した後、ターンして南東へ戻り、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	4	成鳥	雌	10:21 ～ 5 秒	営巣林内より雄と共に現れ、トビを追って北西へ滑空する。	12	D
H26.4.27	5	成鳥	雄	11:01 ～ 11:01	観察地点 11 の西側斜面の上を北北東へ滑翔して S4 の西斜面の尾根陰で見失う。	11	—
H26.4.27	6	成鳥	雄	11:04 ～ 11:04	S4 の西側から出現して旋回後、カラスに追われながら北西に飛翔する。219m ピークの南側の尾根陰で見失う。	11	—
H26.4.27	7	成鳥	雌	11:22 ～ 5 秒	営巣林西の草地上の低空に確認。滑空して南東へ向かい、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	8	成鳥	雄	11:25 ～ 11:31	営巣林のスギ樹頂に止まるのを確認(11:25)。11:26 に飛び立ち、トビをモビングする。11:26 に近くの落葉広葉樹に止まる。11:31 に降下し、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	9	成鳥	雄	11:41 ～ 11:42	営巣林内より現れ、トビを追って北西へ滑空する。途中でターンし、営巣林内へ戻る。	12	D
H26.4.27	10	成鳥	雄	11:45 ～ 10 秒	営巣林上空の低空に確認。トビをモビングした後、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	11	成鳥	不明	13:38 ～ 7 秒	営巣林上空の低空に確認。カラス 1 羽にモビングされた後、営巣林内に入る。	12	D
H26.4.27	12	若鳥	不明	14:58 ～ 15:04	板山地区の東で旋回上昇するのを発見。カラスにモビングされる。高空を北東へ直飛し、手前林で遮られ見失う。	7	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図（H26.4.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図（H26.4.27）

オオタカ確認状況（H26.5.26）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26. 5. 26	1	成鳥	雄	9:32 ～ 9:34	営巣林のスギ樹頂に止まっているのを確認。9:33 に西側へ降下し、ハンティングするが失敗。そのまま直飛して西へ向かい、那珂川右岸土手を西側へ越える。	12	D
H26. 5. 26	2	成鳥	不明	12:24 ～ 12:24	中津原の尾根の上を北へ滑翔する。川下の東側の斜面上空を飛翔中に尾根陰で見えなくなる。	11	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図（H26.5.26）

オオタカ確認状況 (H26.5.27)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.5.27	1	成鳥	雄	11:04 ~ 11:08	営巣林南低空に確認。北へ直飛した後、営巣林のスギ樹頂に止まる(11:04)。11:08に雌が近くのスギ樹頂に止まった後、雄は降下して営巣林内に入る。止まっているときは羽干ししていた。	12	D
H26.5.27	2	成鳥	雌	11:08 ~ 11:19	営巣林内より現れ、営巣林のスギ樹頂(雄の近く)に止まる(11:08)。止まっているときは羽づくろいをする。11:09に場所を少し移動し、別のスギ樹頂に止まる。11:19に降下し、営巣林内へ入る。	12	D
H26.5.27	3	成鳥	雄	11:22 ~ 12:30	営巣林上の低空に確認。北へ直飛すると、飛翔していたトビを攻撃する。その後、南へ戻り営巣地東の尾根付近の落葉広葉樹に止まる(11:23)。主に羽づくろいを行う。11:53に少し下の枯枝に移動。ここで枝を嘴でくわえて折り、11:54に枝をくわえて降下し、営巣林内へ入る(姿は見えない)。11:57に飛び立ち、滑空して南東へ。途中、チョウゲンボウ(No.2)1羽に攻撃される。11:58に上組地区東の尾根上のスギ枝に止まる。ここでは主に探餌を行う。12:30に飛び立ち、南南西方向へ降下する。ハンティングと思われる。手前林で見えなくなる。	12	D

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



オオタカ飛翔図（H26.5.27）

(ウ) サシバ

サシバ確認状況 (H26.4.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.4.26	1	成鳥	雄	9:04 ~ 9:15	観察地点 3 の北の上空を、東へ西へと移動しながら空中で採餌している。餌は昆虫だが、種類は不明（細かい昆虫）。旋回上昇後、カラスに攻撃された後、西方向へ滑翔し、尾根を越えていく。	3	—
H26.4.26	2	成鳥	雄	9:46 ~ 9:54	S2 谷部より出現し、水田の上で旋回する。その後、西へ滑翔する。	10	S2
H26.4.26	3	成鳥	雄	10:16 ~ 10:16	S4 の南の上空で旋回後、南東に飛翔する。その後、川下北側で尾根に遮られ見失う。	11	S4
H26.4.26	4	不明	不明	10:16 ~ 10:20	大平の工業団地北の高空に確認。旋回上昇後、滑空して東へ向かう。	12	—
H26.4.26	5	成鳥	雄	11:06 ~ 11:24	川下の南東斜面の枯木に東向きで止まり、鳴いているのを確認する。その後、見回しや時々羽づくろいをする。11:23 に斜面を西へ飛びながら旋回中に樹林に遮られ見失う。	11	S5
H26.4.26	6	不明	不明	11:14 ~ 11:25	観察地点 3 の北東方向上空で旋回しているのを確認。時々浅く急降下をする（ディスプレイではない）。やや降下して南東へ移動後、旋回上昇しながら北西へ移動する（No.1 と同じような動きで採餌もしている）。しばらく同じような行動を繰り返した後、西へ滑翔する。目の前の林で見失う。	3	—
H26.4.26	7	成鳥	雄	11:22 ~ 11:40	獲物を持ち、西から S2 林内へ向かうのを確認。林内に入り、すぐに出現し、旋回上昇後、東へ向かう。羽ばたきを交えながら、旋回し西へ滑翔する。観察地点 10 の西側上空で旋回上昇する。手前林に隠れ見えなくなる。	10	S2
H26.4.26	8	成鳥	雌	11:23 ~ 11:26	S2 付近から出現する。旋回上昇し東へ向かう。尾根上林越しに見えなくなる。	10	S2

サシバ確認状況 (H26.4.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H26. 4. 26	9	成鳥	雄	11:28 ~ 11:30	川下の上からトビを攻撃しながら出現して旋回後、南へ旋回移動しながらトビを攻撃した。川下の南尾根上へ飛翔中に、樹林に遮られ見失う。	11	S5
H26. 4. 26	10	成鳥	雄	11:53 ~ 11:56	西から S2 方向へ向かう。その後、林内に入る (11:54) が、すぐに出現し、再び西へ向かう。	10	S2
H26. 4. 26	11	成鳥	雄	12:03 ~ 12:03	川下の西南西の水田上で旋回後、西へ飛翔し、落葉広葉樹の林内へ入り見失う。	11	S5
H26. 4. 26	12	成鳥	雄	12:19 ~ 12:24	S2 林内付近から出現し、旋回上昇後に北へ向かう。	10	S2
H26. 4. 26	13	成鳥	雄	12:20 ~ 12:24	S2 付近より鳴きながら出現する。旋回後、林内へ戻る。	10	S2
H26. 4. 26	14	成鳥	雄	12:50 ~ 12:55	観察地点 3 の東方向の竹林裏で旋回しているのを発見。北西へ移動後上昇し、高度を上げる。ゆっくり西へ移動中、数回つかんで食べる行動をする。その後、西へ降下して行き、尾根を越える。	3	—
H26. 4. 26	15	成鳥	不明	12:50 ~ 12:55	トビを追いながら No. 16 と共に上昇しながら東へ移動する。No. 16 を注視していた為、見失う。	11	S4
H26. 4. 26	16	成鳥	不明	12:50 ~ 12:56	No. 15 と共にトビを追いながら上昇する。その後、東へ移動する。	11	S4
H26. 4. 26	17	成鳥	不明	12:50 ~ 12:50	No. 15、16 を追った後に S4 西側の尾根に移動し、見失う。	11	—
H26. 4. 26	18	成鳥	不明	13:05 ~ 13:06	川下付近から飛翔してくるのを確認。その後、S4 付近の低空を東へ移動する。林に遮られ見失う。	11	S4
H26. 4. 26	19	成鳥	不明	13:13 ~ 13:13	川下付近から飛翔してくるのを確認。S4 の南西側でターンし、南へ直飛する。	11	S5

サシバ確認状況（H26.4.26）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H26. 4. 26	20	不明	不明	13:18 ～ 13:25	中津原地区南上空で旋回しているのを発見。高空をゆっくり北へ移動する。移動中、浅い急降下を交えるが、波状の形にはなっていない（採餌の可能性が高い）。その後、北西へ滑翔する。手前、林に遮られ見失う。	3	—
H26. 4. 26	21	成鳥	雄	14:03 ～ 14:04	S2 西側上空で旋回を確認する。S2 付近の林内へ入るが、すぐ出現し西へ向かう。	10	S2
H26. 4. 26	22	成鳥	雄	14:16 ～ 14:17	川下西側の久那川の上を羽ばたきながら、林縁低空を北へ飛翔するのを確認。その後、観察地点 11 の西南西の斜面林へ降下し、見失う。	11	S5

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.26）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.26）

サシバ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H26.4.27	1	成鳥	不明	8:56 ~ 8:58	観察地点1の北東方向で旋回しているのを発見。空中で採餌をしている。南へ滑翔後、再び旋回し、空中採餌をする。その後、降下し、道路沿いの竹林で見失う。見失った後、鳴き声を確認する。	1	S2
H26.4.27	2	成鳥	雌	9:04 ~ 9:12	S4の南東上空から出現し、S4の南東側で足を出しながら旋回を続ける。上空に飛翔している小さな虫を採餌していた。その後、S4の東の上空からカラスを追いながら急降下してS4の北の林内に入り見失う。	11	S4
H26.4.27	3	成鳥	不明	9:06 ~ 9:06	No.1を見失った方向から、北へ直飛していくのを確認。その後、北西へ移動するがスギ林裏で見失う。	1	S2
H26.4.27	4	成鳥	不明	9:06 ~ 9:06	No.3を追うように直飛する。	1	—
H26.4.27	5	成鳥	雄	9:17 ~ 9:23	川下の南東から出現して、北へ飛翔後、S4の南東の上空で足を出しながら旋回を続け、上空の昆虫を採餌していた。その後、No.6雌が出現し、2羽で上空の昆虫を採餌しながら旋回する。しばらく旋回を続けた後、東南東へ飛翔して、尾根陰で見えなくなる。	11	S4
H26.4.27	6	成鳥	雌	9:21 ~ 9:23	S4の北の上空で出現して、東へ旋回移動しながら上空で昆虫を採餌していた。大畑の西側で降下中に見失う。	11	S4
H26.4.27	7	成鳥	雄	9:25 ~ 9:26	大畑の南西側で上空の昆虫を採餌しながら旋回後、南東へ飛翔して、神社の北西尾根上のモミに止まる(9:25)。すぐにカラスに攻撃され、飛び立ち、南西に飛翔する。その後、観察地点11の西南西の林内に入り、見失う。	11	S4

サシバ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H26.4.27	8	成鳥	雌	9:44 ~ 9:45	S4 の南西上空を南東へ飛翔し、すぐに旋回を始める。その後、向きを北西に変え、S4 の西側へ飛翔中に尾根陰で見失う。	11	S4
H26.4.27	9	成鳥	不明	9:55 ~ 9:58	観察地点 9 上空で旋回を確認。しきりに空中でハンティングしながら大きく弧を描き、南へ向かう。No. 10 を確認中に見失う。	3	—
H26.4.27	10	成鳥	不明	9:55 ~ 9:58	No. 9 を確認中に現れる。旋回しながら田畑上空を東に移動する。観察地点 9 の東の尾根から東対面にある斜面の林で電柱に遮られ、見失う。	3	—
H26.4.27	11	成鳥	不明	10:02 ~ 10:06	観察地点 3 の東尾根の北側から尾根上にかけて、旋回しながら、南西へ移動する。しきりに空中でハンティングしている。途中、No. 12 が現れ、それを追うように南西へ向かう。手前の電柱に遮られ見失う。	3	—
H26.4.27	12	不明	不明	10:04 ~ 10:06	No. 11 を確認中に現れる。南西へ直飛し、手前の柱の陰で見失う。	3	—
H26.4.27	13	成鳥	雄	10:07 ~ 10:15	観察地点 3 の東尾根上で旋回するのを確認。しきりに空中でハンティングを繰り返す。そのまま観察地点 3 上空を通過し、大きく弧を描きながら北へ向かう。中津原の尾根に沿って東へ向かい、中津原東の谷津の東の林に向かい急降下し、見失う。	3	—
H26.4.27	14	成鳥	雄	10:20 ~ 10:23	古巣 S1 のある谷入り口付近で、飛翔を確認。谷を横切り古巣 S1 対面のモミ樹頂に止まる。その後、10:23 に飛び立ち古巣 S1 の尾根を低く越え、見失う。	3	—
H26.4.27	15	不明	不明	10:27 ~ 10:28	古巣 S1 付近から鳴き声を確認。	3	—

サシバ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.4.27	16	成鳥	雄	10:28 ~ 10:35	10:27~10:28 の鳴き声の後、古巣 S1 上空を北へ通過する個体を確認。大きく弧を描きながら、東へ巡回移動をする。ひたすら空中で昆虫をハンティングする。久那川左岸の林上空で太陽光により、見失う。	3	—
H26.4.27	17	成鳥	雄	10:43 ~ 10:44	川下の西側を北西に飛翔するのを確認。観察地点 11 の西側尾根上へ飛翔し、見えなくなる。	11	S5
H26.4.27	18	成鳥	不明	10:45 ~ 10:52	観察地点 11 の西尾根上から出現して巡回後、斜面の枯木に北西向きでパーチする (10:45~10:52)。周囲を見回したり、羽づくろいをしていた。10:52 に鳴きながら林内に入り見失う。(その後 11:02 まで林内で鳴いていた。)	11	S5
H26.4.27	19	成鳥	雄	10:52 ~ 10:52	No. 18 の止まった枯木の少し南側から出現、巡回後、観察地点 11 の南西尾根上の林内に入り見失う。	11	S5
H26.4.27	20	成鳥	雄	10:59 ~ 10:59	観察地点 11 の南西尾根の上で出現し、巡回上昇後に尾根上の林内へ急降下して見失う。	11	S5
H26.4.27	21	成鳥	雄	11:12 ~ 11:23	観察地点 11 の南西斜面上空で出現して、巡回を始める。観察地点 11 の南側で巡回しながら採餌していた。その後、観察地点 11 の西南西斜面の落葉樹に北東向きで止まり、採餌をはじめる (11:16~11:17)。11:17 に飛び立ち、川下の斜面に巡回移動する。川下でしばらく巡回を続け、採餌していた。その後、北へ巡回移動して神社の斜面で巡回を続ける。その後、川下の西側や南西の耕作地の上で採餌行動をした後、川下対岸の南西側の林内に入り、見失う。	11	S5
H26.4.27	22	成鳥	不明	12:09 ~ 12:09	観察地点 10 の東方向でトビを攻撃しているのを確認する。巡回しながら攻撃を繰り返した後、降下し見失う。	10	S2

サシバ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.4.27	23	成鳥	不明	12:15 ~ 12:15	S4 の上空から東へ滑空して、大畑東の上空で、尾根陰となり見えなくなる。	11	S4
H26.4.27	24	成鳥	不明	12:24 ~ 12:25	S4 の西尾根の上で旋回後、西へ飛翔し、池の西斜面の林内に入り見失う。	11	S4
H26.4.27	25	成鳥	不明	12:28 ~ 12:28	北東方向で旋回しているのを発見する。西へ移動後、西へ滑翔降下する。手前スギ林で見失う。	1	S2
H26.4.27	26	成鳥	雌	13:20 ~ 13:34	S4 の南尾根の上から出現して、S4 の周囲を昆虫を採餌しながら旋回を続ける。何度も採餌を行いながらしばらく旋回を続け、S4 の北東上空で上昇を始める。その後、No. 28 が出現してその個体を撮影中に見失う。	11	S4
H26.4.27	27	成鳥	不明	13:22 ~ 13:29	板山の北東からゆっくり北西方向へ上昇しつつ、旋回移動していくのを発見。旋回中、深めに羽ばたく時もあったが、ほとんど浅い羽ばたきであった。観察地点 1 の北北東高空で見失う。	1	S2
H26.4.27	28	成鳥	雄	13:33 ~ 13:38	観察地点 11 から北側へ飛翔して、S4 の南東側で採餌をしながら旋回を始める。雌の南下方で旋回していた。その後 2 羽で採餌行動をする。雌を見失った後、219m ピークの南東で旋回上昇を始め、高平の南高空まで旋回移動後、南西に降下しながら飛翔中に尾根に遮られる。	11	S4
H26.4.27	29	成鳥	不明	13:43 ~ 13:51	観察地点 3 上空で旋回しながら空中でハンティングをする。そのままゆっくり北東へ移動していく。	3	—
H26.4.27	30	成鳥	雄	14:06 ~ 14:07	古巣 S1 の西から No. 31 と 2 羽で同時に現れ、2 羽で旋回した後、学校跡地西側尾根付近で 2 羽とも見えなくなる。	3	—
H26.4.27	31	成鳥	雌	14:06 ~ 14:07	No. 30 と 2 羽で旋回する。 (No. 30 参照)	3	—

サシバ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点	営巣 地点
H26. 4. 27	32	成鳥	雌	14:09 ～ 14:14	S4 の南東斜面の上から出現して、S4 の東の低空で旋回を続けながら採餌（昆虫）を何度も行う。その後 S4 北東側へ採餌を続けながら旋回上昇後、西へ急降下して、S4 の北の谷の林内で見失う。	11	S4
H26. 4. 27	33	若鳥	不明	14:13 ～ 14:20	174m ピークの南西から西へ直飛するのを発見する。旋回上昇した後、高空を北へ向かう。遠方の為見えなくなる。	7	—
H26. 4. 27	34	成鳥	雄	14:20 ～ 14:23	宮崎の東側の尾根より、南へ滑翔するのを発見する。旋回後、北へ移動する。林に遮られ見失う。	1	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.4.27）

サシバ確認状況 (H26.5.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26. 5. 26	1	成鳥	雄	10:13 ~ 10:14	川下の西側から西へ羽ばたきながら飛翔して、斜面の林内へ入る。その後、林内からすぐに出現して東へ羽ばたく。	11	S5
H26. 5. 26	2	成鳥	雄	10:21 ~ 10:34	神社のスギ樹上に鳴きながら止まっていた。10:23 にカラスにおわれ北西に飛び立ち、S4 の南西斜面の落葉広葉樹に止まる (10:23)。その後、東へ急降下して畦道の上でハンティングをした後、小動物を食べる (10:25)。すぐに飛び立ち、S4 の西斜面にパーチする (10:25)。10:34 に南西に羽ばたきながら飛び立ち、林内へ入り見失う。	11	S4
H26. 5. 26	3	成鳥	不明	10:41 ~ 10:41	神社の西側低空を東へ羽ばたきながら飛翔する。すぐに樹林陰になり、神社南側で見失う。	11	—
H26. 5. 26	4	成鳥	雄	10:57 ~ 10:58	神社の南側から出現して、エサを持ちながら南西に羽ばたき、飛翔する。川下西の林内で見失う。	11	S5
H26. 5. 26	5	成鳥	雄	11:05 ~ 11:08	川下の西側斜面から東北東へ飛翔して、県道の西にある鉄塔にパーチした (11:05)。探餌をする。11:08 に東へ飛び立ち、川下の北側で尾根陰で見失う。	11	S5
H26. 5. 26	6	成鳥	雄	11:12 ~ 11:12	神社の南側から出現し、餌の毛虫をくわえて、川下の西斜面の谷へ飛翔する。低空のため尾根陰で見失う。	11	S5
H26. 5. 26	7	成鳥	雄	12:38 ~ 12:52	南 (観察地点 2 方向) から直飛してくるのを確認。S2 南側の谷から S2 上空を旋回後、ノスリがいる方向に急降下し、モビングする。S2 北側尾根針葉樹に止まり、あたりを見回す (12:41)。12:43 に飛び立ち南へ向かう。S2 南側尾根の枯木に止まり (12:43)、羽づくろいする。12:52 に南へ飛び立ち手前林で見えなくなる。	10	S2

サシバ確認状況 (H26.5.26)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26. 5. 26	8	成鳥	雄	12:50 ~ 12:51	川下の南の谷上を西へ羽ばたきながら飛翔する。嘴にエサ（トカゲ）をくわえ、川下の西斜面へ飛翔する。谷の中を飛翔中に低空のため尾根陰で見失う。	11	S5
H26. 5. 26	9	成鳥	雄	13:01 ~ 13:10	神社の南西の電柱に止まっていた。13:07に飛び立ち、少し北西の電柱に止まる。13:08に電柱から急降下してハンティングをする。その後、電線に止まり、エサを食べる。少し食べた後、エサをくわえ、S4の南の林内に飛翔した(13:10)。	11	S4
H26. 5. 26	10	成鳥	雄	13:50 ~ 13:52	川下の西斜面のスギ樹上に止まり、探餌していた。その後、東の林内へ降下して見失う。	11	S5
H26. 5. 26	11	若鳥	不明	14:42 ~ 14:45	S7 北対面の尾根上の枯木にパーチする。14:45に南へ向かい直飛する。古巣 S1 の尾根で隠れ、見えなくなる。	3	—
H26. 5. 26	12	成鳥	雄	14:55 ~ 14:55	川下の北西の田んぼ上で羽ばたいて旋回後、西へ飛翔して尾根上を西へ越えて見えなくなる。	11	S5
H26. 5. 26	13	不明	不明	14:58 ~ 14:58	塩田地区の北側からわずかに鳴き声が聞こえる。	3	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.5.26）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.5.26）

サシバ確認状況 (H26.5.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.5.27	1	成鳥	不明	9:08 ~ 9:10	182m ピーク南の尾根上に東から現れ、落葉広葉樹に止まる (9:08)。姿は見えない。9:10 に飛び立ち、滑空して南東へ向かう。	12	—
H26.5.27	2	成鳥	雄	9:21 ~ 9:22	巣 S4 の営巣林林縁に、脚にへビのようなものを持ってパーチする。9:22 に飛び立ち、林内へ入り見えなくなる。	11	S4
H26.5.27	3	成鳥	雄	9:21 ~ 10:21	S5 北西のアカマツ枯木にパーチしているのを発見。10:04 に飛び立ち、北東側のアカマツにパーチする。10:21 に飛び立ち、南側の落葉広葉樹にパーチする。この時、嘴に毛虫のような物をくわえていた。10:23 に飛び立ち見失う。	11	S5
H26.5.27	4	成鳥	不明	9:28 ~ 9:28	S2 北側尾根上空に確認。S2 林内へ入る。	1	S2
H26.5.27	5	成鳥	不明	9:46 ~ 9:48	168m ピークの谷入り口の電柱に南東より飛来する。翼を広げる。東側 (田んぼ付近) に降下し見失う。	3	—
H26.5.27	6	成鳥	雄	9:58 ~ 9:59	谷入り口北東より、No.5 同じ電柱にパーチする。すぐ南東へ降下し見失う。	3	—
H26.5.27	7	成鳥	雄	10:05 ~ 10:18	No.5 同じ電柱にパーチする。翼を広げ、乾かしている様子。その間下方や周辺を見回す。10:15 に数回鳴く。10:18 飛び立ち、南東へ向かい、手前の建物に遮られ見えなくなる。	3	—
H26.5.27	8	成鳥	雄	10:21 ~ 10:22	止まる電柱の位置等を確認するため移動中、久那川沿いの民家に止まる個体を発見。翼を広げている。	3	—

サシバ確認状況 (H26.5.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.5.27	9	成鳥	雄	11:09 ~ 11:15	観察地点 2 西側を南へ滑翔しているのを確認。観察地点 2 南西側谷部で旋回後林内へ。すぐに出現し、観察地点 2 尾根の針葉樹頂に止まる (11:13 北向き)。11:15 に北側水田へ降下し、手前の林で見えなくなる。	1	S2
H26.5.27	10	成鳥	雄	11:26 ~ 11:33	S2 と観察地点 2 の間の尾根上空で旋回を確認。翼をたたんで北へ急降下し、S2 南西側尾根の枯木に止まる (11:27 北向き)。11:28 に北へ飛び降下する。一度姿が見えなくなる。11:29 に水田方向から S2 へ向かい林内へ。S2 付近林内より出現し、S2 上空旋回後、枯木に止まる (11:31 北向き)。11:33 に北側へ降下し、見えなくなる。	1	S2
H26.5.27	11	成鳥	雄	11:29 ~ 11:30	トビをモビングしながら、久那川左岸を北上する。168m ピーク南、谷戸入口の正面付近で追うのをやめ、西へ直飛する。入口近くで急降下し、林付近へ向かう。手前建物等により見えなくなる。	3	—
H26.5.27	12	成鳥	雄	11:37 ~ 11:48	枯木に止まっているのを確認 (北向き)。羽づくろい後、11:41 に北へ降下し、11:43 再び枯木へ。11:48 北側へ降下し見えなくなる。	1	S2
H26.5.27	13	成鳥	雄	12:04 ~ 12:06	168m ピーク南の谷戸入口の上空で旋回する。その後、南西へ向かい、1 つ南の谷へ入り、見失う。	3	—
H26.5.27	14	不明	不明	12:09 ~ 12:09	大平地区の南を西へ滑空するのを確認する。建造物等に遮られ見えなくなる。	13	—
H26.5.27	15	成鳥	雄	12:12 ~ 12:18	川下の西側対岸の斜面の上で旋回後、斜面のスギ樹上に北向きでパーチする。12:17 に北東へ滑翔した後、向きを南西に変え、川下の西対岸の林内へ降下して見失う。	11	S5

サシバ確認状況 (H26.5.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.5.27	16	成鳥	雄	12:13 ~ 12:13	S4 の南西側から鳴きながら出現し、カラスに追われながら南西に巡回移動後、観察地点 11 の西側の林内に入り見失う。	11	S5
H26.5.27	17	成鳥	雄	12:21 ~ 12:23	観察地点 11 の西側から出現して北へ巡回移動する。S4 の北尾根上を北西に越えて見失う。	11	S4
H26.5.27	18	成鳥	雄	12:46 ~ 12:47	川下の西側で出現して巡回後、神社の南側斜面へ飛翔中に尾根陰になり見失う。	11	S5
H26.5.27	19	成鳥	雄	13:09 ~ 13:11	神社の南の上空を南西に滑翔して、川下の西の上空で巡回上昇する。その後、神社の南へ降下しながら飛翔中に高度を下げたため、尾根陰になり見失う。	11	S5
H26.5.27	20	若鳥	不明	13:24 ~ 13:25	板山南側の 174m ピークの南西の斜面上をゆっくり巡回飛翔した後、南へ向かう。目の前の尾根林に遮られ、見えなくなる。	7	—
H26.5.27	21	成鳥	不明	13:58 ~ 13:59	南平地区の尾根上空に確認。尾根沿いに滑空して北へ向かう。	12	—
H26.5.27	22	成鳥	雄	14:07 ~ 14:07	S4 から出現して北へ飛翔後、S4 の北側の尾根の上で巡回後、尾根を北西に越えて見失う。	11	S4
H26.5.27	23	成鳥	雄	14:23 ~ 5 秒	南平地区上を南南東へ滑空。高度を下げていく。(水田付近に降りた様子)	7	—
H26.5.27	24	成鳥	不明	14:28 ~ 15 秒	南平地区の北を北西へ向かうのを発見。巡回後、沢部で見えなくなる。	7	—
H26.5.27	25	成鳥	雌	14:45 ~ 15:00	平成 25 年の古巣 S4 の北側のスギに、雌が抱卵または抱すい状態に入っているのを確認 (平成 26 年新巣 S4)。その後、15:00 まで巣の中に入っているのを確認した。	11	S4
H26.5.27	26	成鳥	雄	14:47 ~ 14:47	平成 26 年の新巣 S4 の北側から出現して、南へ飛翔した後、すぐに向きを変え、巣の北の谷へ飛翔する。尾根陰で見失う。	11	S4

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.5.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.5.27）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.5.27）

サシバ確認状況 (H26.6.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.4	1	成鳥	雄	9:10 ~ 9:12	S5 の東側から出現して、東北東へ羽ばたいて飛翔し、観察地点 11 の南の電柱にパーチする (9:10)。9:12 に飛び立ち、神社の南東林縁の低空を北東へ飛翔中に尾根陰で見えなくなる。	11	S5
H26.6.4	2	成鳥	雄	9:14 ~ 9:14	川下北側の神社の南西上空から南西に降下しながら飛翔する。S5 の東の谷へ降下中に見失う (餌を持って飛翔した可能性あり)。	11	S5
H26.6.4	3	成鳥	雄	9:15 ~ 9:17	S5 の東側から出現して、東北東へ飛翔し、観察地点 11 の南の電柱に止まる (9:16)。その後、探餌する。9:17 に神社の林内に入り、見失う。	11	S5
H26.6.4	4	成鳥	雄	9:23 ~ 9:23	神社の上で旋回後、東北東へ移動中に尾根陰で見えなくなる。	11	S5
H26.6.4	5	若鳥	不明	9:40 ~ 9:40	S4 巣内にいる雛を 1 羽 (全体白い) 確認。	11	S4
H26.6.4	6	成鳥	雄	9:42 ~ 9:46	178m ピーク南西の道沿いの電柱にパーチする。その後、民家近くの林縁に降下する (ハンティングと思われる)。一時見えなくなるが、その後、南へ直飛する。300m 程先の斜面林に入り見えなくなる (餌の有無は確認できず)。	3	—
H26.6.4	7	成鳥	雄	9:57 ~ 9:59	雄が巣に戻り、雛にエサを与える。9:58 に No.8 雌が巣に戻ると No.7 雄は巣から飛び立ち、大畑の北へ向かう。林に遮られ見失う。	11	S4
H26.6.4	8	成鳥	雌	9:58 ~ 9:59	巣に戻った雌は、9:59 に飛び立ち、林内へ入る。	11	S4
H26.6.4	9	成鳥	雌	9:59 ~ 10:01	S5 の東側から出現して、北東へ飛翔後、神社の南南西の田んぼの土手でカエルを捕まえる (9:59)。その後、10:00 にカエルをくわえて、S5 の谷へ向かう。	11	S5

サシバ確認状況（H26.6.4）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.4	10	成鳥	雄	10:04 ～ 10:05	S2 南側尾根の枯木に、北から飛来し止まる。すぐ南側へ飛び立ち降下する。	1	S2
H26.6.4	11	成鳥	雄	10:10 ～ 10:17	S2 北側谷部上空に北から滑翔してくるのを確認。S2 上空を通過し、観察地点 10 上空辺りで旋回上昇する。羽ばたきを交え、旋回しながら南西に移動後、西へ滑翔する。観察地点 1 北側を西へ向かう。	1	S2
H26.6.4	12	不明	不明	10:15 ～ 10:16	事業実施区域上空を深く羽ばたき旋回しているのを確認。その後、北西方向へ降下し、尾根に隠れ見えなくなる。	9	—
H26.6.4	13	成鳥	雄	10:22 ～ 10:23	神社の南東上空で旋回後、神社の南東林縁に降下する。	11	S5
H26.6.4	14	成鳥	雌	10:22 ～ 10:59	巣内にいる雌を発見。巣材（落葉広葉樹の青葉、枝）を整えている（10:30 まで）。その後、巣内で周辺を見ていた。	11	S4
H26.6.4	15	不明	不明	10:26 ～ 10:27	板山地区の北上空を旋回しつつ南へ向かう。その後、北北東へ滑空する。翼をたたんで降下し、宮崎地区の東付近へ降りていく。尾根に遮られ見失う。	7	S2
H26.6.4	16	若鳥	不明	10:30 ～ 10:33	S5 の南東尾根上で旋回後、No. 17 に追われ、S5 の北東林内へ 2 羽で降下する（10:30）。10:32 に 2 羽で林内から出現し、旋回を始める。No. 17 に攻撃された後、大畑へ飛翔中に低空のため、樹林陰になり見えなくなる。	11	侵入

サシバ確認状況 (H26.6.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.4	17	成鳥	雌	10:30 ~ 10:37	S5 から出現して、No. 16 を追いながら S5 の北東林内へ 2 羽で入り、林内で鳴いていた (10:30 ~ 10:32)。10:32 に 2 羽で林内から出現して旋回後、No. 16 へ攻撃した後、大畑へ追い出した。その後、観察地点 11 の西の尾根上のスギに止まる (監視、探餌。10:33 ~ 10:35)。10:35 に南東へ急降下して電柱に止まる (10:35 ~ 10:37)。10:37 に南へ飛び立ち、S5 の東北林縁でエサを捕まえた後、S5 の谷へ入り見えなくなる。	11	S5
H26.6.4	18	成鳥	雄	11:02 ~ 11:04	小口温泉上空で旋回しているのを確認。羽ばたきを交え旋回後、南南東へ降下気味に滑翔し、観察地点 2 西尾根の南西斜面の針葉樹に止まる (西向き 11:03)。その後、南側へ飛び立ち、谷部へ入る。手前の尾根に隠れ見えなくなる。	1	S2
H26.6.4	19	成鳥	雄	11:21 ~ 11:25	板山北を北へ直飛していくのを確認。向きを西へ変え、小口温泉上空付近で旋回上昇する。観察地点 1 上空で羽ばたきを交え旋回する。その後、北西へ移動する。 (観察地点 7 へ続く)	1	S2
H26.6.4	20	成鳥	雄	11:25 ~ 11:29	(観察地点 1 の続き) 182m ピークの東付近の高空で羽ばたきディスプレイを交えて旋回上昇する。一度東へ戻ってから、再び西へ向かい、182m ピーク付近の高空を西南西へ向かう。目の前の林に遮られ、見えなくなる。	7	S2
H26.6.4	21	成鳥	雄	11:31 ~ 11:31	耕作地内の電柱にパーチしているのを確認。その後、地面に降下し見えなくなる (ハンティングと思われる)。	3	—
H26.6.4	22	成鳥	雄	11:35 ~ 11:36	ノスリ (No. 1) を確認中に上昇し、追い始める。途中、突っかかるなどをしながら、ノスリ (No. 1) と共に谷に入り、見失う。	3	—

サシバ確認状況（H26.6.4）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.4	23	不明	不明	11:48 ～ 11:51	174m ピークの南西低空を西南西へ羽ばたいて直飛しているのを発見。旋回上昇した後、南南東へ向かう。林に遮られ見失う。	7	—
H26.6.4	24	成鳥	雌	11:53 ～ 12:04	巣内で雛に給餌しているのを確認。12:04 に雌が飛び立ち林内へ。	11	S4
H26.6.4	25	若鳥	不明	12:38 ～ 12:39	S5 の北東から出現して、南へ旋回中に S5 から No. 26 雌が出現して、追い出しをされる。S5 の北東の谷へ降下中に尾根陰で見えなくなる。	11	侵入
H26.6.4	26	成鳥	雌	12:38 ～ 12:39	S5 から鳴きながら出現して、S5 の東側で No. 25 侵入個体と旋回後、北へ追い出す。その後、S5 に向きを変え、飛翔中に尾根陰で見えなくなる。	11	S5
H26.6.4	27	成鳥	雄	12:44 ～ 13:32	民家の電柱に止まっているのを確認。12:46 に飛び立ち、水田内の電柱に止まる（電柱に止まっている間は下方を見ていた）。12:53 に林縁へ入り、林床でハンティングをするが失敗し、すぐにもとの電柱に戻る。12:56 に南側の電柱に移動する。12:59 に飛び立ち、和見上空を旋回しながら、13:32 に西へ向かい見失う。	11	S5
H26.6.4	28	若鳥	不明	12:57 ～ 12:57	観察地点 11 の西尾根の上で旋回後、尾根を北西に越えて見失う。	11	侵入
H26.6.4	29	若鳥	不明	13:04 ～ 13:10	S4 の南側で旋回後、南へ移動して旋回する。その後、No. 30、No. 31 と S5 の東で旋回した。No. 31 と中津原へ飛翔して、中津原の北側林内で見失う。	11	侵入
H26.6.4	30	成鳥	雄	13:06 ～ 13:09	S4 と S5 の間から出現して、S5 の東側で旋回する（鳴いていた）。その後、S5 の北の谷へ降下中に見失う。	11	S5

サシバ確認状況 (H26.6.4)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.4	31	若鳥	不明	13:06 ~ 13:15	S5 の東側で旋回後、No. 29 と中津原の北側へ飛翔する。その後、北西に上昇しながら旋回移動後、S5 の北の谷へ急降下して見失う。	11	侵入
H26.6.4	32	成鳥	不明	13:24 ~ 13:36	観察地点 9 の東から西側へ直飛してくるのを確認。186m ピーク付近で旋回上昇後、ゆっくり高度を上げ、高空へ移動する。その後、北へ移動した後、一時急降下して再び旋回を始め、南へ移動する。その後、降下し 186m ピーク西へ向かい見失う。	9	—
H26.6.4	33	成鳥	雄	13:30 ~ 13:31	S4 の南の尾根を飛翔するのを発見。その後、北西へ向かい飛翔する。	11	S4
H26.6.4	34	不明	不明	13:35 ~ 13:35	林内から現れ、道路沿いの草地でハンティングをするが失敗し、電線に止まる。その後、すぐに飛び立ち南へ向かい見失う。	11	—
H26.6.4	35	成鳥	雄	13:40 ~ 13:52	S2 北西から S2 林内へ入るのを確認。S2 の林内より出現し、S2 南尾根の枯木に止まる（南西向き 13:41）。辺りを見回し、13:46 に南へ飛び立つ。小口温泉上空付近でトビとモビングし合い、旋回しながら西へ移動し、観察地点 1 で旋回上昇する。その後、北西へ向かう。	1	S2
H26.6.4	36	成鳥	雄	14:30 ~ 14:32	S5 の北東尾根の上から出現し、旋回上昇する。上昇中に No. 35 を確認する。No. 35 を追い出した後、神社の上空を飛翔中に尾根陰で見えなくなる。	11	S5
H26.6.4	37	若鳥	不明	14:31 ~ 14:32	S4 と S5 の間の上空で出現し、北へ飛翔する。S4 の北西側の尾根陰で見えなくなる。	11	侵入
H26.6.4	38	若鳥	不明	14:36 ~ 14:36	北の低空を旋回しているのを確認。高度を下げたため、手前竹林で見えなくなる。	9	—

サシバ確認状況（H26.6.4）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26. 6. 4	39	成鳥	不明	14:48 ～ 14:49	観察地点 2 と観察地点 4 の間を S2 に向かって直飛してくるのを確認。翼をたたみ降下し、S2 尾根に隠れ見えなくなる。	1	S2
H26. 6. 4	40	成鳥	雄	14:54 ～ 14:54	南西の水田上から翼をややたたみ、東方向へ滑翔する。林を越え見えなくなる。	9	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.6.4）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.6.4）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.6.4）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.6.4）

サシバ確認状況 (H26.6.5)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.6.5	1	成鳥	雄	9:10 ~ 9:14	神社の東側の電柱に止まり、探餌していた。9:12 に土手に急降下してハンティングをするが失敗し、少し東の電柱に止まる。9:14 に南西方向に飛び立つ。建物の陰になり見失う。	11	S5
H26.6.5	2	成鳥	雄	9:27 ~ 9:27	S2 北側谷部に西から入っていくのを確認。S2 方向へ向かう。手前尾根に隠れ見えなくなる。	1	S2
H26.6.5	3	成鳥	雄	11:31 ~ 11:31	168m ピークの 2 つ南の谷付近から東へ直飛するのを確認。嘴に細長い物をくわえている。そのまま久那川左岸の林に入り見えなくなる。	3	—
H26.6.5	4	成鳥	雄	13:53 ~ 13:53	S2 の西側の田んぼの上を東へ飛翔して、S2 の北西の谷を飛翔中に低空のため、尾根陰で見えなくなる。	10	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.6.5）

サシバ確認状況（H26.7.2）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.2	1	成鳥	雄	9:01 ～ 9:06	S5 の東林縁から東へ飛翔して、神社の南西の電線に止まる(9:01)。9:02 に民家の屋根に止まり、9:06 に民家の東へ急降下して見えなくなる。	11	S5
H26.7.2	2	成鳥	不明	9:03 ～ 9:11	塩田地区の西側で旋回上昇し、北へ移動するのを確認。途中、羽ばたきながら直飛し、中津原へ移動後、再び旋回上昇し、しばらく旋回を続けた後、尾根を北へ越えていく。	3	—
H26.7.2	3	成鳥	雄	9:14 ～ 9:20	観察地点 11 の西側から西へ飛翔して、スギ樹上に止まる。すぐに飛び立ち、No. 4 と旋回を始める。2羽で北へ上昇しながら旋回を続け、高空まで上昇後、No. 4 を追いつながら東へ飛翔する。その後、神社の北東上空で尾根陰になり、見失う。	11	S4
H26.7.2	4	成鳥	不明	9:14 ～ 9:20	観察地点 11 の東側林縁で旋回後、No. 3 と北へ上昇しながら旋回を続け、高空まで上昇後、No. 3 に追われ、東へ飛翔する。神社の北東上空で尾根陰になり、見失う。	11	侵入
H26.7.2	5	成鳥	不明	9:18 ～ 9:18	S2 北側谷部上空に確認。東から西へ向かい林内に降下する。	1	S2
H26.7.2	6	成鳥	不明	9:30 ～ 9:36	観察地点 3 の南西方向で旋回上昇するのを確認。北へゆっくり高空を旋回移動後、東へ滑翔していく。	3	—
H26.7.2	7	成鳥	雄	9:31 ～ 9:37	川下の北側から No. 8 を追いつながら、西へ飛翔し、S5 周辺で追い出した後、No. 9 の侵入個体も出現し、その個体の南側で旋回上昇する。No. 9 の侵入個体も追い出した後、神社の上空を東へ飛翔中に見失う。	11	S5
H26.7.2	8	成鳥	不明	9:31 ～ 9:34	川下の北から西へ飛翔して No. 7 と S5 周辺で旋回を続け、S5 上空から南西方向に直飛し、見失う。	11	侵入

サシバ確認状況 (H26.7.2)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.2	9	成鳥	不明	9:34 ~ 9:36	S4 の南西の谷の上で出現し、旋回上昇後、S4 上空を北へ降下する。飛翔中に尾根陰になり見失う。	11	侵入
H26.7.2	10	成鳥	雌	9:35 ~ 9:48	観察地点 2 の西側谷部のスギ樹頂に南西向きで止まっているのを確認。辺りを見回し、時々羽づくろいをする。9:45 に南へ飛び立ち、南西へ移動する。旋回後、鳴きながら西へ、No. 12 と共に旋回し、西へ移動する。手前の林に隠れ、見えなくなる。	1	S2
H26.7.2	11	成鳥	雌	9:37 ~ 9:37	S5 の南側から鳴きながら出現した後、S5 の南の谷へ降下する (No. 8 侵入個体への追い出しと思われる)。	11	S5
H26.7.2	12	成鳥	不明	9:48 ~ 9:49	観察地点 1 南側の林越しに旋回を確認。No. 10 と共に西へ移動する。	1	—
H26.7.2	13	成鳥	雌	10:05 ~ 10:06	S5 の東の林縁上空で旋回後、東へ飛翔する。川下の北東側で尾根陰になり見失う。	11	S5
H26.7.2	14	成鳥	不明	10:14 ~ 10:16	観察地点 2 上空付近に確認。北へ滑翔し、S2 の南で数回、旋回した後、S2 東側に翼をたたみ急降下する。	1	S2
H26.7.2	15	成鳥	雄	11:14 ~ 11:18	板山地区の西で旋回上昇するのを発見。高空をゆっくり南東へ向かう。林に遮られ見えなくなる。	7	—
H26.7.2	16	成鳥	雄	11:20 ~ 11:27	S5 の北東林縁の枯れ木に止まっているのを確認。11:25 に南へ飛び立ち、旋回移動後、観察地点 9 の北北西斜面へ移動中、尾根に遮られ見失う。	11	S5
H26.7.2	17	成鳥	不明	11:23 ~ 11:27	観察地点 3 の南方向で旋回上昇するのを確認。上昇中はディスプレイ (深く羽ばたく) を行う。旋回上昇した後、一度北へ移動するが、その後、南下し塩田地区の東で急降下し、見失う。	3	—

サシバ確認状況（H26.7.2）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.2	18	成鳥	雌	11:26 ～ 11:27	S5 の上から出現して南へ巡回移動後、南の谷へ降下し、尾根陰になり見失う。	11	S5
H26.7.2	19	成鳥	不明	11:28 ～ 11:34	185m ピーク西側の高空に確認。巡回上昇後、南西へ滑空する。	12	—
H26.7.2	20	成鳥	雄	11:48 ～ 11:56	S4 の南西林縁に止まっているのを確認。11:50 に飛び立ち、S4 の周囲で No. 21 と巡回を始める。No. 22 が出現した後、その個体を追い出す。その後、S4 の北側で見失う。	11	S4
H26.7.2	21	成鳥	雌	11:52 ～ 11:56	S4 の南側で出現して No. 20 と羽ばたいて巡回後、No. 22 が出現し、その個体を追い出しながら、S4 の北側へ No. 20 と降下中に見失う。	11	S4
H26.7.2	22	若鳥	不明	11:55 ～ 11:56	S4 の北東側で巡回しているのを確認。S4 つかいの 2 羽のサシバに追い出され、S4 の北側の谷へ降下し、見失う。	11	侵入
H26.7.2	23	若鳥	不明	13:19 ～ 13:20	大畑の南上空で出現して南へ滑翔後、神社の南の上空で No. 24 と巡回する。その後、2 羽で北東へ飛翔中に尾根陰になり見失う。	11	侵入
H26.7.2	24	成鳥	不明	13:19 ～ 13:20	神社の南の上空で No. 23 と巡回後、北東へ飛翔した。その後、神社の東側で尾根陰になり、見失う。	11	侵入
H26.7.2	25	若鳥	不明	13:22 ～ 13:25	S4 の南西尾根上で出現して北東へ滑翔する。S4 の西側の尾根の上で巡回を続けた後、S4 から西へ飛翔中に尾根陰になり見失う。	11	侵入
H26.7.2	26	成鳥	不明	13:52 ～ 13:53	S2 南の尾根上に確認。南へ滑翔し、尾根越しに見えなくなる。	1	—

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.7.2）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.7.2）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.7.2）

サシバ確認状況 (H26.7.3)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.3	1	若鳥	不明	9:17 ~ 9:20	S4 の北西林内から幼鳥の鳴き声を確認する。	11	S4
H26.7.3	2	若鳥	不明	9:48 ~ 9:50	S5 の営巣林から鳴きながら出現する (2 羽)。その後、少し東側の林内に止まり鳴いていた。	11	S5
H26.7.3	3	成鳥	雄	10:27 ~ 10:31	観察地点 2 西側谷部のスギ樹頂に西向きで止まっているのを確認。10:31 に西側水田に降下し見えなくなる。	1	S2
H26.7.3	4	成鳥	雌	10:30 ~ 10:34	S5 の上から出現して東へ直飛した。その後、羽ばたきながら旋回を始め、北へ上昇しながら、旋回移動中に No.5 も出現した。侵入個体の周囲で羽ばたきながら旋回上昇を続け、追い出した後、和見の林内へ急降下して見失う。	11	S5
H26.7.3	5	成鳥	不明	10:31 ~ 10:33	S5 の東側から出現して、北へ上昇しながら、No.4 と旋回した後、南西に直飛して、S5 の南の谷へ移動中に尾根陰になり見失う。	11	侵入
H26.7.3	6	成鳥	不明	11:34 ~ 11:34	S2 の南東側から S2 林内へ入るのを確認。	1	S2
H26.7.3	7	若鳥	不明	11:57 ~ 11:59	S5 の北東林縁の赤松に 2 羽で止まるのを確認。11:59 に 2 羽で西側の林内へ羽ばたきながら飛翔して見失う。	11	S5
H26.7.3	8	成鳥	雌	12:45 ~ 12:48	川下の北東斜面の上から嘴にイモムシと思われる餌をくわえ、西へ降下しながら飛翔するのを確認する。S5 東の林縁の落葉広葉樹の中枝に止まる (12:46)。12:48 に No.9 幼鳥 1 羽が隣に止まり、親鳥は餌を与える。その後、北西に飛び立ち見失う。	11	S5
H26.7.3	9	若鳥	不明	12:48 ~ 12:48	S5 の東林縁の No.8 親鳥の止まっている落葉広葉樹の中枝に止まる。餌を親鳥からもらった後、林内へ入り見失う。	11	S5

サシバ確認状況 (H26.7.3)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.3	10	成鳥	雄	12:54 ~ 12:55	S4 と S5 の間で出現し、No. 11 及び No. 12 の侵入個体と共に旋回する。その後、No. 11 を追いながら、西へ飛翔中に尾根陰になり見失う。	11	S5
H26.7.3	11	若鳥	不明	12:54 ~ 12:55	S4 と S5 の間で旋回後、No. 10 に追われ、西へ飛翔する。その後、尾根陰になり見失う。	11	侵入
H26.7.3	12	成鳥	不明	12:54 ~ 12:56	S5 の北東側で出現し、東へ上昇しながら旋回後、東へ飛翔する。和見の林内へ入り見失う。	11	侵入
H26.7.3	13	成鳥	雄	13:23 ~ 13:34	北から直飛してくるのを発見。小倉の南で北方向に旋回移動し、旋回上昇する。そのまま北へ旋回移動後、再び旋回上昇する。その後、急降下し尾根付近で見失う。	3	—
H26.7.3	14	不明	不明	13:25 ~ 13:27	No. 13 観察中、やや下で旋回するのを確認。No. 13 と時々並行飛翔する。その後、No. 13 と離れ、東へ移動する。	3	—
H26.7.3	15	成鳥	雄	13:47 ~ 13:48	174m ピーク南の林直上で旋回後、北へ滑空し、降下していく。手前の林に遮られ、見えなくなる。	7	—
H26.7.3	16	成鳥	雄	13:53 ~ 14:09	観察地点 2 西側谷部のスギ樹頂に北向きで止っているのを確認する。14:03 に西側水田に降下するが、再びスギ樹頂に止まる。14:09 に南西側水田に降下後、見失う。	1	S2
H26.7.3	17	不明	不明	14:00 ~ 5 秒	174m ピーク南の林上を南東へ向かう。林に遮られ、見えなくなる。	7	—
H26.7.3	18	成鳥	不明	14:28 ~ 14:39	186m ピーク付近でトビを追いつながら旋回しているのを確認。やや上昇し、トビと離れた後、南西方向へ降下し、尾根上のモミ樹頂に南向きで止まる。すぐに西向きになり、羽づくろいをする。その後、周囲を見たり、下方を注視したりする。14:39 に南西方向へ降下し見失う。	3	—

サシバ確認状況（H26.7.3）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点	営巣地点
H26.7.3	19	成鳥	雄	14:28 ～ 14:31	観察地点 2 の東側から出現し、上空旋回中のトビにモビングしながら S2 北西まで追跡した後、観察地点 2 東側へ滑翔して戻る。	1	S2

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

〔 〕：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.7.3）

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



サシバ飛翔図（H26.7.3）

(エ) ミサゴ

ミサゴ確認状況 (H26.4.26)

調査日	番号	年齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 4. 26	1	不明	不明	14:42 ~ 14:45	那珂川の上空に確認する。ホバリングしながら徐々に南へ移動する。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ミサゴ飛翔図（H26.4.26）

ミサゴ確認状況（H26.7.2）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 7. 2	1	成鳥	不明	13:41 ～ 13:50	那珂川上空に確認。脚に魚を持ちながら旋回、滑空して、下流方向へ飛び去る。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



ミサゴ飛翔図（H26.7.2）

(オ) ノスリ

ノスリ確認状況 (H26.4.26)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.4.26	1	不明	不明	9:17 ~ 9:19	S2 の北側の尾根上空あたりで旋回しているのを確認する。その後、北東へ滑翔する。	10
H26.4.26	2	不明	不明	9:50 ~ 9:52	観察地点 5 の東の尾根上、樹木に北向きで止まっているのを確認。北へ飛び立ち、林に遮られ見えなくなる。	5
H26.4.26	3	若鳥	不明	11:55 ~ 11:57	観察地点 10 北側の水田上に西から出現する。カラスにモビングされ、北東へ向かう。	10
H26.4.26	4	不明	不明	12:05 ~ 12:06	板山地区の南、174m ピークの北上空を南南東へ滑空し、斜面のモミ上段の枝に止まるように見えなくなる。	5
H26.4.26	5	不明	不明	12:05 ~ 12:06	板山地区の南、174m ピークの林冠上、No. 4 より下を南南東へ滑空する。No. 4 と同じ斜面のモミ、上段の枝付近に止まるように見えなくなる（姿は見えない）。	5
H26.4.26	6	不明	不明	12:08 ~ 10 秒	観察地点 5 の南、No. 4、No. 5 が止まったモミから飛び立ち、直飛していく。その後、林に遮られ見えなくなる。	5
H26.4.26	7	不明	不明	13:05 ~ 13:10	観察地点 5 より南側から北へ羽ばたいて直飛する。174m ピークの西の上空で波状ディスプレイを 4 回以上行ったのち、No. 8 に続いて南南東へ滑空していく。林に遮られ、見失う。	5
H26.4.26	8	不明	不明	13:08 ~ 13:10	174m ピーク付近の上空で No. 7 を観察中、この北東側で旋回するのを発見する。南南東へ直飛、滑空していく。林に遮られ、見失う。	5

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.4.26）

ノスリ確認状況（H26.4.27）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 4. 27	1	不明	不明	13:19 ～ 13:22	板山地区の北東で旋回上昇した後、南向きでホバリングをする。その後、降下、ホバリングと続けた後、南東へ滑空降下し、手前林に遮られ見失う。	7
H26. 4. 27	2	不明	不明	14:48 ～ 14:49	板山北東尾根付近を旋回後、南方向へ飛翔する。174m ピーク東側で見失う。	1

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.4.27）

ノスリ確認状況（H26.5.26）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 5. 26	1	成鳥	不明	12:36 ～ 12:40	北から滑翔してくるのを確認。水田上空を旋回し、S2 北側尾根上の針葉樹に止まる（12:37 南東向き）。	10
H26. 5. 26	2	成鳥	不明	13:48 ～ 14:00	S2 北側尾根の北側ピーク南斜面の針葉樹に止まっているのを確認（北西向き）。羽づくろいしながら周辺を見回す。14:00 に林内へ降下し見えなくなる。	10

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.5.26）

ノスリ確認状況（H26.5.27）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.5.27	1	不明	不明	12:48 ～ 12:55	174m ピーク南東に 2 羽確認。ゆっくり旋回上昇しながら徐々に南西へ移動。もう 1 羽 (No. 2) とは途中ではなれ西へ向かう。	12
H26.5.27	2	不明	不明	12:48 ～ 13:04	174m ピーク南東に 2 羽確認。ゆっくり旋回上昇しながら南西へ移動。途中でもう 1 羽 (No. 1) と離れた後、滑空して、北北東へ向かう。	12
H26.5.27	3	成鳥	不明	13:09 ～ 13:12	観察地点 2 上空付近で旋回しているのを確認。旋回しながら北へ移動後、南東へ滑翔する。	1
H26.5.27	4	不明	不明	13:30 ～ 13:34	174m ピーク南に確認。ハンギング（探索）を交えながら旋回し、徐々に南へ移動した後、工業団地南へ降下する。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.5.27）

ノスリ確認状況（H26.6.4）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.6.4	1	成鳥	不明	11:35 ～ 11:36	久那川右岸上空を旋回上昇するのを確認。脚にネズミ類のようなものを持っている。その後、東へ向かう途中、サシバ(No. 22)に追われながら、178m ピーク南の谷に入り、見えなくなる。	3

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.6.4）

ノスリ確認状況（H26.6.5）

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察 地点
H26. 6. 5	1	不明	不明	11:26 ～ 10 秒	板山地区 174m ピーク南の谷津田末流の低空を西南西へ滑空する。林などに遮られ見えなくなる。	7

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ⇐：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ノスリ飛翔図（H26.6.5）

(カ) ハヤブサ

ハヤブサ確認状況 (H26.4.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.4.27	1	不明	不明	9:48 ~ 10:01	174m ピーク東の高空に確認する。 脚にエサ（ヒヨドリ大）を持ちながら 旋回上昇し、徐々に西北西に移動 する。旋回中、エサの羽をむしって いた。上昇後、滑空を始め、エサを 持ったまま南東へ飛び去る。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



ハヤブサ飛翔図（H26.4.27）

(キ) チョウゲンボウ

チョウゲンボウ確認状況 (H26.5.27)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26.5.27	1	不明	不明	10:22 ~ 10:24	大平地区上を北東へ直飛し、麦畑上でホバリングする。その後、南南東へ向かい、目の前の林に遮られ見えなくなる。	13
H26.5.27	2	不明	不明	11:58 ~ 15 秒	工業団地南に確認。オオタカ (No. 3) を攻撃しながら直飛、旋回する。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
 —：成鳥（雌）
 —：雌雄不明成鳥
 —：若鳥
 —：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
 ←←：急降下
 ・：止まり
 ⊙：旋回上昇
 ⊗：旋回
 ▲：地上
 ⊗：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800(m)



チョウゲンボウ飛翔図（H26.5.27）

チョウゲンボウ確認状況 (H26.6.5)

調査日	番号	齢	性別	観察時間	行動	観察地点
H26. 6. 5	1	不明	不明	12:46 ~ 12:47	那珂川右岸を旋回しているのを確認。その後、急降下してカラスを追う。右岸側の林越しに見え隠れしながら、その後、見失う。	12

貴重種保全のため、確認位置は非表示とする。

凡 例

【二】：事業実施区域

—：成鳥（雄）
—：成鳥（雌）
—：雌雄不明成鳥
—：若鳥
—：成若不明・雌雄不明

←：飛翔
↙：急降下
・：止まり
◎：旋回上昇
⊗：旋回
▲：地上
⊙：鳴き声

：営巣木【D：オオタカ S：サシバ】

0 200 400 800 (m)



チョウゲンボウ飛翔図（H26.6.5）

両生類生息確認種一覧

科名	種名 (和名、学名)	秋	春	夏
イシガメ	クサガメ <i>Chinemys reevesii</i>			○
	イシガメ科の一種 <i>Geoemydidae sp.</i>		○	
トカゲ	ニホントカゲ <i>Plestiodon japonicus</i>			○
カナヘビ	ニホンカナヘビ <i>Takydromus tachydromoides</i>	○	○	○
ナミヘビ	シマヘビ <i>Elaphe quadrivirgata</i>		○	○
	アオダイショウ <i>Elaphe climacophora</i>	○	○	○
	ジムグリ <i>Euprepiophis conspicillatus</i>		○	
	ヒバカリ <i>Amphiesma vibakari vibakari</i>	○		
	ヤマカガシ <i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i>	○	○	
クサリヘビ	ニホンマムシ <i>Gloydius blomhoffii</i>		○	○
5科	9種	4種	7種	6種

注) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト〔平成24年度版〕」に準拠した。

爬虫類生息確認種一覧

科名	種名 (和名、学名)	秋	春	夏
イモリ	アカハライモリ <i>Cynops pyrrhogaster</i>		○	○
アマガエル	ニホンアマガエル <i>Hyla japonica</i>	○	○	○
ヒキガエル	アズマヒキガエル <i>Bufo japonicus formosus</i>		○	○
アカガエル	ニホンアカガエル <i>Rana japonica</i>	○	○	○
	ヤマアカガエル <i>Rana ornativentris</i>		○	○
	トウキョウダルマガエル <i>Rana porosa porosa</i>	○	○	○
	ウシガエル <i>Rana catesbeiana</i>	○	○	
	ツチガエル <i>Rana rugosa</i>	○	○	○
アオガエル	シュレーゲルアオガエル <i>Rhacophorus schlegelii</i>	○	○	
	カジカガエル <i>Buergeria buergeri</i>		○	
5科	10種	6種	10種	7種

注) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト〔平成24年度版〕」に準拠した。

昆虫類生息確認種 (1)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ		○	
		オオアオイトトンボ	○		○
	イトトンボ	キイトトンボ			○
		オセイトトンボ		○	○
		アジアイトンボ		○	
		クロイトトンボ			○
		オオイトトンボ		○	
モノサシトンボ	モノサシトンボ	Copera annulata		○	○
カワトンボ	ハグロトンボ	Calopteryx atrata			○
	ミヤマカワトンボ	Calopteryx cornelia		○	
	ニホンカワトンボ	Mnais costalis		○	
ヤンマ	クロスジヤンマ	Anax nigrofasciatus nigrofasciatus		○	
	ササヤンマ	Oligoaeschna pryeri		○	
サナエトンボ	ヤマサナエ	Asiagomphus melaenops		○	
	コサナエ	Trigomphus melampus		○	
ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	Tanypteryx pryeri		○	
オニヤンマ	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii			○
エゾトンボ	トラフトンボ	Epithea marginata		○	
トンボ	ショウジョウトンボ	Crocothemis servilia mariannae			○
	ヨツボシトンボ	Libellula quadrimaculata asahinai		○	
	ハナエトトンボ	Lyriothemis pachygastra		○	○
	シオカラトンボ	Orthetrum albistylum speciosum			○
	シオヤトンボ	Orthetrum japonicum japonicum		○	
	オオシオカラトンボ	Orthetrum triangulare melania			○
	コシアキトンボ	Pseudothemis zonata			○
	チョウトンボ	Rhyothemis fuliginosa			○
	ナツアカネ	Sympetrum darwinianum	○		○
	マユタテアカネ	Sympetrum eroticum eroticum	○		○
	アキアカネ	Sympetrum frequens	○		○
	バシムトンボ	Sympetrum infuscatum	○		○
	ミヤマアカネ	Sympetrum pedemontanum elatum			○
コキフアリ	オオコキフアリ	Panesthia angustipennis spadica		○	
	チャハネコキフアリ	Blattella nipponica		○	○
カマキリ	カマキリ	Statilia maculata			○
		カマキリ科の一種			○
シロアリ	ミゾカシラシロアリ	Reticulitermes speratus	○	○	○
カワゲラ	ー	PLECOPTERA sp.		○	
ハッタ	コロキス	Prosopogryllacris japonica			○
	カマトウマ	Atachycines apicalis apicalis		○	
		Diestrammena 属の一種	○	○	
	カマトウマ科の一種	Rhaphidophoridae sp.			○
ツユムシ	ツユムシ	Phaneroptera falcata	○		○
キリギリス	ササキリ	Conocephalus melaenus	○		
コオロギ	ツツレサセコオロギ	Velarifictorus mikado	○		
	コオロギ科の一種	Gryllidae sp.			○
ヒバリモトギ	クサヒバリ	Svistella bifasciata	○		
ハッタ	ツマクハハッタ	Stethophyma magister			○
イナゴ	コハネイナゴ	Oxya yezoensis	○		
	ツチイナゴ	Patanga japonica	○		○
オンブハッタ	オンブハッタ	Atractomorpha lata	○		
ヒシハッタ	ハネナカヒシハッタ	Euparatettix insularis	○		
	ハラヒシハッタ	Tetrix japonica	○	○	○
ナナフシ	ナナフシ	Baculum irregulariterdentatum			○
	ナナフシ科の一種	Phasmatidae sp.			○
カメムシ	ヒシウソカ	Andes marmoratus			○
	イボタヒシウソカ	Kuvera ligustri		○	
マルウソカ	マルウソカ	Gergithus variabilis		○	○
ハコロモ	ヘッコウハコロモ	Orosanga japonicus	○		
セミ	アブラゼミ	Graptopsaltria nigrofuscata			○
	ミンミンゼミ	Oncotympana maculaticollis			○
	ニニイゼミ	Platypleura kaempferi			○
	ヒケラシ	Tanna japonensis japonensis			○
ツノゼミ	トビイロツノゼミ	Machaerotypus sibiricus	○	○	
アワフキムシ	シロオヒアワフキ	Aphrophora intermedia			○
	モンキアワフキ	Aphrophora major			○
	ホシアワフキ	Aphrophora stictica			○
	マダラアワフキ	Awafukia nawae			○
コカシラアワフキムシ	コカシラアワフキ	Eoscarta assimilis			○
ヨコハエ	ツマクハオオヨコハエ	Bothrogonia ferruginea	○	○	○
	オオヨコハエ	Cicadella viridis	○		
	シタヨコハエ	Japanagallia pteridis		○	
	マエジロオオヨコハエ	Kolla atramentaria		○	
	クワキヨコハエ	Pagaronia guttigera		○	
キシラムシ	キシラムシ科の一種	Psyllidae sp.		○	
アブラムシ	アブラムシ科の一種	Aphididae sp.			○
サシカメ	アカサシカメ	Cydnocoris russatus		○	○
	ヤニサシカメ	Velinus nodipes		○	

昆虫類生息確認種 (2)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
	ゲンハ イムシ	ゲンハ イムシ科の一種	Tingidae sp.	○	
	ヒラタカメムシ	クロヒラタカメムシ	<i>Brachyrhynchus taiwanicus</i>	○	
	カスミカメムシ	ウスモンカスミカメ	<i>Adelphocoris demissus</i>		○
		ヒメセダ カスミカメ	<i>Charagochilus angusticollis</i>	○	
		マダ ラカスミカメ	<i>Cyphodemidea saundersi</i>	○	○
		アカシカスミカメ	<i>Onomaus lautus</i>		○
	オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta cincticollis</i>	○	
	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>		
		ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>	○	
	ヘリカメムシ	オオクモヘリカメムシ	<i>Anacanthocoris striicornis</i>		○
		ホソヘリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>	○	○
		ヘリカメムシ	<i>Cletus schmidtii</i>	○	
		ホシハラヒ ロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>		○
		オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>		○
		ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia opaca</i>	○	
		オオヘリカメムシ	<i>Molipteryx fuliginosa</i>	○	
	ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>	○	○
		ケブ カヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus sapporensis</i>	○	○
		コブ チヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus minutus</i>	○	
		フ チヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus punctattonervosus</i>		○
	ナカ カメムシ	ヒョウタンナカ カメムシ	<i>Caridops albomarginatus</i>	○	○
		ヒメナカ カメムシ	<i>Nysius plebeius</i>	○	
		Nysius 属の一種	<i>Nysius</i> sp.	○	
		ヒゲ ナカ カメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>	○	○
		クロシ ヒゲ ナカ カメムシ	<i>Pachygrontha similis</i>	○	○
		チャモンナカ カメムシ	<i>Paradieuches dissimilis</i>	○	
		オオメナカ カメムシ	<i>Piocoris varius</i>	○	○
		コガ シラコバ ネナカ カメムシ	<i>Pirkimerus japonicus</i>	○	
		ムラサキナカ カメムシ	<i>Pyrgorus colon</i>	○	
		コバ ネヒョウタンナカ カメムシ	<i>Togo hemipterus</i>	○	○
	メダ カナカ カメムシ	メダ カナカ カメムシ	<i>Chauliops fallax</i>		○
	ツノカメムシ	セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>	○	
		ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>	○	○
		モンキツノカメムシ	<i>Sastragala scutellata</i>	○	
	ノコギ リカメムシ	ノコギ リカメムシ	<i>Megymenum gracilicorne</i>		○
	カメムシ	ウス ラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>		○
		シロヘリカメムシ	<i>Aenaria lewisi</i>	○	
		トゲ カメムシ	<i>Carbula humerigera</i>		○
		ナカ メ	<i>Eurydema rugosum</i>	○	○
		トゲ シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris aeneus</i>	○	○
		ムラサキシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>	○	
		クサギ カメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>		○
		ヨツボ シカメムシ	<i>Homalagonia obtusa</i>	○	
		ツマシ ロカメムシ	<i>Menida violacea</i>	○	○
		チャバ ネアオカメムシ	<i>Plautia crossota stali</i>	○	○
	マルカメムシ	ヒメマルカメムシ	<i>Coptosoma biguttulum</i>	○	
		タデ マルカメムシ	<i>Coptosoma parvipictum</i>		○
		マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>	○	○
	アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	○	○
		ヒメアメンボ	<i>Gerris latiaabdominis</i>	○	○
		シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>		○
	メミス ムシ	メミス ムシ	<i>Ochterus marginatus</i>		○
	コオイムシ	オオコオイムシ	<i>Appasus major</i>	○	
		タカ メ	<i>Lethocerus deyrolli</i>		○
	タイコウチ	ミス カマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>	○	○
アミメカゲ ロウ	ヒロハ カゲ ロウ	キマダ ラヒロハ カゲ ロウ	<i>Spilosmylus flavicornis</i>		○
		ヒロハ カゲ ロウ科の一種	Osmiidae sp.		○
	クサカゲ ロウ	クサカゲ ロウ科の一種	Chrysopidae sp.		○
	ツノトンボ	キバ ネットンボ	<i>Ascalaphus ramburi</i>	○	
	ウスハ カゲ ロウ	ウスハ カゲ ロウ科の一種	Myrmeleontidae sp.	○	
	-	アミメカゲ ロウ目の一種	NEUROPTERA sp.	○	
シリアゲ ムシ	シリアゲ ムシ	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	○	
トビ ケラ	ヒゲ ナカ カワトビ ケラ	ヒゲ ナカ カワトビ ケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	○	
	エケ リトビ ケラ	Nothopsyche 属の一種	<i>Nothopsyche</i> sp.	○	
	トビ ケラ	ムラサキトビ ケラ	<i>Eubasilissa regina</i>		○
	-	トビ ケラ目の一種	Trichoptera	○	○
チョウ	スカ	Yponomeuta 属の一種	<i>Yponomeuta</i> sp.	○	
	ハマキカ	トビ ハマキ	<i>Pandemis heparana</i>	○	
	イラカ	アオイイラカ	<i>Parasa consocia</i>		○
	マダ ラカ	キシ ホソマダ ラ	<i>Artona gracilis</i>		○
	セリチョウ	アオバ セリ本土亜種	<i>Choaspes benjaminii japonica</i>	○	
		ダ イミョウセリ	<i>Daimio tethys</i>	○	
		ミヤマセリ	<i>Erynnis montanus</i>	○	
		ホソバ セリ	<i>Isoteinon lamprospilus lamprospilus</i>		○
		ヒメキマダ ラセリ	<i>Ochlodes ochraceus</i>	○	
		イチモンジ セリ	<i>Parnara guttata guttata</i>		○
		オオチャバ ネセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>		○

昆虫類生息確認種 (3)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		コチャハネセリ <i>Thoressa varia</i>		○	○
	シジミチョウ	ルリシジミ <i>Celastrina argiolus ladonides</i>		○	○
		ウラギンシジミ <i>Curetis acuta paracuta</i>	○		○
		ツバメシジミ <i>Everes argiades hellotia</i>		○	
		オオミドリシジミ <i>Favonius orientalis</i>		○	○
		ウラナシジミ <i>Lampides boeticus</i>	○		
		ヘニシジミ <i>Lycaena phlaeas daimio</i>	○		○
		ムラサキシジミ <i>Narathura japonica</i>		○	
		ヤマトシジミ本土亜種 <i>Pseudozizeeria maha argia</i>	○	○	○
		トラフシジミ <i>Rapala arata</i>		○	○
		コイシジミ <i>Taraka hamada hamada</i>		○	
タテハチョウ	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana strigosa</i>			○
		ヒメアカタテハ <i>Cynthia cardui</i>			○
		スミカシ本土亜種 <i>Dichorragia nesimachus nesiotus</i>			○
		ルリタテハ本土亜種 <i>Kaniska canace nojaponicum</i>	○		
		イチモンジチョウ <i>Ladoga camilla japonica</i>		○	○
		クモカクタイウモン <i>Nephargynnis anadyomene midas</i>		○	
		コミスジ <i>Neptis sappho intermedia</i>		○	○
		キタテハ <i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	○		○
		オオムラサキ <i>Sasakia charonda charonda</i>			○
		アカタテハ <i>Vanessa indica</i>	○		
アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>		○	○
	モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>		○	
	オナカアゲハ	<i>Papilio macilentus</i>		○	○
	ナカサギアゲハ	<i>Papilio memnon thunbergii</i>			○
	クロアゲハ本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>		○	○
シロチョウ	モンキチョウ	<i>Colias erate poliographus</i>	○	○	
	キチョウ	<i>Eurema hecabe</i>	○	○	○
	ツマクロキチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>	○		
	スジクワシロチョウ	<i>Pieris melete melete</i>		○	○
	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○	○	○
シヤノメチョウ	クロヒカゲ本土亜種	<i>Lethe diana diana</i>		○	○
	ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>			○
	クロノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>			○
	コシヤノメ	<i>Mycalasis francisca perdiccas</i>		○	○
	ヒメシヤノメ	<i>Mycalasis gotama fulginia</i>			○
	サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>		○	○
	ヤマキマダラヒカゲ本土亜種	<i>Neope nipponica nipponica</i>		○	
	オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i>			○
	ヒメウラナシヤノメ	<i>Ypthima argus</i>		○	○
ツトカ	シロヒトモンノメイカ	<i>Analthes semitritalis</i>			○
	アカウスクワノメイカ	<i>Bradina angustalis pryeri</i>			○
	モモノコマダラノメイカ	<i>Conogethes punctiferalis</i>		○	
	スカノメイカ	<i>Glyphodes pryeri</i>		○	○
	クロヘリキノメイカ	<i>Goniorhynchus butyroza</i>		○	
	モンキクロノメイカ	<i>Herpetogramma luctuosalis zelleri</i>		○	
	マエキノメイカ	<i>Herpetogramma rudis</i>		○	
	クロミスジノメイカ	<i>Omiodes similis</i>			○
	シロアシクロノメイカ	<i>Omiodes tristrialis</i>			○
	ヒメシロノメイカ	<i>Palpita inusitata</i>		○	
	ヨツメノメイカ	<i>Pleuroptya quadrimaculalis</i>			○
	キムシノメイカ	<i>Prodasychnemis inornata</i>		○	
	セスノメイカ	<i>Sinibotys evenoralis</i>		○	○
	ヨツボシノメイカ	<i>Talanga quadrimaculalis</i>			○
	オオモンシロルリノメイカ	<i>Uresiphita dissipatalis</i>			○
	モンシロルリノメイカ	<i>Uresiphita tricolor</i>			○
	ツトカ科の一種	Crambidae sp.			○
メイカ	ウスアカムラサキマダラメイカ	<i>Calguia defiguralis</i>			○
	メイカ科の一種	Pyralidae sp.			○
カキハカ	マエキカハ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>		○	
	ムラサキカトリハ	<i>Epipsestis ornata</i>	○		
	ヤマトカキハ	<i>Nordstromia japonica</i>		○	
	アシヘニカキハ	<i>Oreta pulchripes</i>		○	
	モントカトリハ	<i>Thyatira batis japonica</i>			○
	カキハカ科の一種	Drepanidae sp.			○
アゲハモトキ	アゲハモトキ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>		○	
シャクガ	チズモンアオシャク	<i>Agathia carissima carissima</i>		○	○
	アシフトチズモンアオシャク	<i>Agathia visenda curvifiniens</i>		○	
	ウスイロオオエダシャク	<i>Amraica superans superans</i>		○	
	ウスアオシャク	<i>Dindica virescens</i>		○	
	セキナミシャク	<i>Ecliptopera capitata mariesii</i>		○	
	オオハカクナミシャク	<i>Ecliptopera umbrosaria umbrosaria</i>		○	
	ウスジロエダシャク	<i>Ectropis obliqua</i>		○	
	ツマキエダシャク	<i>Endropiodes abjecta abjecta</i>		○	○
	ハリスジナミシャク	<i>Eschatarchia lineata lineata</i>		○	
	ハコヘナミシャク	<i>Euphyia cineraria</i>		○	
	ギアミナミシャク	<i>Eustroma japonica</i>		○	

昆虫類生息確認種 (4)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		キマダラオオナミシャク <i>Gandaritis fixseni</i>			○
		カギシロスジアオシャク <i>Geometra dieckmanni</i>		○	
		キバハラヒメアオシャク <i>Hemithea aestivaria</i>		○	
		ナミガタエダシヤク <i>Heterarmia charon charon</i>		○	
		マルモンヒメアオシャク <i>Jodis praeurupta</i>		○	
		フタホシシロエダシヤク <i>Lomographa bimaculata subnotata</i>		○	
		ウスキツバメエダシヤク <i>Ourapteryx nivea</i>			○
		オオアヤシヤク <i>Pachista superans</i>		○	
		ウラモンアカエダシヤク <i>Parepione grata</i>		○	
		ナカエダシヤク <i>Plagodis dolabraria</i>		○	○
		フトヘニスジヒメシャク <i>Timandra apicirosea</i>			○
		シロホヒクロナミシャク <i>Trichobaptia exsecuta</i>		○	
		ホリハナミシャク <i>Tyloptera bella bella</i>		○	
		ツマクロナミシャク <i>Xanthorhoe muscipata</i>		○	
		ミスジツマキリエダシヤク <i>Xerodes rufescentaria</i>		○	
		シャクガ科の一種 <i>Geometridae sp.</i>		○	○
イカリモンカ	イカリモンカ	<i>Pterodecta felderi</i>	○		○
カレハカ	カレハカ科の一種	<i>Lasiocampidae sp.</i>			○
ヤマユカ	ヒメヤマユ	<i>Saturnia jonassii</i>	○		
スズメカ	クルマスズメ	<i>Ampelophaga rubiginosa rubiginosa</i>			○
	モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>			○
シャチホコカ	ウスキシヤチホコ	<i>Mimopydna pallida</i>		○	
	オオトビモンシャチホコ	<i>Phalerodonta manleyi manleyi</i>	○		
	オオエクスリヤチホコ	<i>Pterostoma gigantinum</i>		○	○
	アオシャチホコ	<i>Syntypistis japonica</i>			○
	キシヤチホコ	<i>Torigea straminea</i>		○	
	シャチホコカ科の一種	<i>Notodontidae sp.</i>			○
ヒトリカ	スジヘニコケカ	<i>Barsine striata striata</i>		○	
	ムジホリハ	<i>Eilema deplana paveszens</i>		○	
	クロフシロヒトリ	<i>Eospilarctia lewisii</i>		○	
	ヘニヘリコケカ	<i>Miltochrista miniata rosaria</i>		○	
	スジモンヒトリ	<i>Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata</i>		○	
	カノコカ	<i>Amata fortunei fortunei</i>			○
トクカ	フトウトクカ	<i>Ilema eurydice</i>			○
	ウチンロマイマイ	<i>Parocneria furva</i>			○
ヤカ	オオウスツマカラスヨトウ	<i>Amphipyra erebina</i>			○
	カラスヨトウ	<i>Amphipyra livida corvina</i>			○
	シロモンオビヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>		○	
	モクメヨトウ	<i>Axylia putris</i>		○	
	フタスジアツハ	<i>Bertula bistrigata</i>		○	
	マダラツマキリヨトウ	<i>Callopistria repleta</i>		○	
	キシタハ	<i>Catocala patala</i>			○
	ケンモンミドリキリカ	<i>Daseochaeta viridis</i>	○		
	コクロモクメヨトウ	<i>Dipterygina japonica</i>		○	
	オオシラホシアツハ	<i>Edessena hamada</i>		○	
	タイワンキシタアツハ	<i>Hypena trigonalis</i>		○	
	ネジロコヤカ	<i>Maliattha chalcogramma</i>		○	
	ウンモンクチハ	<i>Mocis annetta</i>		○	
	クロシタキヨトウ	<i>Mythimna placida</i>		○	
	マエモンコヤカ	<i>Neustrotia japonica</i>		○	
	アトキスジクルマコヤカ	<i>Oruza mira</i>		○	
	ウンモンツマキリアツハ	<i>Pangrapta perturbans</i>		○	○
	カハスジヤカ	<i>Sineugraphe exusta</i>			○
	ハグルマトモエ	<i>Spirama helicina</i>		○	
	クロシラフクチハ	<i>Synoides fumosus</i>			○
	チョウセンツマキリアツハ	<i>Tamba corealis</i>		○	
	ノコメカリキリカ	<i>Telorta divergens</i>	○		
	ヒメコフヒゲアツハ	<i>Zanclognatha tarsipennalis</i>		○	
	ヤカ科の一種	<i>Noctuidae sp.</i>	○		○
コフカ	ヘニモンアオリンカ	<i>Earias roseifera</i>		○	
ハエ	カカンホ	<i>Nephrotoma virgata</i>		○	○
	マダラカカンホ	<i>Tipula coquilleti</i>		○	
	カカンホ科の一種	<i>Tipulidae sp.</i>	○	○	○
	ユスリカ科の一種	<i>Chironomidae sp.</i>			○
カ	カ科の一種	<i>Culicidae sp.</i>		○	○
キノコバエ	キノコバエ科の一種	<i>Mycetophilidae sp.</i>		○	
クサアブ	ネグロクサアブ	<i>Coenomyia basalis</i>		○	
ミスアブ	ミスアブ	<i>Stratiomys japonica</i>			○
アブ	イヨシロオビアブ	<i>Hirosia iyoensis</i>			○
	アカウシアブ	<i>Tabanus chrysurus</i>			○
	キシロアブ	<i>Tabanus takasagoensis</i>		○	
ムシヒキアブ	イッセンキイアブ	<i>Choerades isschikii</i>			○
	クロシイシアブ	<i>Choerades nigrovittata</i>		○	
	アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>			○
	オオイシアブ	<i>Laphria mitsukurii</i>			○
	ナミマカリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>		○	○
	シオヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>			○

昆虫類生息確認種 (5)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
	アシナガハエ	アシナガハエ科の一種		○	
	オトリハエ	オトリハエ科の一種		○	○
	ハナアブ	ナガヒラタアブ			○
		マダラコシホソハナアブ		○	
		ホシヒラタアブ			○
		シマハナアブ		○	
		ナミハナアブ	○	○	○
		ナミホシヒラタアブ		○	
		アシアブトハナアブ		○	
		ニセクロホシハナアブ		○	
		ホシツヤヒラタアブ		○	
		アリノスアブ		○	
		Paragus属の一種		○	○
		オオハナアブ	○		○
		Sphaerophoria属の一種	○	○	○
		コシホソヒラタアブ		○	
		ニトベハソコウハナアブ			○
		Xylota属の一種		○	
		ハナアブ科の一種		○	
	メハエ	メハエ科の一種	○		
	ショウジヨウハエ	ショウジヨウハエ科の一種		○	○
	ヘソコウハエ	ヘソコウハエ		○	
	マルスヤセハエ	マエジロアシナガヤセハエ			○
	ツヤホソハエ	ヒトテンツヤホソハエ	○	○	
	ミハエ	チャイロハスジハマダラミハエ			○
		ミハエ科の一種	○		
	クロハエ	ミドリキンハエ		○	
		ツマクロキンハエ	○		
		クロハエ科の一種	○		
	イエハエ	イエハエ科の一種		○	○
	ー	ハエ目の一種		○	○
コウチュウ	オサムシ	Amara属の一種		○	
		ベーツヒメコモクシ	○		
		アオアトキリコシムシ			○
		アトホシアオコシムシ		○	○
		クロヒゲアオコシムシ		○	
		キボシアオコシムシ			○
		ニセオオアオモリヒラタコシムシ		○	
		クロモリヒラタコシムシ		○	
		ヤセモリヒラタコシムシ		○	
		Colpodes属の一種		○	
		ルリヒラタコシムシ		○	
		イクヒホソアトキリコシムシ		○	
		ケコモクシ			○
		トックリコシムシ			○
		フタホシアトキリコシムシ		○	○
		ホシハネビロアトキリコシムシ			○
		クロナカオサムシ	○	○	○
		キノコシムシ			○
		Nebria属の一種		○	
		エサキオサムシ		○	○
		キヨアトキリコシムシ		○	
		トックリナカコシムシ			○
		マルカクツヤヒラタコシムシ		○	
ハンミョウ	ハンミョウ	Cicindela japonica		○	○
ゲンコロウ	コシマゲンコロウ	Hydaticus grammicus		○	
	ヒメゲンコロウ	Rhantus suturalis			○
エンマムシ	ツヤマルエンマムシ	Atholus pirithous		○	
	オオマルマエンマムシ	Gnathoncus nannetensis			○
	オオヒラタエンマムシ	Hololepta amurensis			○
	ヒラタエンマムシ	Hololepta depressa			○
	コエンマムシ	Margarinotus niponicus			○
シテムシ	クロシテムシ	Nicrophorus concolor		○	○
	ヨツボシモンシテムシ	Nicrophorus quadripunctatus	○	○	○
ハネカクシ	Dianous属の一種	Dianous sp.			○
	ネアカヨツメハネカクシ	Lesteva plagiata		○	
	サビハネカクシ	Ontholestes gracilis		○	○
	ヤマトキキノコムシ	Scaphidium japonum		○	
	Sepedophilus属の一種	Sepedophilus sp.		○	
	アシマダラメダカハネカクシ	Stenus cicideloideus	○		
	Stenus属の一種	Stenus sp.		○	
	ハネカクシ科の一種	Staphylinidae sp.			○
センチコガネ	オオセンチコガネ	Phelotrupes auratus auratus	○		
	センチコガネ	Phelotrupes laevistriatus			○
クワカタムシ	スジクワカタ	Dorcus binervis binervis			○
	コクワカタ	Dorcus rectus rectus			○
	ミヤマクワカタ	Lucanus maculifemoratus maculifemoratus			○

昆虫類生息確認種 (6)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		ノキリクワカ ^タ			○
	コカ ^{ネムシ}	ト ^ウ カ ^ネ ア ^イ フ ^イ			○
		サクラコカ ^ネ			○
		スジ ^{コカ} ネ			○
		アカマダ ^{ラハナムク} リ		○	
		セマダ ^{ラコカ} ネ			○
		ヒメアシナカ ^{コカ} ネ			○
		カハ ^{イロアシナカ} コカ ^ネ			○
		コカフ ^{トムシ}			
		コア ^{ハナムク} リ		○	
		クロハナムク ^リ		○	○
		ナガ ^{チャコカ} ネ			○
		ヒメトラハナムク ^リ		○	○
		ビ ^{ロウト} コカ ^ネ			○
		ヒメビ ^{ロウト} コカ ^ネ		○	○
		コカ ^{ネムシ}			○
		ヒラタハナムク ^リ		○	
		コフ ^{マルエンマコカ} ネ			○
		ツヤエンマコカ ^ネ			○
		ハイロビ ^{ロウト} コカ ^ネ		○	
		マメコカ ^ネ			○
		カナフ ^ン			○
		ヒゲ ^{ナカ} ビ ^{ロウト} コカ ^ネ			○
		カフ ^{トムシ}			○
	ナカ ^{ハナミ}	ヒゲ ^{ナカ} ハナミ		○	
		クリイロヒゲ ^{ナカ} ハナミ		○	
	タマシ	クロナカ ^{タマシ}		○	○
		ミト ^{リツナカ} タマシ		○	
		<i>Agrilus</i> 属の一種		○	
		フチトリヒメヒラタタマシ		○	
		タマシ			○
		アオマダ ^{ラタマシ}			○
		アカ ^{ネチ} タマシ		○	
		<i>Trachys</i> 属の一種		○	
	コメツキムシ	シモアリコメツキ		○	
		サビ ^{キコリ}			○
		ホソサビ ^{キコリ}			○
		ト ^ウ カ ^ネ ヒラタコメツキ		○	
		ナカ ^{ナカク} ロビコメツキ		○	
		ヘ ^{ニコメツキ}		○	
		キハ ^{ネボ} コメツキ			○
		クロツヤクシコメツキ		○	
		ヒゲ ^{ナカ} コメツキ		○	
		オオナカ ^{コメツキ}			○
		<i>Parallellostethus</i> 属の一種			○
		アカアシオクシコメツキ			○
		コメツキムシ科の一種			○
	コメツキタ ^{マシ}	アイヌコメツキタ ^{マシ}			○
	ジ ^{ョウカイ} ホ ^ン	ウスイロク ^ビ ホ ^ン ジ ^{ョウカイ}		○	
		ジ ^{ョウカイ} ホ ^ン		○	
	ホタル	オハ ^{ホタル}		○	○
		ゲ ^ン ジ ^{ホタル}			○
		ヘイケ ^{ホタル}			○
	ヘ ^{ニホタル}	クシヒゲ ^{ヘニホタル}		○	
		ヘ ^{ニホタル} 科の一種			○
	ナカ ^{シンクイ} ムシ	チビ ^{タケナカ} シンクイ			○
	ジ ^{ョウカイ} モト ^キ	ツマキアホ ^ン ジ ^{ョウカイ} モト ^キ		○	
	テントウムシ	シロジ ^{ュウ} ホシテントウ			○
		ヒメアカホシテントウ		○	○
		ナナホシテントウ	○	○	○
		ナミテントウ	○	○	○
		ヤマトアサ ^ミ テントウ		○	
		オオニシ ^{ユウ} ヤホシテントウ			○
		ヒメカメノコテントウ		○	
		シロホシテントウ		○	
	オオキノコムシ	ヒメオビ ^{オオキノコムシ}			○
	オオクスイムシ	ヨツボ ^シ オオクスイ		○	
	コメツキモト ^キ	ルイスコメツキモト ^キ			○
		<i>Languriomorpha</i> 属の一種		○	
	クシキスイ	ヨツボ ^シ クシキスイ		○	○
	ホリヒラタムシ	クロホ ^セ マルヒラタムシ		○	
		ミツモンセマルヒラタムシ		○	
	ハナノミ	クロヒメハナノミ		○	○
	カミキリモト ^キ	キイロカミキリモト ^キ			○
		モモフ ^ト カミキリモト ^キ		○	○
		キアシカミキリモト ^キ		○	
	アカハネムシ	ヒメアカハネムシ		○	

昆虫類生息確認種 (7)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		アカハネムシ <i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>		○	
	ゴミムシダマシ	オオクチムシ <i>Allecula fuliginosa</i>			○
		ウスイロクチムシ <i>Allecula simiola</i>			○
		アオハムシダマシ <i>Arthromacra decora</i>		○	
		クリイロクチムシ <i>Borboresthes acicularis</i>			○
		ナカニシゴミムシダマシ <i>Ceropria induta</i>			○
		ホソスナゴミムシダマシ <i>Gonocephalum sexuale</i>	○		○
		スジコガシラゴミムシダマシ <i>Heterotarsus carinula</i>			○
		ハムシダマシ <i>Lagria rufipennis</i>			○
		クロデントウゴミムシダマシ <i>Leiochrodes convexus</i>		○	
		フジハムシダマシ <i>Macrolagria fujisana</i>		○	
		ナカハムシダマシ <i>Macrolagria rufobrunnea</i>		○	○
		ヒゴキノコゴミムシダマシ <i>Platydemia higonium</i>		○	
		キマリ <i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>			○
		モトヨツコフゴミムシダマシ <i>Uloma bonzica</i>			○
		オオエクリゴミムシダマシ <i>Uloma lewisi</i>	○		
		エクリゴミムシダマシ <i>Uloma marseuli marseuli</i>			○
	カミキリムシ	ビロウトカミキリ <i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i>			○
		ゴマダラカミキリ <i>Anoplophora malasiaca</i>			○
		アカハナカミキリ <i>Aredolpona succedanea</i>			○
		キスジトラカミキリ <i>Cyrtoclytus caproides caproides</i>			○
		トゲヒゲトラカミキリ <i>Demonax transilis</i>		○	
		ヨツキホシカミキリ <i>Epiglenea comes comes</i>			○
		ヤツメカミキリ <i>Eutetrappa ocelota</i>			○
		クモカクケシカミキリ <i>Exocentrus fasciolatus</i>			○
		シラホシカミキリ <i>Glenea relicta relicta</i>			○
		ゴマダラモフトラカミキリ <i>Leiopus stillatus</i>		○	
		ヨツシハナカミキリ <i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i>			○
		カタシロコマフカミキリ <i>Mesosa hirsuta hirsuta</i>			○
		ゴマフカミキリ <i>Mesosa japonica</i>		○	○
		ナカゴマフカミキリ <i>Mesosa longipennis</i>			○
		ヘリケロリンコカミキリ <i>Nupserha marginella</i>			○
		リンコカミキリ <i>Oberea japonica</i>			○
		ノコギリカミキリ <i>Prionus insularis insularis</i>			○
		キボシカミキリ <i>Psacotheta hilaris hilaris</i>			○
		トカリスロオビサヒカミキリ <i>Pterolophia caudata caudata</i>			○
		ベニカミキリ <i>Purpuricenus temminckii</i>		○	○
		ホソトラカミキリ <i>Rhaphuma xenisca</i>			○
		モモクロハナカミキリ <i>Toxotinus reinii</i>		○	
		ウスイロトラカミキリ <i>Xylotrechus cuneipennis</i>			○
	ハムシ	カミナリハムシ <i>Altica cyanea</i>			○
		<i>Altica</i> 属の一種 <i>Altica</i> sp.	○		
		オオアカマルノミハムシ <i>Argopus clypeatus</i>		○	
		ムナケラツツハムシ <i>Arthrotus niger</i>		○	○
		ジツンガサハムシ <i>Aspidomorpha indica</i>		○	
		ウリハムシモトキ <i>Atrachya menetriesi</i>			○
		ウリハムシ <i>Aulacophora indica</i>			○
		ムネアカサルハムシ <i>Basilepta ruficollis</i>			○
		セモンジツンガサハムシ <i>Cassida versicolor</i>			○
		ヨモギハムシ <i>Chrysolina aurichalcea</i>		○	
		ハツカハムシ <i>Chrysolina exanthematica laevipunctata</i>	○		
		ハラルリツツハムシ <i>Cryptocephalus approximatus</i>		○	
		カシワツツハムシ <i>Cryptocephalus scitulus</i>			○
		クワハムシ <i>Fleutiauxia armata</i>		○	
		ジツンサイハムシ <i>Galerucella nipponensis</i>			○
		イタドリハムシ <i>Gallerucida bifasciata</i>		○	○
		スグクワハムシ <i>Gallerucida flavipennis</i>		○	
		フジハムシ <i>Goniocera rubripennis</i>		○	
		キハネマルノミハムシ <i>Hemipyxis flavipennis</i>		○	
		キハネリクビホソハムシ <i>Lema adamsii</i>		○	
		ルリクビホソハムシ <i>Lema cirsicola</i>		○	○
		キハネラルリクビホソハムシ <i>Lema concinnipennis</i>		○	
		スグクビホソハムシ <i>Lema dilecta</i>	○		
		ヤマモハムシ <i>Lema honorata</i>			○
		アカクビナガハムシ <i>Lilioceris subpolita</i>			○
		ルリマルノミハムシ <i>Nonarthra cyanea</i>			○
		コマルノミハムシ <i>Nonarthra tibialis</i>			○
		イネクビホソハムシ <i>Oulema oryzae</i>		○	○
		<i>Pagria</i> 属の一種 <i>Pagria</i> sp.			○
		アトホシハムシ <i>Paridea angulicollis</i>		○	○
		ヨツボシハムシ <i>Paridea quadriplagiata</i>		○	
		ヤナギルリハムシ <i>Plagiodera versicolora</i>		○	
		キヌツヤミスクサハムシ <i>Plateumaris sericea</i>		○	
		フタホシオノミハムシ <i>Pseudodera xanthospila</i>		○	○
		エノキハムシ <i>Pyrrhalta tibialis</i>			○
		トウカネサルハムシ <i>Scelodonta lewisii</i>		○	○
		キボシシリハムシ <i>Smaragdina aurita</i>		○	

昆虫類生息確認種 (8)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		アオハノコヒゲハムシ <i>Sphenoraia intermedia</i>		○	
		イチモンジカメノコハムシ <i>Thlaspidia cribrata</i>		○	
		トビサルハムシ <i>Trichochrysea japana</i>		○	
	ヒゲナカゾウムシ	スネアカヒゲナカゾウムシ <i>Autotropis distinguenda</i>		○	
		ウスモンツツヒゲナカゾウムシ <i>Ozotomerus japonicus japonicus</i>			○
		カオジロヒゲナカゾウムシ <i>Sphinctotropis laxa</i>		○	
	ホソクチゾウムシ	ヒゲナカホソクチゾウムシ <i>Pseudopirapion placidum</i>		○	
	オトシフミ	ヒメクロオトシフミ <i>Apoderus erythrogaster</i>		○	○
		エコツルケヒメオトシフミ <i>Cycnotrachelus roelofsi</i>		○	
		チビイクレヒョウキリ <i>Deporaus minimus</i>		○	
		カシリオトシフミ <i>Euops splendidus</i>		○	○
		ヒゲナカオトシフミ <i>Paratrachelophorus longicornis</i>		○	
		ゴマダラオトシフミ <i>Paroplapoderus pardalis</i>		○	
		ヒメコフオトシフミ <i>Phymatopoderus pavens</i>		○	○
	ゾウムシ	ナカスミカレキゾウムシ <i>Acicnemis suturalis</i>			○
		イチコハナゾウムシ <i>Anthonomus bisignifer</i>			○
		カナクアラサリゾウムシ <i>Cardipennis shaowuensis</i>			○
		アイノシキゾウムシ <i>Curculio aino</i>			○
		<i>Dryotribus</i> 属の一種 <i>Dryotribus</i> sp.		○	
		シロコフゾウムシ <i>Episomus turritus</i>		○	○
		コフキゾウムシ <i>Eugnathus distinctus</i>		○	○
		カナクアラトケサリゾウムシ <i>Homorosoma chinense</i>		○	
		マツアサキゾウムシ <i>Hylobius haroldi</i>			○
		ヤサイゾウムシ <i>Listroderes costirostris</i>		○	
		ハシカツオゾウムシ <i>Lixus acutipennis</i>			○
		ナカカツオゾウムシ <i>Lixus depressipennis</i>		○	
		カツオゾウムシ <i>Lixus impressiventris</i>		○	○
		ツツキイゾウムシ <i>Magdalis memnonia</i>		○	
		カシアナカゾウムシ <i>Merus piceus</i>			○
		クワヒメゾウムシ <i>Moreobaris deplanata</i>		○	
		カシワキチブトゾウムシ <i>Myloccerus griseus</i>		○	○
		<i>Myloccerus</i> 属の一種 <i>Myloccerus</i> sp.		○	
		オジロアサナカゾウムシ <i>Ornatolcides trifidus</i>			○
		マツキボシゾウムシ <i>Pissodes nitidus</i>		○	
		カガヤヒメキイゾウムシ <i>Pseudocossonus brevitarsis</i>			○
		クロクチブトサリゾウムシ <i>Rhinocomimus niger</i>		○	
		ニセマツノシラホシゾウムシ <i>Shirahoshizo rufescens</i>		○	
		ゾウムシ科の一種 <i>Curculionidae</i> sp.			○
	オサゾウムシ	ササコクゾウムシ <i>Diocalandra sasa</i>		○	
		オオゾウムシ <i>Sipalinus gigas gigas</i>		○	○
	イネゾウムシ	イネミスゾウムシ <i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>		○	
ハチ	ミフシハハチ	シラクロチュウレンシ <i>Arge nigrovaginata</i>		○	
		ニホンチュウレンシ <i>Arge nipponensis</i>		○	○
		ルリチュウレンシ <i>Arge similis</i>		○	
		ミフシハハチ科の一種 <i>Argidae</i> sp.		○	
	ハハチ	セクロカブラハハチ <i>Athalia infumata</i>		○	○
		ニホンカブラハハチ <i>Athalia japonica</i>		○	
		カブラハハチ <i>Athalia rosae ruficornis</i>			○
		クロムネハハチ <i>Lagidina irritans</i>		○	
		クロハハチ <i>Macrophya ignava</i>		○	
		クチナカハハチ類 <i>Nipponorhynchus</i> sp.		○	
		セリマハハチ <i>Pachyprotasis serii</i>		○	
		<i>Pachyprotasis</i> 属の一種 <i>Pachyprotasis</i> sp.		○	
		オオコシアハハチ <i>Siobla ferox</i>		○	
		ハハチ科の一種 <i>Tenthredinidae</i> sp.		○	○
	キハチ	ニホンキハチ <i>Urocera japonica</i>			○
	クキハチ	クロハチ <i>Calameuta nigripennis</i>		○	
	コマユハチ	コマユハチ科の一種 <i>Braconidae</i> sp.		○	
	ヒメハチ	ハキヒメハチ <i>Callajoppa exaltatoria</i>			○
		ヒメハチ科の一種 <i>Ichneumonidae</i> sp.	○	○	○
アリ		クロオアリ <i>Camponotus japonicus</i>		○	○
		ミカドオアリ <i>Camponotus kiusiuensis</i>			○
		ムネアカオアリ <i>Camponotus obscuripes</i>	○	○	○
		ウメマツオアリ <i>Camponotus vitosus</i>		○	
		ハリブトシリアゲアリ <i>Crematogaster matsumurai</i>			○
		キエロシリアゲアリ <i>Crematogaster osakensis</i>			○
		テラニシリアゲアリ <i>Crematogaster teranishii</i>		○	○
		シベリアカタアリ <i>Dolichoderus sibiricus</i>		○	○
		ハヤシクロヤマアリ <i>Formica hayashi</i>		○	○
		クロヤマアリ <i>Formica japonica</i>	○	○	○
		トビイロケアリ <i>Lasius japonicus</i>	○	○	○
		クロクサアリ <i>Lasius nipponensis</i>		○	○
		ヒゲナカケアリ <i>Lasius productus</i>			○
		クサアリモドキ <i>Lasius spathopus</i>		○	○
		<i>Lasius</i> 属の一種 <i>Lasius</i> sp.		○	
		オオハリアリ <i>Pachycondyla chinensis</i>	○		○
		アスマオオスアリ <i>Pheidole fervida</i>			○

昆虫類生息確認種 (9)

目名	科名	種名 (和名、学名)	秋季	春季	夏季
		トゲアリ <i>Polyrhachis lamellidens</i>		○	
		テラニシハリアリ <i>Ponera scabra</i>			○
		アミメアリ <i>Pristomyrmex pungens</i>	○	○	○
		ムネホソアリ <i>Temnothorax congruus</i>			○
		ウメマツアリ <i>Vollenhovia emeryi</i>			○
トノハチ		ヤマトフタスジスズメハチ <i>Discoelius japonicus</i>		○	
		エントツトノハチ <i>Orancistrocerus drewseni</i>			○
		スズメハチ <i>Oreumenes decoratus</i>			○
		キオビチビトノハチ <i>Stenodynerus frauenfeldi</i>			○
スズメハチ		ムモンホリアシナガハチ <i>Parapolybia indica indica</i>		○	○
		キホシアシナガハチ <i>Polistes nipponensis</i>		○	○
		コアシナガハチ <i>Polistes snelleni</i>			○
		オオスズメハチ <i>Vespa mandarinia</i>	○	○	
		キロスズメハチ <i>Vespa simillima</i>		○	
		クロスズメハチ <i>Vespula flaviceps</i>	○		
ヘッコウハチ		オオモンクロヘッコウ <i>Anoplius samariensis</i>			○
		ヘッコウハチ科の一種 <i>Pompilidae</i> sp.		○	
アリハチ		ヤマトアリハチモドキ <i>Myrmosa nigrofasciata</i>			○
ツチハチ		キンケハラナガツチハチ <i>Megacampsomeris prismatica</i>			○
		キオビツチハチ <i>Scolia oculata</i>			○
キンケツチハチ		キンケツチハチ科の一種 <i>Crabronidae</i> sp.	○	○	
トノハチモドキ		トノハチモドキ科の一種 <i>Nyssonidae</i> sp.		○	
アナハチ		サトシガハチ <i>Ammophila sabulosa nipponica</i>			○
		ミカトシガハチ <i>Hoplammophila aemulans</i>			○
		アナハチ科の一種 <i>Sphecidae</i> sp.			○
ヒメアナハチ		<i>Andrena</i> 属の一種 <i>Andrena</i> sp.		○	
ミツハチ		ニホンミツハチ <i>Apis cerana japonica</i>			○
		セイヨウミツハチ <i>Apis mellifera</i>	○	○	○
		コマルハナハチ <i>Bombus ardens ardens</i>		○	○
		トラマルハナハチ <i>Bombus diversus diversus</i>	○		○
		ヤマトツヤハナハチ <i>Ceratina japonica</i>			○
		<i>Ceratina</i> 属の一種 <i>Ceratina</i> sp.		○	
		<i>Nomada</i> 属の一種 <i>Nomada</i> sp.		○	
		キムネクマハチ <i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>		○	○
コハナハチ		アカネコハナハチ <i>Halictus aerarius</i>			○
		サビイロカコハナハチ <i>Lasioglossum mutilum</i>			○
		<i>Lasioglossum</i> 属の一種 <i>Lasioglossum</i> sp.		○	
		<i>Sphecodes</i> 属の一種 <i>Sphecodes</i> sp.		○	○
ハキリハチ		ツルカハキリハチ <i>Megachile tsurugensis</i>			○
15目	160科	617種	85種	351種	351種

注) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト [平成24年度版]」に準拠した。

土壌動物時期別確認種一覧 (1)

No.	目 名	科 名	種 名	学 名	H14～H15		
					春季	夏季	秋季
1	ウズムシ目	コウガイビル科	クロイロコウガイビル	<i>Bipalium fuscatum</i>	○		
2	ニナ目	ヤマタニシ科	ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i>		○	○
3	マイマイ目	ナタネガイ科	ハリマナタネ近似種	<i>Punctum</i> sp. cf. <i>japonicum</i>			○
4		ベッコウマイマイ科	ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidium</i>		○	○
5			キビガイ	<i>Gastrodонтella multivolvris</i>			○
6			キヌツヤベッコウ類似属の一種	<i>Nipponochlamys?</i> sp.			○
7			ハリマキ近似種	<i>Parakaliella</i> sp. cf. <i>harimensis</i>			○
8			コンダカシタラ	<i>Coneuplecta circumcincta</i>		○	○
9			オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>			○
10	ダニ目	ウデナガダニ科	ウデナガダニ属の一種	<i>Podocin</i> sp.	○		
11		-	トゲダニ亜目の一種	<i>Mesostigmata</i> sp.	○		
12		ホコダニ科	ホコダニ科の一種	<i>Parholaspidae</i> gen. et sp.	○		
13		ナガヒシダニ科	ナガヒシダニ科の一種	<i>Stigmaeidae</i> gen. et sp.	○		
14		ナミケダニ科	ナミケダニ科の一種	<i>Trombidiidae</i> gen. et sp.	○		
15		-	ケダニ亜目の一種	<i>Prostigmata</i> sp.	○		
16		ニセイレコダニ科	ニセイレコダニ	<i>Mesoplophora japonica</i>		○	○
17		イレコダニ科	イレコダニ科の一種	<i>Phthiracaridae</i> et al. sp.		○	
18			クゴウイレコダニ	<i>Plonaphacarus kugohi</i>		○	○
19		タテイレコダニ科	タテイレコダニ科の一種 1	<i>Oribotritiidae</i> et al. sp.1		○	
20			タテイレコダニ科の一種 2	<i>Oribotritiidae</i> et al. sp.2		○	○
21		ヘソイレコダニ科	ヒメヘソイレコダニ	<i>Rhysotritia ardua</i>	○	○	○
22		ヒワダニ科	フトガナガヒワダニ	<i>Eohypochthonius crassisetiger</i>		○	○
23		ダルマヒワダニ科	カゴメダルマヒワダニ	<i>Brachychthonius jugatus</i>		○	
24		マイコダニ科	マイコダニ	<i>Pterochthonius angelus</i>		○	○
25		ツツハラダニ科	フトツツハラダニ	<i>Mixacarus exilis exilis</i>		○	
26			ケブカツツハラダニ	<i>Vepracarus hirsutus</i>		○	○
27		トノサマダニ科	キョジンダニ	<i>Apolohmannia gigantea</i>	○	○	○
28		ハラミソダニ科	ヒメイブリダニ	<i>Epilohmannoides esulcatus</i>			○
29			ハラミソダニ科の一種	<i>Epilohmanniidae</i> et al. sp.	○		○
30		アミメオニダニ科	ハナビラオニダニ	<i>Nothrus biciliatus</i>		○	○
31			ヨコズナオニダニ	<i>Nothrus palustris</i>		○	○
32		モンツキダニ科	モンツキダニ	<i>Trhypochthonius tectorum</i>		○	○
33		ツキノワダニ科	オバケツキノワダニ	<i>Meistermannia hirsuta</i>		○	○
34			ツキノワダニ	<i>Nanhermannia nana nana</i>		○	○
35			ホソツキノワダニ	<i>Nipponohermannia parallela</i>		○	○
36		ドビンダニ科	フサゲドビンダニ	<i>Hermanniella aristosa</i>		○	○
37		ウズタカダニ科	ウズタカダニ科の一種	<i>Liodidae</i> et al. sp.		○	
38		ツノジュズダニ科	オニジュズダニ	<i>Epidamaeus grandjeani</i>		○	○
39			ツリバリジュズダニ	<i>Acanthobelba tortuosa</i>			○
40		イチモンジダニ科	イチモンジダニ	<i>Eremulus avenifer</i>		○	
41		クモスケダニ科	ヤマトクモスケダニ	<i>Eremobelba japonica</i>		○	○
42			コガタクモスケダニ	<i>Eremobelba minuta</i>		○	○
43		エリナシダニ科	<i>Defectamerus</i> 属の一種	<i>Defectamerus</i> sp.	○	○	○
44		モリダニ科	ホソダニ	<i>Eremaeus tenuisetiger</i>			○
45		ツヤタマゴダニ科	ホウセキタマゴダニ	<i>Li acar</i> sp. <i>gammat</i>		○	
46			ツヤタマゴダニ	<i>Li acar</i> sp. <i>orthogonios</i>		○	○
47		ダルマタマゴダニ科	マルタマゴダニ	<i>Cultrotrubula lata</i>			○
48		セマルダニ科	ミナミリキシダニ	<i>Austroceratopopia japonica</i>		○	○
49			ヒメリキシダニ	<i>Ceratopopia quadridentata</i>		○	○
50		イブシダニ科	ナカタマリイブシダニ	<i>Archeogoepeus nakatamarii</i>			○
51			コガタイブシダニ	<i>Carabodes penicillatus</i>			○
52			ヒビワレイブシダニ	<i>Carabodes rimosus rimosus</i>		○	○
53		クワガタダニ科	トゲクワガタダニ	<i>Tectocephus cuspidatus</i>		○	○
54			クワガタダニ	<i>Tectocephus velatus</i>		○	○
55		イカダニ科	ヤマトオオイカダニ	<i>Megalotocephus japonicus japonicus</i>			○
56		ツブダニ科	タモウツブダニ	<i>Multiopopia brevipectinata</i>		○	○
57			ヒロズツブダニ	<i>Operculopopia restata</i>		○	○
58			ナミツブダニ	<i>Oppiella nova</i>		○	○
59			ハラダツブダニ	<i>Machuelia ventrisetosa</i>			○
60			トウキョウツブダニ	<i>Ramusella chulmaniensis</i>			○
61			ツブダニ科の一種 1	<i>Oppiidae</i> et al. sp. 1		○	
62			ツブダニ科の一種 2	<i>Oppiidae</i> et al. sp. 2		○	○
63			ツブダニ科の一種 3	<i>Oppiidae</i> et al. sp. 3			○
64		マドダニ科	コノハマダニ	<i>Suctobelbella frondosa</i>			○
65			ナギナタマドダニ	<i>Suctobelbella naginata</i>		○	○
66			マドダニ科の一種 1	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 1		○	
67			マドダニ科の一種 2	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 2		○	
68			マドダニ科の一種 3	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 3		○	
69			マドダニ科の一種 4	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 4			○
70			マドダニ科の一種 5	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 5			○
71			マドダニ科の一種 6	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 6			○
72			マドダニ科の一種 7	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 7		○	
73			マドダニ科の一種 8	<i>Suctobelbidae</i> et al. sp. 8			○
74		シダレコソデダニ科	ナガコソデダニ	<i>Xylobates lophotrachus</i>		○	
75			ハコネナガコソデダニ	<i>Protoribates hakonensis</i>		○	○
76		コソデダニ科	ツノコソデダニ	<i>Rostrozetes foveolatus</i>		○	○
77		コバネダニ科	ヤマトコバネダニ	<i>Ceratozetes japonicus</i>		○	○
78			コバネダニ科の一種	<i>Ceratozetidae</i> et al. sp.		○	
79		マルコバネダニ科	エビスダニ	<i>Unguizetes clavatus</i>			○
80		エンマダニ科	エンマダニ	<i>Eupelops acromios</i>		○	
81		フリソデダニ科	アラゲフリソデダニ	<i>Pergalumna intermedia</i>			○
82			ミズフリソデダニ	<i>Trichogalumna nipponica</i>			○
83	クモ目	カネコタテグモ科	カネコタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i>			○
84		ガケジグモ科	アズマヤチグモ	<i>Coelotes kitazawai</i>			○

土壌動物時期別確認種一覧 (2)

No.	目 名	科 名	種 名	学 名	H14～H15		
					春季	夏季	秋季
85		ウズグモ科	オウギグモ	<i>Hyptiotes affinis</i>		○	
86			カタハリウズグモ	<i>Octonoba sybotides</i>			○
87		タマゴグモ科	アカハネグモ	<i>Orchestina sanguinea</i>			○
88		マシラグモ科	マシラグモ属の一種	<i>Leptoneta</i> sp.A			○
89		ヒメグモ科	オガタモリヒメグモ	<i>Robertus ogatai</i>		○	○
90			キベリミジグモ	<i>Trigonobothrys flavomarginata</i>		○	○
91		サラグモ科	タテヤマテナガグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>		○	
92			ヤマトマルサラグモ	<i>Centromerus nipponicus</i>			○
93			コサラグモ亜科の一種	<i>Erigoninae</i> gen. et sp.A		○	○
94			コサラグモ亜科の一種	<i>Erigoninae</i> gen. et sp.8		○	
95			カイケシグモ	<i>Nippononeta kaiensis</i>			○
96			イマダテテングスカグモ	<i>Oia imadatei</i>		○	○
97			コテングスカグモ	<i>Paikiniina vulgaris</i>			○
98			ヒロテゴマグモ	<i>Pseudomicrargus latitegulus</i>			○
99			フタエツノスカグモ	<i>Walckenaeria keikoe</i>			○
100		センシヨウグモ科	センシヨウグモ	<i>Ero japonica</i>		○	○
101		コガネグモ科	ヨツデゴミグモ	<i>Cyclosa sedeculata</i>			○
102		タナグモ科	タナグモ科の一種	<i>Agelenidae</i> gen. et sp.A			○
103			ナミハグモ属の一種	<i>Cybaeus</i> sp.A		○	○
104		ハタケグモ科	ハタケグモ	<i>Hahnica corticicola</i>		○	○
105		フクログモ科	イタチグモ	<i>Itatsina praticola</i>		○	○
106			コムラウラシマグモ	<i>Phrurolithus komurai</i>		○	
107		ワシグモ科	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.A		○	
108			ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.B		○	○
109		カニグモ科	ニッポンオチバカニグモ	<i>Ozyptila nipponica</i>		○	
110	カニシ目	ツチカニシ科	<i>Mundochthonius</i> 属の一種	<i>Mundochthonius</i> sp.	○	○	○
111			<i>Allochthonius</i> 属の一種	<i>Allochthonius</i> sp.		○	
112		コケカニシ科	チビコケカニシ	<i>Microbisium pygmaeum</i>			○
113		ヤドリカニシ科	モリヤドリカニシ	<i>Allochernes japonicus</i>		○	
114	ワラジムシ目	フナムシ科	ニホンシメフナムシ	<i>Ligidium japonicum</i>		○	○
115		ナガワラジムシ科	ナガワラジムシ	<i>Haplophthalms danicus</i>		○	○
116		オカダンゴムシ科	オカダンゴムシ	<i>Armadillidium vulgare</i>		○	
117		コシビロダンゴムシ科	トウキョウコシビロダンゴムシ	<i>Sphaerillio obscurus</i>		○	○
118		-	ワラジムシ目の一種	ISOPODA sp.	○		
119	エダヒゲムシ目	ヨロイエダヒゲムシ科	ニホンヨロイエダヒゲムシ	<i>Eurypauropus japonicus</i>		○	
120		ウロコエダヒゲムシ科	アミメウロコエダヒゲムシ	<i>Aletopauropus tanakai</i>		○	
121			<i>Brachypauropoides</i> 属の一種Th1	<i>Brachypauropoides</i> sp.Th1		○	○
122			ヘラウロコエダヒゲムシ	<i>Deltopauropus reticulatus</i>		○	
123		エダヒゲムシ科	スルメナミエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Allopaupopus) loligoformis</i>		○	○
124			イバラキホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) ibarakiensis</i>		○	
125			ナミケホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) infurcatus</i>			○
126			フツウホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) ligulosus</i>		○	○
127			ニセチョウセンホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) pseudokoreanus</i>		○	
128			ヨツエダホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) tetraramosus</i>		○	
129			サトウホンエダヒゲムシ	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) toshiyukii</i>		○	
130			ナミエダヒゲムシ属ホンエダヒゲムシ亜属の一種T o 2	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) sp.To2</i>		○	
131			ナミエダヒゲムシ属ホンエダヒゲムシ亜属の一種T o 1 7	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) sp.To17</i>		○	
132			ナミエダヒゲムシ属ホンエダヒゲムシ亜属の一種T o 5	<i>Allopaupopus (Decapaupopus) sp.To5</i>		○	
133			タムラエダヒゲムシ	<i>Pauropus tamurai</i>		○	
134			エダヒゲムシ属の一種T o 3	<i>Pauropus</i> sp.To3		○	
135			ミゾエナガエダヒゲムシ	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) canaliculatus</i>		○	
136			エナガエダヒゲムシ ("b" 型)	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) pedunculatus, "b" type</i>		○	
137			エナガエダヒゲムシ属ドンゼロエダヒゲムシ亜属の一種T o 1	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) sp.To1</i>		○	
138			エナガエダヒゲムシ属ドンゼロエダヒゲムシ亜属の一種T o 2	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) sp.To2</i>		○	
139			エナガエダヒゲムシ属ドンゼロエダヒゲムシ亜属の一種T h 3	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) sp.Th3</i>		○	
140			ケナガドンゼロエダヒゲムシ	<i>Stylopauropus (Stylopauropus) undulatus</i>		○	
141			ニホンフイリエダヒゲムシ	<i>Colinauropus schelleri</i>		○	○
142	タマヤスデ目	タマヤスデ科	タマヤスデ属の一種	<i>Hyleoglomeris</i> sp.			○
143	ヒメヤスデ目	ヒメヤスデ科	フジヤスデ属の一種	<i>Anaulaciulus</i> sp.		○	○
144	ツムギヤスデ目	ミコシヤスデ科	ミコシヤスデ属の一種	<i>Diplomaragna</i> sp.		○	
145	オビヤスデ目	ヤケヤスデ科	ヤマトアカヤスデ	<i>Nedyopus patrioticus patrioticus</i>			○
146			アカヤスデ属の一種	<i>Nedyopus</i> sp.		○	
147		オビヤスデ科	ノコギリヤスデ属の一種	<i>Prionomatis</i> sp.		○	○
148		タメトモヤスデ科	ウチカケヤスデ	<i>Eucondylodesmus elegans</i>		○	○
149		チビヤスデ科	チビヤスデ属の一種	<i>Corypholophus</i> sp.		○	
150		ハガヤスデ科	ハガヤスデ	<i>Ampelodesmus granulatus</i>		○	○
151	イシムカデ目	イシムカデ科	ダテイッスンムカデ	<i>Bothropyls acutidens</i>		○	○
152			タカヒトフシムカデ	<i>Monotarsobius takakuwai</i>			○
153			ダイダイヒトフシムカデ	<i>Monotarsobius elegans</i>		○	○
154			タカハギヒトフシムカデ	<i>Monotarsobius takahagiensis</i>			○
155			ヒトフシムカデ属の一種	<i>Monotarsobius</i> sp. (1)		○	○
156			ヒトフシムカデ属の一種	<i>Monotarsobius</i> sp. (2)		○	○
157			ヒトフシムカデ属の一種	<i>Monotarsobius</i> sp. (3)		○	
158			ヒトフシムカデ属の数種	<i>Monotarsobius</i> spp.		○	○
159		トゲイシムカデ科	ゲジムカデ	<i>Esasutigmatobius japonicus</i>		○	○
160	オオムカデ目	メナシムカデ科	ヨスミアカムカデ	<i>Scolopocryptops quadristriatus</i>		○	○
161	ジムカデ目	ナガスズジムカデ科	ツメジムカデ	<i>Prolamonyx holstii</i>	○	○	○
162		ツチジムカデ科	ヤマトベニジムカデ	<i>Strigamia maritima japonica</i>		○	○
163			キヨスミベニジムカデ	<i>Strigamia platydentata</i>			○
164			ヒトアナベニジムカデ	<i>Strigamia monopus</i>		○	
165			ホソツメベニジムカデ	<i>Strigamia tenuiungulata</i>			○
166			ベニジムカデ属の一種	<i>Strigamia</i> sp.		○	○
167			ツメナシミドリジムカデ	<i>Cheiletha macropalpus</i>		○	○
168			ミドリジムカデ	<i>Cheiletha viridicans</i>		○	○

土壌動物時期別確認種一覧 (3)

No.	目 名	科 名	種 名	学 名	H14～H15		
					春季	夏季	秋季
169	コムカデ目	ヤサコムカデ科	ヤサコムカデ	<i>Symphyrella vulgaris</i>		○	○
170		ナミコムカデ科	ナミコムカデ	<i>Hanseniella caldaria</i>		○	○
171	トビムシ目	ヒメトビムシ科	ヒラタトビムシ	<i>Choreutinura inermis</i>			○
172			ヒメトビムシ	<i>Hypogastrura communis</i>	○	○	○
173			カッショクヒメトビムシ	<i>Hypogastrura denisana</i>		○	○
174			ムラサキトビムシ属の一種	<i>Hypogastrura</i> sp.1		○	
175			ムラサキトビムシ属の一種	<i>Hypogastrura</i> sp.2		○	○
176			キノボリヒラタトビムシ	<i>Xenylla brevispina</i>		○	○
177			ヒメトビムシ科の一種	<i>Hypogastruridae</i> gen. et sp.	○		
178		イボトビムシ科	ヤマトシリトゲトビムシ	<i>Friesea japonica</i>			○
179			ケナガヤマトビムシ	<i>Pseudachorutes longisetis</i>		○	○
180			ヤマトビムシ属の一種	<i>Pseudachorutes</i> sp.1		○	○
181			ツクバヒシガタトビムシ	<i>Superodontella tukuba</i>		○	
182			ヒシガタトビムシ属の一種 (1)	<i>Superodontella</i> sp.1		○	○
183			アカイボトビムシ属の一種 (1)	<i>Lobella</i> sp.1		○	○
184			アカイボトビムシ属の一種 (2)	<i>Lobella</i> sp.2		○	○
185			アカイボトビムシ属の一種 (3)	<i>Lobella</i> sp.3		○	○
186			アカイボトビムシ属の一種 (4)	<i>Lobella</i> sp.4		○	○
187			キボシアオイボトビムシ	<i>Morulina gilvipunctata</i>		○	
188			ヤマトアオイボトビムシ	<i>Morulina orientis</i>		○	○
189			キリハイボトビムシ	<i>Neanura fodinarum</i>		○	○
190			アオジロイボトビムシ	<i>Neanura frigida</i>		○	
191			チビアミイボトビムシ	<i>Vitronura pygmaea</i>		○	
192		シロトビムシ科	ヤマシロトビムシ	<i>Onychiurus flavescens</i>		○	○
193			シロトビムシ属の一種	<i>Onychiurus</i> sp.1			○
194			ヨシイホソシロトビムシ	<i>Tullbergia yosii</i>		○	○
195		ツチトビムシ科	ミズギワトビムシ属の一種	<i>Ballistura</i> sp.1		○	○
196			コガタドウナガツチトビムシ	<i>Folsomides parvurus</i>		○	○
197			オオフォルソムトビムシ	<i>Folsomia candida</i>		○	○
198			ナミフォルソムトビムシ	<i>Folsomia diplophthalma</i>		○	○
199			ヤツメフォルソムトビムシ	<i>Folsomia octoculata</i>		○	○
200			ヒメフォルソムトビムシ	<i>Folsomia onychiurina</i>		○	○
201			メナシツチトビムシ	<i>Isotomiella minor</i>		○	○
202			シロツチトビムシ	<i>Isotoma carpenteri</i>		○	○
203			ミズフシトビムシ	<i>Isotoma pinnata</i>			○
204			ミツハツチトビムシ	<i>Isotoma trispinata</i>		○	○
205			ミドリトビムシ	<i>Isotoma viridis</i>			○
206			ツチトビムシ属の一種 (1)	<i>Isotoma</i> sp.1			○
207		トゲトビムシ科	アオキヒメトゲトビムシ	<i>Tomocerus aokii</i>		○	
208			ヒメトゲトビムシ	<i>Tomocerus varius</i>		○	○
209			キノシタトゲトビムシ	<i>Tomocerus kinoshitai</i>		○	○
210			トゲトビムシ	<i>Tomocerus ocreatus</i>	○	○	
211		アヤトビムシ科	ユキアヤトビムシ	<i>Entomobrya nivalis</i>		○	
212			アヤトビムシ属の一種	<i>Entomobrya</i> sp.1		○	○
213			クチヒゲトゲアヤトビムシ	<i>Homidia munda</i>		○	○
214			クロツアヤトビムシ	<i>Homidia nigrocephala</i>		○	○
215			ザウテルアヤトビムシ	<i>Homidia sauteri</i>		○	○
216			アイイロハゴロモトビムシ	<i>Lepidocyrtus cyaneus</i>		○	○
217			ハゴロモトビムシ属の一種	<i>Lepidocyrtus</i> sp.1		○	○
218			メナシカギツメトビムシの近似種	<i>Sinella</i> cf. <i>caeca</i>			○
219			ユミメカギツメアヤトビムシ	<i>Sinella cruvisea</i>		○	○
220			カギツメアヤトビムシ属の一種 (1)	<i>Sinella</i> sp.1		○	
221		ウスギヌトビムシ科	ヨシイキヌトビムシ	<i>Oncopodura yosiiana</i>	○	○	○
222		ミジントビムシ科	ケシトビムシ	<i>Megalothorax minimus</i>		○	
223			ミジントビムシ	<i>Neelides minutus</i>		○	
224			ミジントビムシの一種	<i>Neels murinus</i>		○	
225		マルトビムシ科	ハバマルトビムシ	<i>Arrhopalites habeii</i>		○	
226			ヤマトヒトツメマルトビムシ	<i>Arrhopalites japonicus</i>		○	
227			オオツノヒトツメマルトビムシ	<i>Arrhopalites octacanthus</i>		○	○
228			ヒトツメマルトビムシ属の一種 (1)	<i>Arrhopalites</i> sp.1		○	
229			ヒトツメマルトビムシ属の一種 (2)	<i>Arrhopalites</i> sp.2		○	
230			オウギマルトビムシ	<i>Neosminthurus mirabilis</i>		○	○
231			モンツキヒメマルトビムシ	<i>Sminthurinus trinotatus</i>		○	
232			フチドリマルトビムシ	<i>Sminthurinus modestus</i>		○	○
233			ナミマルトビムシ	<i>Sminthurus serrulatus</i>			○
234			ヒメオドリコトビムシの一種	<i>Sphaeridia pumilis</i>			○
235			オニマルトビムシ	<i>Sphyrotheca multifasciata</i>		○	
236			ハケヅメマルトビムシ	<i>Papirinus prodigiosus</i>			○
237			アカマダラマルトビムシ	<i>Ptenothrix janthina</i>		○	○
238			マルトビムシ科の一種	<i>Sminthuridae</i> gen. et sp.	○		
239	コウチュウ目	オサムシ科	コクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus melantho</i>		○	
240			コクロヒメゴモクムシ	<i>Bradycellus subditus</i>			○
241			クロズホナシゴミムシ	<i>Perigona nigriceps</i>		○	○
242			ミヤマジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia sylvarum</i>			○
243		エンマムシ科	エンマムシ科の一種	<i>Histeridae</i> gen. et sp.			○
244		ムクゲキノコムシ科	ムクゲキノコムシ科の数種	<i>Ptiliidae</i> gen. et spp.		○	○
245		タマキノコムシ科	タマキノコムシ科の数種	<i>Leiodidae</i> gen. et spp.	○	○	○
246		ハネカクシ科	ハネカクシ科の数種	<i>Staphylinidae</i> gen. et spp.	○	○	○
247		アリヅカムシ科	コヤマトヒゲブトアリヅカムシ	<i>Diartiger fossulatus</i>			○
248			アリヅカムシ科の数種	<i>Pselaphidae</i> gen. et spp.	○	○	○
249		コケムシ科	コケムシ科の数種	<i>Scydmaenidae</i> gen. et spp.		○	○
250		デオキノコムシ科	デオキノコムシ科の一種	<i>Scaphidiidae</i> gen. et sp.			○
251		コガネムシ科	マメダルマコガネ	<i>Panelus parvulus</i>			○
252			コガネムシ科の一種	<i>Scarabaeidae</i> gen. et sp.			○

土壌動物時期別確認種一覧 (4)

No.	目 名	科 名	種 名	学 名	H14～H15		
					春季	夏季	秋季
253		タマムシ科	タマムシ科の数種	Buprestidae gen. et spp.			○
254		ケシキスイ科	ケシキスイ科の一種	Nitidulidae gen. et sp.			○
255		ヒメキノコムシ科	ヒメキノコムシ科の一種	Sphindidae gen. et sp.			○
256		コメツキモドキ科	コメツキモドキ科の数種	Languriidae gen. et spp.		○	○
257		オオキノコムシ科	オオキノコムシ科の数種	Erotylidae gen. et spp.		○	○
258		ミジンムシ科	ミジンムシ科の一種	Corylophidae gen. et sp.	○		
259		テントウムシダマシ科	テントウムシダマシ科の一種	Endomychidae gen. et sp.		○	
260		ミジンムシダマシ科	ミジンムシダマシ科の数種	Discolomidae gen. et spp.		○	○
261		ホソカタムシ科	ツヤナガヒラタホソカタムシ	<i>Penthelispa vilis</i>		○	
262		ツツキノコムシ科	ツツキノコムシ科の一種	Ciidae gen. et sp.	○		
263		ゴミムシダマシ科	ゴミムシダマシ科の数種	Tenebrionidae gen. et spp.		○	○
264		ゾウムシ科	ゾウムシ科の数種	Curculionidae gen. et spp.		○	○
265		キクイムシ科	キクイムシ科の一種	Scolytidae gen. et sp.	○		○
266	カマアシムシ目	カマアシムシ科	アサヒカマアシムシ	<i>Eosentomon asahi</i>		○	○
267			オオカマアシムシ	<i>Eosentomon asakawaense</i>		○	○
268			カマアシムシ	<i>Eosentomon sakura</i>		○	○
269			ウダガワカマアシムシの近似種	<i>Eosentomon</i> sp. cf. <i>udagawai</i>		○	
270			カマアシムシ属の一種	<i>Eosentomon</i> sp.	○	○	○
271			サトカマアシムシ	<i>Paranisentomon tuxeni</i>		○	○
272		クシカマアシムシ科	ミスジカマアシムシ	<i>Acerentulus kisonis</i>		○	○
273			モリカワカマアシムシ	<i>Baculentulus morikawai</i>		○	○
274			トサカマアシムシ	<i>Baculentulus tosanus</i>		○	○
275			モリカワカマアシムシ属の一種	<i>Baculentulus</i> sp.			○
276			フタフシカマアシムシ	<i>Kenyentulus japonicus</i>		○	○
277			フタフシカマアシムシ属の一種	<i>Kenyentulus</i> sp.		○	○
278			トウゴクカマアシムシ	<i>Filientomon gentaroanum</i>		○	○
279			ヨシイムシ	<i>Nipponenotmon nippon</i>		○	○
280			ウエノカマアシムシ	<i>Nipponenotmon uenoi paucisetosum</i>		○	○
281	コムシ目	ナガコムシ科	イシイナガコムシ属の一種	<i>Campodea</i> sp.		○	
282	カメムシ目	ハマカイガラムシ科	ハマカイガラムシ科の一種	Orthetziidae gen. et sp.	○		
283		コナカイガラムシ科	コナカイガラムシ科の一種	Pseudococcidae gen. et sp.	○		
284	ハチ目	アリ科	ノコギリハリアリ	<i>Amblyopone silvestrii</i>			○
285			オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>		○	○
286			メクラハリアリ	<i>Cryptopone sauteri</i>		○	○
287			ニセハリアリ	<i>Hypoponera sauteri</i>	○	○	○
288			テラニシハリアリ	<i>Ponera scabra</i>		○	○
289			ツチクビレハリアリ	<i>Cerapachys humicola</i>		○	
290			キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>			○
291			キイロヒメアリ	<i>Monomorium triviale</i>		○	
292			カドフシアリ	<i>Monomorium graminicola</i>			○
293			コツノアリ	<i>Oligomyrmex yamatonis</i>		○	○
294			ヒラタウロコアリ	<i>Pentastruma canina</i>		○	○
295			ノコバウロコアリ	<i>Smithistruma incerta</i>		○	
296			キタウロコアリ	<i>Strumigenys</i> sp. 4		○	○
297			ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica</i> spp.			○
298			クサアリモドキ	<i>Lasius spathepus</i>		○	○
299			ハヤシケアリ	<i>Lasius hayashi</i>		○	
300			トビイロケアリ	<i>Lasius niger</i>		○	○
301			アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>		○	○
302	ハエ目	ニセケバエ科	ニセケバエ科の一種	Scatopsidae gen. et sp.	○		
303		タマバエ科	タマバエ科の一種	Cecidomyiidae gen. et sp.	○		
	23目	120科	303種		31	217	213

注) 「～の一種」は1種として集計している。

魚類生息確認種一覧（H25～26）

No.	目名	科名	種名（和名、学名）	備中沢				池	
				秋	冬	春	夏	春	夏
1	コイ	コイ	キンブナ <i>Carassius auratus</i> subsp. 2						○
2			カワムツ <i>Zacco temminckii</i>	○	○	○	○		
3			アブラハヤ <i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	○	○	○	○		
4		ドジョウ	ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○	○	○	○		○
5			シマドジョウ <i>Cobitis biwae</i>	○	○	○	○		
6			ホトケドジョウ <i>Lefua echigonia</i>	○	○	○	○		
	1目	2科	6種	5種	5種	5種	5種	0種	2種

底生生物生息確認種一覧(1)

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度					聞き取り調査
					H14～H15				H17	
					春季	夏季	秋季	冬季	補足	
1	ウズムシ綱	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiaの一種	○					
2			ヒラタウズムシ科	ヒラタウズムシ科の一種		○				
3	マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	カワニナ	○	○	○	○		
4			モノアラガイ科	モノアラガイ科の一種			○			
5	ミミズ綱	イトミミズ目	イトミミズ科	イトミミズ科の一種		○	○			
6			-	ミミズ綱の一種	○			○		
7	ヒル綱	イシビル目	イシビル科	シマイシビル				○		
8				ナミイシビル				○		
9			-	ヒル綱の一種		○	○			
10	コウカク綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	○	○	○	○		
11			イワガニ科	モクズガニ						○
12			サワガニ科	サワガニ	○	○		○		
13	コンチュウ綱	カゲロウ目	フタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ	○					
14				オオフタオカゲロウ					○	
15			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	○		○			
16				ミジカオフタバコカゲロウ	○		○			
17				トビロコカゲロウ	○					
18				フローレンスコカゲロウ	○					
19				サホコカゲロウ			○			
20				コカゲロウ属の一種	○	○	○	○		
21			ヒトリガカゲロウ科	チラカゲロウ	○		○	○		
22			ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ	○					
23				シロタニガワカゲロウ	○	○	○	○		
24				キイロヒラタカゲロウ	○					
25				ユミモンヒラタカゲロウ				○		
26				ナミヒラタカゲロウ				○		
27				エルモンヒラタカゲロウ	○		○			
28				ヒメヒラタカゲロウ			○			
29				サツキヒメヒラタカゲロウ	○		○			
30				ヒメヒラタカゲロウ属の一種			○			
31				ヒラタカゲロウ科の一種			○			
32			トビロカゲロウ科	トグトビロカゲロウ	○					
33				ウエストントビロカゲロウ				○		
34				トビロカゲロウ属の一種			○			
35			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	○			○		
36				モンカゲロウ	○	○	○	○		
37			マダラカゲロウ科	モンカゲロウ属の一種			○			
38				カスタニアマダラカゲロウ				○		
39				オオクママダラカゲロウ				○		
40				オオマダラカゲロウ	○			○		
41				フタマタマダラカゲロウ	○					
42				ヨシノマダラカゲロウ	○					
43				エラブタマダラカゲロウ		○				
44				Ephemereillaの一種	○			○		
45				クシゲマダラカゲロウ		○				
46				アカマダラカゲロウ	○	○	○			
47		トンボ目	モノサシトンボ科	モノサシトンボ			○	○		
48			カワトンボ科	ハグロトンボ	○		○	○		
49				ニシカワトンボ			○			
50				Mnaisの一種	○			○		
51			サナエトンボ科	ヤマサナエ	○		○	○		
52				ダビドサナエ	○			○		
53				オナガサナエ		○				
54				コオニヤンマ	○		○	○		
55				サナエトンボ科の一種	○		○			
56			オニヤンマ科	オニヤンマ	○	○	○	○		
57			ヤンマ科	ミルンヤンマ	○		○	○		
58			エゾトンボ科	コヤマトンボ	○		○	○		
59			-	トンボ目の一種			○			
60		カワゲラ目	ミジカオカワゲラ科	ヤマトミジカオカワゲラ				○		
61			オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属の一種		○				
62			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ属の一種				○		
63				アミメカワゲラ科の一種	○					
64			カワゲラ科	カミムラカワゲラ			○	○		
65				カミムラカワゲラ属の一種			○			
66				ヤマトフタツメカワゲラ	○	○	○	○		
67			-	カワゲラ目の一種			○			

底生生物生息確認種一覧(2)

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度					聞き取り調査
					H14～H15				H17	
					春季	夏季	秋季	冬季	補足	
68	コンチュウ綱	カメムシ目	アメンボ科	オオアメンボ	○					
69				アメンボ	○					
70			コオイムシ科	オオコオイムシ	○		○	○		
71				タガメ		○				
72			タイコウチ科	タイコウチ		○	○	○		
73				ミズカマキリ		○	○	○		
74			マツモムシ科	マツモムシ	○		○	○		
75		アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	○	○		○		
76				ヤマトクロスジヘビトンボ		○		○		
77		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	○			○		
78				クロゲンゴロウ	○		○	○		
79			ガムシ科	ガムシ科の一種		○				
80				ヒゲナガハナノミ属の一種			○			
81			ヒラタドロムシ科	マルヒゲハナノミ属の一種		○				
82				チビヒゲナガハナノミ属の一種	○	○		○		
83				マルヒラタドロムシ属の一種	○			○		
84				ヒラタドロムシ属の一種		○	○			
85			ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科の一種	○	○	○			
86			ナガドロムシ科	ナガドロムシ科の一種			○			
87			ホタル科	ゲンジボタル		○		○		
88		ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属の一種		○	○			
89				<i>Prionocera</i> の一種	○			○		
90				ウスバヒメガガンボ属の一種	○	○	○	○		
91				クロヒメガガンボ属のE B種	○			○		
92				クロヒメガガンボ属のE D種	○			○		
93				クロヒメガガンボ属の一種		○	○			
94			ブユ科	アシマダラブユ属の一種	○			○		
95				ブユ科の一種			○			
96			ユスリカ科	モンユスリカ亜科の一種				○		
97				エリユスリカ亜科の一種	○			○		
98			ナガラエブ科	ユスリカ科の一種		○	○			
99				ナガラエブ属の一種				○		
100				コモンナガラエブ	○	○	○			
101				-			○			
102		トビケラ目	ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の一種			○	○		
103			ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ	○					
104				ツメナガナガレトビケラ			○			
105			ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属の一種		○				
106			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○	○	○	○		
107			クダトビケラ科	キブネクダトビケラ	○					
108				クダトビケラの一種		○				
109			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	○	○	○	○		
110				エチゴシマトビケラ		○				
111				ナカハラシマトビケラ		○				
112				ウルマーシマトビケラ	○	○	○	○		
113				シマトビケラ科の一種			○			
114			トビケラ科	ムラサキトビケラ	○			○		
115			ヒゲナガトビケラ科	クサツミトビケラ属の一種		○				
116			エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ	○		○	○		
117				ニンギョウトビケラ属の一種			○			
118			カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ				○		
119			カクスイトビケラ科	<i>Micrasema</i> の一種				○		
120			-	トビケラ目の一種			○			
	6綱	15目	53科	120種	60種	40種	59種	59種	1種	1種

注) 「～の一種」は1種として集計している。

底生生物地点別確認種一覧（春季）

No.	綱 名	目 名	科 名	種 名	コードラート調査					任意 踏査
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	
1	ウズムシ綱	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	<i>Dugesia</i> の一種				○		
2	マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	カワニナ						○
3	ミミズ綱	－	－	ミミズ綱の一種		○	○			
4	コウカク綱	ワラジ目	ミズムシ科	ミズムシ						○
5		エビ目	サワガニ科	サワガニ						○
6	コンチュウ綱	カゲロウ目	フタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ	○	○	○		○	○
7			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ				○	○	
8				ミジカオフタバコカゲロウ					○	
9				トビイロコカゲロウ	○	○	○		○	
10				フローレンスコカゲロウ				○	○	
11				コカゲロウ属の一種	○	○		○		
12			ヒトリガカゲロウ科	チラカゲロウ					○	○
13			ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ	○			○		
14				シロタニガワカゲロウ			○			○
15				キイロヒラタカゲロウ					○	
16				エルモンヒラタカゲロウ				○	○	○
17				サツキヒメヒラタカゲロウ					○	
18			トビイロカゲロウ科	トゲトビイロカゲロウ	○	○		○		
19			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ		○				○
20				モンカゲロウ						○
21			マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ					○	○
22				フタマタマダラカゲロウ					○	
23				ヨシノマダラカゲロウ				○	○	
24				<i>Ephemerella</i> の一種				○		
25				アカマダラカゲロウ				○		
26		トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ						○
27				<i>Mnais</i> の一種						○
28			サナエトンボ科	ヤマサナエ		○				○
29				ダビドサナエ				○		○
30				コオニヤンマ						○
31				サナエトンボ科の一種					○	
32			オニヤンマ科	オニヤンマ	○	○				○
33			ヤンマ科	ミルンヤンマ						○
34			エゾトンボ科	コヤマトンボ						○
35		カワゲラ目	アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科の一種					○	○
36			カワゲラ科	ヤマトフタツメカワゲラ				○		
37		カメムシ目	アメンボ科	オオアメンボ						○
38				アメンボ						○
39			コオイムシ科	オオコオイムシ						○
40			マツモムシ科	マツモムシ						○
41		アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ						○
42		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ						○
43				クロゲンゴロウ						○
44			ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ属の一種				○		
45				マルヒラタドロムシ属の一種					○	
46			ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科の一種	○			○		
47		ハエ目	ガガンボ科	<i>Prionocera</i> の一種						○
48				ウスバヒメガガンボ属の一種				○	○	
49				クロヒメガガンボ属のEB種				○	○	
50				クロヒメガガンボ属のED種	○			○	○	
51			ブユ科	アシマダラブユ属の一種	○					
52			ユスリカ科	エリユスリカ亜科の一種	○	○	○	○	○	
53			ナガレアブ科	コモンナガレアブ	○	○				
54		トビケラ目	ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ				○		
55			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ			○		○	○
56			クダトビケラ科	キブネクダトビケラ				○		
57			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ			○	○	○	
58				ウルマーシマトビケラ				○	○	
59			トビケラ科	ムラサキトビケラ						○
60			エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ			○			
5綱					11種	10種	8種	22種	22種	29種

注) 「～の一種」は1種として集計している。

底生生物地点別確認種一覧（夏季）

No.	綱 名	目 名	科 名	種 名	コドラート調査					任意 踏査	
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5		
1	ウズムシ綱	ウズムシ目	ヒラタウズムシ科	ヒラタウズムシ科の一種	○						
2	マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	カワニナ			○			○	
3	ミミズ綱	イトミミズ目	イトミミズ科	イトミミズ科の一種	○				○		
4	ヒル綱	—	—	ヒル綱の一種					○		
5	コウカク綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ						○	
6		エビ目	サワガニ科	サワガニ						○	
7	コンチュウ綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属の一種	○	○		○	○		
8			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ					○		
9			モンカゲロウ科	モンカゲロウ			○				
10			マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ			○		○		
11				クシゲマダラカゲロウ				○	○		
12				アカマダラカゲロウ				○		○	
13		トンボ目	サナエトンボ科	オナガサナエ				○			
14			オニヤンマ科	オニヤンマ						○	
15		カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属の一種	○	○			○		
16			カワゲラ科	ヤマトフタツメカワゲラ		○					
17		カメムシ目	コオイムシ科	タガメ						○	
18			タイコウチ科	タイコウチ						○	
19				ミズカマキリ						○	
20		アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ				○			
21				ヤマトクロスジヘビトンボ						○	
22		コウチュウ目	ガムシ科	ガムシ科の一種						○	
23			ヒラタドロムシ科	マルヒゲハナノミ属の一種						○	
24				チビヒゲハナノミ属の一種			○				
25				ヒラタドロムシ属の一種					○		
26			ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科の一種				○	○		
27			ホタル科	ゲンジボタル						○	○
28		ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属の一種	○					○	
29				ウスバヒメガガンボ属の一種	○			○	○		
30				クロヒメガガンボ属の一種	○					○	
31			ユスリカ科	ユスリカ科の一種	○	○	○	○	○		
32			ナガレアブ科	コモンナガレアブ				○			
33		トビケラ目	ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属の一種						○	
34			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ				○	○		
35			クダトビケラ科	クダトビケラ科の一種					○	○	
36			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	○	○	○	○	○	○	
37				エチゴシマトビケラ						○	
38				ナカハラシマトビケラ						○	
39				ウルマーシマトビケラ					○	○	
40			ヒゲナガトビケラ科	クサツミトビケラ属の一種						○	
		6綱	13目	28科	40種	9種	5種	10種	11種	23種	9種

注) 「～の一種」は1種として集計している。

底生生物地点別確認種一覧（秋季）

No.	綱 名	目 名	科 名	種 名	コドラート調査					任意 踏査
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	
1	マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	カワニナ						○
2		モノアラガイ目	モノアラガイ科	モノアラガイ科の一種						○
3	ミミズ綱	イトミミズ目	イトミミズ科	イトミミズ科の一種	○					
4	ヒル綱	—	—	ヒル綱の一種						○
5	コウカク綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	○					
6	コンチュウ綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ					○	
7				ミジカオフタバコカゲロウ					○	
8				サホコカゲロウ		○				
9				コカゲロウ属の一種	○	○		○	○	○
10			ヒトリガカゲロウ科	チラカゲロウ				○	○	○
11			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ			○	○	○	○
12				エルモンヒラタカゲロウ				○	○	○
13				ヒメヒラタカゲロウ					○	
14				ヒメヒラタカゲロウ属の一種					○	
15				サツキヒメヒラタカゲロウ				○	○	○
16				ヒラタカゲロウ科の一種					○	
17			トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属の一種		○	○			
18			モンカゲロウ科	モンカゲロウ						○
19				モンカゲロウ属の一種	○					
20			マダラカゲロウ科	アカマダラカゲロウ				○		
21		トンボ目	モノサシトンボ科	モノサシトンボ						○
22			カワトンボ科	ハグロトンボ						○
23				ニシカワトンボ	○					○
24			サナエトンボ科	ヤマサナエ						○
25				コオニヤンマ						○
26				サナエトンボ科の一種					○	○
27			オニヤンマ科	オニヤンマ						○
28			ヤンマ科	ミルンヤンマ						○
29			エゾトンボ科	コヤマトンボ						○
30			—	トンボ目の一種	○					
31		カワゲラ目	カワゲラ科	カミムラカワゲラ					○	
32				カミムラカワゲラ属の一種						○
33				ヤマトフタツメカワゲラ	○	○	○	○		
34			—	カワゲラ目の一種						○
35		カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ						○
36			タイコウチ科	タイコウチ						○
37				ミズカマキリ						○
38			マツモムシ科	マツモムシ						○
39		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ						○
40			ナガハナノミ科	ヒゲナガハナノミ属の一種		○				
41			ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ属の一種					○	
42			ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科の一種	○	○		○		
43			ナガドロムシ科	ナガドロムシ科の一種			○			
44		ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属の一種	○					
45				ウスバヒメガガンボ属の一種				○		○
46				クロヒメガガンボ属の一種	○	○	○	○		○
47			ブユ科	ブユ科の一種		○		○		○
48			ユスリカ科	ユスリカ科の一種	○	○	○	○		
49			ナガレアブ科	コモンナガレアブ	○		○			
50			—	ハエ目の一種			○			
51		トビケラ目	ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の一種				○		
52			ナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ		○				
53			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ				○		○
54			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	○	○	○	○	○	
55				ウルマーシマトビケラ				○	○	○
56				シマトビケラ科の一種					○	
57			エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ						○
58				ニンギョウトビケラ属の一種			○			
59			—	トビケラ目の一種				○		
	5綱	11目	34科	59種	13種	11種	10種	17種	16種	31種

注) 「～の一種」は1種として集計している。

底生生物地点別確認種一覧（冬季）

No.	網 名	目 名	科 名	種 名	コドラート調査					任意 踏査
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	
1	マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	カワニナ	○	○	○	○		○
2	ミミズ綱	—	—	ミミズ綱の一種		○				
3	ヒル綱	イシビル目	イシビル科	シマイシビル					○	
4				ナミイシビル		○	○	○		
5	コウカク綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	○	○	○		○	○
6		エビ目	サワガニ科	サワガニ			○			○
7	コンチュウ綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属の一種			○	○		
8			ヒトリガカゲロウ科	チラカゲロウ			○	○	○	
9			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ			○	○		
10				ユミモンヒラタカゲロウ			○	○		
11				ナミヒラタカゲロウ			○	○	○	○
12			トビイロカゲロウ科	ウエストントビイロカゲロウ		○				
13			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	○					
14				モンカゲロウ	○		○	○	○	
15			マダラカゲロウ科	カスタンアマダラカゲロウ			○	○		
16				オオクママダラカゲロウ				○	○	
17				オオマダラカゲロウ				○	○	
18				<i>Ephemereilla</i> の一種			○	○	○	○
19		トンボ目	モノサシトンボ科	モノサシトンボ		○				
20			カワトンボ科	ハグロトンボ			○			
21				<i>Mnais</i> の一種	○	○				
22			サナエトンボ科	ヤマサナエ	○	○	○	○		
23				ダビドサナエ		○			○	
24				コオニヤンマ				○		
25			オニヤンマ科	オニヤンマ	○	○	○	○	○	○
26			ヤンマ科	ミルンヤンマ	○	○	○		○	
27			エゾトンボ科	コヤマトンボ		○	○	○	○	
28		カワゲラ目	ミジカオカワゲラ科	ヤマトミジカオカワゲラ	○	○	○			
29			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ属の一種					○	
30			カワゲラ科	カミムラカワゲラ					○	
31				ヤマトフタツメカワゲラ	○	○	○		○	
32		カメムシ目	コオイムシ科	オオコオイムシ			○			
33				タガメ						○
34			タイコウチ科	タイコウチ	○					○
35				ミズカマキリ		○	○	○		
36			マツモムシ科	マツモムシ		○				○
37		アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ			○			
38				ヤマトクロスジヘビトンボ	○					
39		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	○		○			
40				クロゲンゴロウ		○				
41			ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ属の一種			○			
42				マルヒラタドロムシ属の一種					○	
43			ホタル科	ゲンジボタル						○
44		ハエ目	ガガンボ科	<i>Prionocera</i> の一種	○	○	○	○		○
45				ウスバヒメガガンボ属の一種				○	○	
46				クロヒメガガンボ属のEB種				○	○	
47				クロヒメガガンボ属のED種	○			○	○	
48			ブユ科	アシマダラブユ属の一種				○		
49			ユスリカ科	モンユスリカ亜科の一種				○		
50				エリユスリカ亜科の一種	○	○	○	○	○	○
51			ナガレアブ科	ナガレアブ属の一種		○				
52		トビケラ目	ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の一種				○		
53			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ			○	○	○	○
54			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ			○	○	○	○
55				ウルマーシマトビケラ			○	○	○	○
56			トビケラ科	ムラサキトビケラ		○	○			
57			エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ					○	
58			カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ				○	○	
59			カクスイトビケラ科	<i>Micrasema</i> の一種			○			
	5綱	12目	37科	59種	16種	21種	31種	29種	25種	15種

注) 「～の一種」は1種として集計している。

底生生物地点別確認種一覧（補足調査）

No.	網 名	目 名	科 名	種 名	コドラート調査				
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
1	コンチュウ綱	カゲロウ目	フタオカゲロウ科	オオフタオカゲロウ	○	○	○		○
	5綱	12目	37科	59種	16種	21種	31種	29種	25種

10. 生態系

10.1	クチナガハバチ類調査結果（H18）	10-1
------	-------------------------	------

10. 生態系

10.1 クチナガハバチ類調査結果

クチナガハバチ類確認状況（旧馬頭町内）

調査 地点	調査日 (平成18年)	確認数 ^{注1}				ネコノメソウ類の 生育状況 ^{注2}
		単位：個体数				
		クチナガハバチ		ヒダクチナガハバチ		
		雄	雌	雄	雌	
15	4月22日				1	ネ：0.3m×0.3m ×1 ヨ：-
17	4月22日			1	1	ネ：1m×1m ×7 ヨ：1m×1m ×1
	5月18日					
18	4月14日		2	2	1	ネ：1m×1m ×1 ヨ：1m×1m ×5
	4月22日			5	4	
	4月28日					
	5月18日					
23	4月14日	2		1		ネ：- ヨ：1m×1m ×7
	4月22日				2	
	4月28日					
27	4月22日			1		ネ：0.5m×0.5m ×3 ヨ：0.1m×0.2m ×2
	4月28日					
	5月10日					
28	4月22日				1	ネ：0.1m×0.1m ×10 ヨ：0.5m×0.3m ×3
	5月18日					
33	4月14日	1	1			ネ：- ヨ：10m×20m ×1
	4月21日					
	5月18日					
44	4月14日				1	ネ：0.3m×0.2m ×1 ヨ：0.4m×0.3m ×3
	5月18日					
48 49	4月14日	7	3	2	1	ネ：点在 ヨ：多数
	4月22日		1	1		
	4月28日					
53	4月21日			1	1	ネ：1.5m×6m ×2 ヨ：0.5m×0.5m ×3
	4月28日					
	5月18日					
58	4月14日	1				ネ：- ヨ：1m×1m ×10
	5月2日					
	5月18日					
67	4月22日	3	4	1		ネ：0.1m×0.1m ×3 ヨ：1m×0.5m ×6
	4月28日					
	5月10日					
合計		14	11	15	13	
		25		28		

注1) 空欄は、クチナガハバチが確認されなかったことを示す。

注2) クチナガハバチ類確認地点におけるネコノメソウ類の生育面積を長辺×短辺×箇所で示す。

「ネ」はネコノメソウ、「ヨ」はヨゴレネコノメを示す。

「-」は、ネコノメソウもしくはヨゴレネコノメが確認されなかったことを示す。

クチナガハバチ類確認状況（事業実施区域内）

調査 地点	調査日 (平成18 年)	確認数 ^{注1}				ネコノメソウ類の 生育状況 ^{注2}
				単位：個体数		
		クチナガハバチ		ヒダクチナガハバチ		
		雄	雌	雄	雌	
E	4月13日			2	1	ネ：0.5m×0.5m ×2 ヨ：沢沿いに小群が点在
	4月14日		1	1	1	
	4月17日		1			
	4月18日			1		
	4月22日		3	2	1	
	4月25日					
	4月28日					
F	4月13日					ネ：点在 ヨ：0.3m×0.3m ×3
	4月14日					
	4月18日					
	4月22日			2	1	
	4月25日					
	4月28日					
H	4月14日					ネ：- ヨ：点在
	4月22日	1				
I	4月15日					ネ：- ヨ：0.1m×0.2m ×2
	4月22日			3		
J	4月22日			3	9	ネ：- ヨ：0.1m×0.3m ×1
L	4月22日				1	ネ：- ヨ：点在
N	4月14日					ネ：点在 ヨ：点在
	4月22日			4	4	
	4月28日					
P	4月13日	2		6	1	ネ：0.1m×0.1m ×5 ヨ：1m×2m ×4
	4月14日					
	4月17日					
	4月18日				1	
	4月22日			4	4	
	4月28日					
Q	4月22日			1		ネ：- ヨ：点在
	5月18日					
合計		3	5	29	24	
		8		53		

注1) 空欄は、クチナガハバチが確認されなかったことを示す。

注2) クチナガハバチ類確認地点におけるネコノメソウ類の生育面積を長辺×短辺×箇所で示す。

「ネ」はネコノメソウ、「ヨ」はヨゴレネコノメを示す。

「-」は、ネコノメソウもしくはヨゴレネコノメが確認されなかったことを示す。

11. 廃棄物等

- 11.1 樹木調査票 11-1
- 11.2 水処理施設から発生する汚泥及び塩の量 11-7

No.	1	調査地	馬頭町大字小口		
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・ <u>下</u> ・凸・凹)・谷・平地	(風当)	強・中・ <u>弱</u>	(面積)	15×15m
(土壌)	ボト ¹ 性 ² <u>褐</u> 森・赤・黄・黄褐森・アト ³ ・グライ・擬グライ・	(日当)	<u>陽</u> ・中陰・陰	(方位)	S40E
	沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他(	(土湿)	乾・ <u>通</u> ・湿・過湿	(傾斜)	10°

(群落名) アカマツ群落					2005年8月17日					調査者				
No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)
1	1 アカマツ	生	21.6	16.0										
2	2 アカマツ	生	35.7	19.0										
3	3 アカマツ	生	30.1	18.0										
4	4 アカマツ	生	21.7	19.0										
5	5 アカマツ	枯	21.8	19.0										
6	6 アカマツ	生	16.5	19.0										
7	7 アカマツ	生	21.2	19.0										
8	8 アカマツ	枯	24.5	18.0										
9	9 アカマツ	生	22.0	16.0										
10	10 アカマツ	生	20.2	17.0										
11	11 アカマツ	生	27.2	19.0										
12	12 アカマツ	枯	19.2	2.8										
13	13 ムラサキシキブ	生	3.8	3.7										
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														

No.	2	調査地	馬頭町大字小口		
(地形)	山頂・ <u>尾根</u> ・斜面(上・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当)	強・中・ <u>弱</u>	(面積)	15×15m
(土壌)	ボト ¹ 性 ² <u>褐</u> 森・赤・黄・黄褐森・アト ³ ・グライ・擬グライ・	(日当)	<u>陽</u> ・中陰・陰	(方位)	N10W
	沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他(	(土湿)	乾・ <u>通</u> ・湿・過湿	(傾斜)	15°

(群落名) コナラ-アズマネザサ群落					2005年8月17日					調査者				
No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)
1	1 カスミザクラ	生	29.1	13.0	30	コナラ	生	40.7	18.0					
2	2 エゴノキ	枯	10.4	6.1		コナラ	生	12.1	18.0					
3	3 アオハダ	生	13.4	10.0		コナラ	生	23.0	18.0					
4	4 アオハダ	生	14.9	10.0	31	コナラ	生	9.1	10.0					
5	4 フジ	生	3.0	10.0	32	ネジキ	生	2.8	4.4					
6	5 コナラ	生	26.0	17.0	33	ネジキ	生	3.6	4.8					
7	6 コナラ	生	14.4	11.0	34	カスミザクラ	枯	5.6	2.8					
8	7 コナラ	生	10.7	9.0	35	タカノツメ	生	6.0	5.6					
9	8 ミヤマガマズミ	生	1.6	2.5	36	カスミザクラ	生	15.5	13.0					
10	9 カマツカ	生	1.9	2.0	37	アカシデ	生	18.9	15.0					
11	10 ミヤマガマズミ	生	1.9	2.5	38	コナラ	生	8.5	6.5					
12	11 エゴノキ	生	3.4	4.6	39	ネジキ	生	2.1	2.5					
13	12 コナラ	枯	5.1	3.7	40	ネジキ	生	2.6	3.4					
14	13 タカノツメ	生	2.1	2.8	41	ウリカエデ	生	3.1	3.8					
15	14 アオハダ	生	6.8	10.0	42	トウゴクミツバツツジ	生	2.0	2.4					
16	15 アオハダ	生	10.7	10.0	43	コナラ	枯	9.0	8.0					
17	16 アオハダ	生	3.1	10.0	44	コナラ	生	30.0	17.0					
18	17 アオハダ	生	9.8	10.0	45	アオハダ	生	6.0	7.8					
19	18 アオハダ	生	10.9	10.0		アオハダ	生	4.5	7.8					
20	19 コナラ	生	26.6	18.0		アオハダ	生	5.8	7.8					
21	20 フジ	生	2.8	10.0		アオハダ	生	5.6	7.8					
22	21 アズキナシ	生	3.1	4.5		アオハダ	生	2.4	7.8					
23	22 アズキナシ	生	2.6	4.5		アオハダ	生	6.3	7.8					
24	23 ナツハゼ	生	2.6	3.5	46	アズキナシ	生	4.4	6.6					
25	24 ヤマツツジ	生	1.7	2.3		アズキナシ	生	4.9	6.6					
26	25 ヤマツツジ	生	1.7	2.3	47	アブラツツジ	生	2.1	3.6					
27	26 トウゴクミツバツツジ	生	2.3	2.9		アブラツツジ	生	2.5	3.6					
28	27 ナツハゼ	生	2.3	3.1		アブラツツジ	生	1.5	3.6					
29	28 トウゴクミツバツツジ	生	2.0	1.9		アブラツツジ	生	1.5	3.6					
30	29 ネジキ	生	4.4	5.0	48	ヤマツツジ	生	1.6	2.4					
31	30 アズキナシ	生	4.7	5.9	49	ヤマツツジ	生	1.4	2.2					
32	31 アズキナシ	生	3.2	5.9	50	コナラ	生	29.8	20.0					
33	32 ミヤマガマズミ	生	1.8	2.6		コナラ	生	26.0	20.0					
34	33 ミヤマガマズミ	生	1.7	2.6		コナラ	生	20.1	20.0					
35	34 フジ	生	1.7	3.3		コナラ	生	17.7	20.0					
36	35 トウゴクミツバツツジ	生	2.3	2.5	51	コナラ	生	29.4	21.0					
37	36 トウゴクミツバツツジ	生	2.0	2.5	52	タカノツメ	生	4.8	5.4					
38	37 ミヤマガマズミ	生	1.8	3.3		タカノツメ	生	3.3	5.4					
39	38 ミヤマガマズミ	生	2.1	3.3		タカノツメ	生	3.9	5.4					
40	39 トウゴクミツバツツジ	生	2.0	2.8		タカノツメ	生	3.7	5.4					

11. 廃棄物等 11.1 樹木調査票

No. 2		調査地		馬頭町大字小口	
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)・谷・平地		(風当) 強・中・弱		(面積) 15×15m	
(土壌) おど性 褐森・赤・黄・黄褐森・アト・グライ・擬グライ・		(日当) 陽・中陰・陰		(方位) N10W	
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他(		(土湿) 乾・通・湿・過湿		(傾斜) 15°	

(群落名) コナラ-アズマネザサ群落 2005年8月17日					調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)
1	タカノツメ	生	5.5	5.4					
2	53 コナラ	生	41.6	13.0					
3	コナラ	生	15.7	13.0					
4	コナラ	生	15.1	13.0					
5	54 コナラ	生	24.2	17.0					
6	55 カマツカ	生	1.8	2.1					
7	56 ヤマツツジ	生	1.5	1.9					
8	57 アズキナシ	生	2.9	5.2					
9	アズキナシ	生	3.3	5.2					
10	アズキナシ	生	4.3	5.2					
11	58 エゴノキ	生	5.2	6.1					
12	59 エゴノキ	生	3.4	3.7					
13	60 トウゴクミツバツツジ	生	1.9	3.0					
14	トウゴクミツバツツジ	生	1.6	3.0					
15	61 コシアブラ	生	1.9	2.2					
16	62 ミヤマガマズミ	生	2.1	2.8					
17	63 ナツハゼ	生	1.4	2.1					
18	64 ヤマボウシ	生	2.0	2.5					
19	65 トウゴクミツバツツジ	生	1.9	2.1					
20	66 リョウブ	生	9.4	8.8					
21	リョウブ	生	11.1	8.8					
22	リョウブ	生	8.3	8.8					
23	リョウブ	生	11.1	8.8					
24	67 コナラ	生	27.2	16.0					
25	68 コナラ	枯	13.3	10.0					
26	69 コナラ	生	4.7	3.3					
27	70 マルバアオダモ	生	3.5	5.3					
28	マルバアオダモ	生	3.9	5.3					
29	マルバアオダモ	生	2.1	5.3					
30	71 ナツハゼ	生	2.0	2.9					
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									

No. 3		調査地		馬頭町大字小口	
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凸・凹)・谷・平地		(風当) 強・中・弱		(面積) 15×15m	
(土壌) おど性 褐森・赤・黄・黄褐森・アト・グライ・擬グライ・		(日当) 陽・中陰・陰		(方位) N10W	
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他(		(土湿) 乾・通・湿・過湿		(傾斜) 10°	

(群落名) スギ・ヒノキ植林 2005年8月17日					調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)
1	スギ	生	31.8	20.0	36	スギ	生	23.9	20.0
2	クサギ	生	5.7	5.8	37	不明 広葉樹	枯	1.4	2.6
3	クサギ	生	2.1	3.4	38	ヒメコウゾ	生	2.0	2.3
4	クサギ	生	3.3	3.4	39	クサギ	生	3.3	3.7
5	クサギ	生	1.9	3.4	40	クサギ	生	3.1	3.2
6	4 スギ	生	18.9	20.0	41	スギ	生	19.4	18.0
7	5 サンショウ	生	1.7	3.2	42	クサギ	生	2.2	3.0
8	6 ホオノキ	生	2.2	4.6	43	クサギ	生	1.8	3.0
9	7 ウワミズザクラ	生	3.9	4.2	44	ムラサキシキブ	生	2.6	4.2
10	8 ウワミズザクラ	生	3.6	4.3	45	ムラサキシキブ	生	1.7	4.2
11	9 クリ	生	2.5	4.5	46	クサギ	生	1.9	2.4
12	10 クサギ	生	2.4	3.4	47	スギ	生	3.9	3.4
13	11 スギ	生	27.0	20.0	48	スギ	生	18.3	8.0
14	12 アオハダ	生	2.1	3.4	49	クサギ	生	1.8	2.0
15	アオハダ	生	2.1	3.4	50	ホオノキ	生	3.0	4.9
16	13 ヤマウルシ	生	1.4	2.1	51	クサギ	生	1.7	2.0
17	14 スギ	生	26.5	20.0	52	スギ	生	24.3	20.0
18	15 スルデ	生	3.4	3.0	53	ヒメコウゾ	生	2.1	2.7
19	16 スギ	生	18.7	18.0	54	スギ	生	19.6	20.0
20	17 スギ	生	27.9	20.0	55	クサギ	生	3.2	3.6
21	18 ムラサキシキブ	生	3.2	3.8	56	スギ	生	13.2	15.0
22	19 ウワミズザクラ	生	2.0	3.3	57	ヒメコウゾ	生	2.0	2.6
23	20 スギ	生	23.8	19.0	58	クマヤナギ	生	0.3	2.4
24	21 サクラ属の一種	生	3.4	3.3	59	ヤマウルシ	生	2.1	3.0
25	22 スギ	生	25.6	20.0	60	ヤマウルシ	生	1.5	3.0
26	23 クサギ	生	2.8	2.5	61	フジ	生	0.3	2.2
27	24 カスミザクラ	生	1.4	2.2	62	ムラサキシキブ	生	1.7	3.4
28	25 ヒメコウゾ	生	1.8	2.0	63	ムラサキシキブ	生	1.6	3.1
29	26 スギ	生	23.0	20.0	64	ムラサキシキブ	生	1.3	3.1
30	27 クサギ	生	2.5	2.6	65	ヒメコウゾ	生	1.9	2.5
31	28 ヒメコウゾ	生	1.5	2.2	66	スギ	生	18.1	18.0
32	29 ヒメコウゾ	生	2.1	2.2	67	ウワミズザクラ	生	3.6	4.1
33	30 ムラサキシキブ	生	2.1	3.1	68	ウワミズザクラ	生	3.4	4.1
34	31 ムラサキシキブ	生	2.1	3.1	69	ウワミズザクラ	生	3.1	4.1
35	32 ムラサキシキブ	枯	1.9	2.3		クサギ	生	2.0	1.9
36	33 カスミザクラ	生	4.0	6.2		スギ	生	1.9	2.0
37	34 スギ	枯	32.9	3.3		スギ	生	25.9	20.0
38	35 クサギ	生	3.0	3.5		クサギ	生	3.3	4.0
39	36 スギ	生	26.5	20.0		スギ	生	25.1	20.0
40	37 スギ	生	17.6	18.0					

No. 3		調査地 馬頭町大字小口	
(地形)	山頂・尾根・斜面(☒)・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当) 強・中(☒)弱	(面積) 15×15m
(土壌)	おど性(☒)褐・赤・黄・黄褐・灰・擬灰・	(日当) (☒)陽・中陰・陰	(方位) N10W
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他()		(土湿) 乾・通(☒)湿・過湿	(傾斜) 10°

(群落名) スギ・ヒノキ植林					2005年8月17日 調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高(m)	No.	種名	状態	DBH(cm)	樹高(m)
1	70 ヒメコウソ	生	1.8	2.6					
2	71 マタタビ	生	0.8	3.6					
3	72 ムラサキシキブ	生	1.4	2.5					
4	ムラサキシキブ	生	1.5	2.5					
5	73 不明 広葉樹	枯	1.7	2.3					
6	74 クサギ	生	2.5	4.0					
7	75 スルデ	生	1.9	3.1					
8	76 スルデ	生	2.2	2.9					
9	77 不明 広葉樹	枯	3.5	4.6					
10	78 ケヤキ	生	1.8	3.9					
11	79 ミツバアケビ	生	0.7	4.3					
12	80 クサギ	生	3.8	4.0					
13	81 スギ	生	21.3	20.0					
14	82 クサギ	生	2.7	3.1					
15	83 ムラサキシキブ	生	1.5	2.8					
16	84 ムラサキシキブ	生	1.9	2.9					
17	85 クサギ	生	3.5	4.4					
18	86 ムラサキシキブ	生	2.2	3.9					
19	ムラサキシキブ	生	2.2	3.9					
20	87 ウメモドキ	生	1.5	3.1					
21	88 サルトリイバラ	生	0.4	3.4					
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									

No. 4		調査地 馬頭町大字小口	
(地形)	山頂・尾根・斜面(☒)・上・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当) 強・中(☒)弱	(面積) 15×15m
(土壌)	おど性(☒)褐・赤・黄・黄褐・灰・擬灰・	(日当) (☒)陽・中陰・陰	(方位) N5E
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他()		(土湿) 乾・通(☒)湿・過湿	(傾斜) 15°

(群落名) アカマツ-コナラ群落					2005年8月18日 調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高(m)	No.	種名	状態	DBH(cm)	樹高(m)
1	1 リョウブ	生	2.5	2.8	30	アオハダ	生	2.5	3.5
2	2 ヤマトツツジ	生	2.1	2.7	31	アオハダ	生	2.9	3.7
3	3 キハギ	生	1.5	1.7	32	ヤマウルシ	生	3.1	3.3
4	4 ヤマトツツジ	生	2.2	1.8	33	クリ	生	1.6	2.7
5	5 ウリカエデ	生	2.5	2.4	34	ヤマウルシ	生	1.6	2.2
6	6 ナツハゼ	生	1.8	2.1	35	アオハダ	生	1.8	2.9
7	7 ヤマウルシ	生	4.9	6.6	36	ヤマウルシ	生	1.4	2.4
8	ヤマウルシ	生	4.6	6.6	37	ネジキ	生	2.2	2.3
9	ヤマウルシ	生	2.8	6.6	38	ナツハゼ	生	2.7	2.6
10	8 フジ	生	2.8	14.0	39	ヤマツツジ	生	1.7	1.9
11	フジ	生	2.2	14.0	40	イヌツゲ	生	1.4	2.1
12	フジ	生	0.5	14.0	41	リョウブ	生	8.6	6.4
13	9 バイカツツジ	生	1.6	1.7	リョウブ	生	7.4	6.4	
14	10 マルバアオダモ	生	1.3	1.6	42	タカノツメ	生	3.2	4.6
15	11 カスミザクラ	生	2.4	2.4	タカノツメ	生	6.2	4.6	
16	12 マルバアオダモ	生	1.5	2.0	タカノツメ	生	7.0	4.6	
17	13 ネジキ	生	2.2	2.3	タカノツメ	生	6.4	4.6	
18	14 ヤマトツツジ	生	1.8	1.8	43	アオハダ	生	1.4	2.1
19	15 バイカツツジ	生	1.4	1.9	44	ヤマウルシ	枯	4.8	5.3
20	バイカツツジ	生	8.0	1.9	45	ネジキ	生	3.9	3.8
21	バイカツツジ	生	9.0	1.9	46	マルバアオダモ	生	6.0	5.6
22	16 ナツハゼ	生	1.9	2.4	47	ナツハゼ	生	1.4	3.5
23	17 ヤマウルシ	生	1.5	2.2	ナツハゼ	生	2.0	3.5	
24	18 アオダモ	生	2.2	3.3	ナツハゼ	生	1.4	3.5	
25	19 ネジキ	生	1.6	2.1	48	ヤマツツジ	生	1.4	2.2
26	20 コナラ	生	19.9	14.0	49	アオハダ	生	2.9	5.7
27	コナラ	生	21.5	14.0	50	ヤマウルシ	生	3.5	4.5
28	コナラ	生	6.8	14.0	51	ミヤマガマズミ	生	2.9	3.6
29	21 コナラ	生	24.6	14.0	ミヤマガマズミ	生	1.6	3.6	
30	コナラ	生	19.0	14.0	ミヤマガマズミ	生	1.7	3.6	
31	22 アカマツ	生	34.5	17.0	52	リョウブ	生	7.0	7.2
32	23 ネジキ	生	1.6	2.6	53	ヤマウルシ	生	2.5	3.1
33	ネジキ	生	1.7	2.6	54	ウリカエデ	生	2.4	3.3
34	24 マルバアオダモ	生	1.3	2.7	ウリカエデ	生	1.7	3.3	
35	25 ヤマウルシ	生	1.5	2.5	ウリカエデ	生	1.3	3.3	
36	26 ナツハゼ	生	2.3	2.2	ウリカエデ	生	1.7	3.3	
37	27 ナツハゼ	生	1.6	2.8	ウリカエデ	生	2.3	3.3	
38	28 ヤマウルシ	生	2.5	2.4	55	リョウブ	生	5.6	5.4
39	29 リョウブ	生	8.3	6.3	56	トウゴクミツバツツジ	生	1.4	3.0
40	リョウブ	生	5.7	6.3	57	アカマツ	生	14.5	12.0

No. 4	調査地	馬頭町大字小口
(地形)	山頂・尾狹・斜面(上・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風向) 強・中・弱
(土壌)	ぼど性(褐赤・赤・黄・黄褐赤・アンド・グレイ・擬グレイ)	(日当) 陽・中陰・陰
	沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他()	(土湿) 乾・通・湿・過湿
		(面積) 15×15m
		(方位) N5E
		(傾斜) 15°

(群落名)		アカマツ-コナラ群落			2005年8月18日		調査者			
No.	種名	状態	DBH	樹高(m)	No.	種名	状態	DBH(cm)	樹高(m)	
1	58	バイカウツジ	生	1.8	2.4		タカノツメ	生	2.8	7.4
2	59	アカマツ	生	19.3	12.0	80	ヤマウルシ	生	5.6	5.6
3	60	アカマツ	枯	12.6	10.0	81	ナツハゼ	生	3.6	2.4
4	61	コシアブラ	生	11.5	8.3		ナツハゼ	生	3.9	2.4
5		コシアブラ	生	5.7	8.3		ナツハゼ	生	2.1	2.4
6	62	コナラ	生	12.1	7.1	82	ヤマウルシ	生	1.8	3.6
7	63	アオハダ	生	1.6	3.3	83	ヤマウルシ	生	1.4	3.0
8	64	アオハダ	生	2.4	3.9	84	ウツミズザクラ	生	1.7	2.3
9	65	ヤマツツジ	生	1.3	2.3	85	ネジキ	生	5.0	3.7
10	66	アカシデ	生	4.3	5.0		ネジキ	生	5.4	3.7
11	67	ヤマウルシ	生	2.0	3.4	86	ヤマウルシ	生	1.3	2.5
12	68	アカマツ	生	26.0	14.0	87	マルバアオダモ	生	1.3	2.1
13	69	リョウブ	生	10.7	7.3	88	マルバアオダモ	生	1.2	3.6
14		リョウブ	生	8.1	7.3	89	ミヤマガマズミ	生	2.9	3.6
15		リョウブ	生	8.9	7.3	90	ヤマウルシ	生	1.4	3.1
16		リョウブ	生	5.9	7.3	91	ミヤマガマズミ	生	1.9	3.1
17	70	リョウブ	生	1.4	2.6	92	アオハダ	生	3.3	3.3
18	71	アオハダ	生	2.7	3.6	93	バイカウツジ	生	1.5	2.5
19		アオハダ	生	1.9	3.6	94	ネジキ	生	4.7	4.5
20		アオハダ	生	1.9	3.6		ネジキ	生	2.5	4.5
21	72	ヤマツツジ	生	0.9	1.5		ネジキ	生	2.2	4.5
22	73	ヤマツツジ	生	0.8	2.0	95	ネジキ	生	3.2	4.1
23	74	アオハダ	生	3.0	4.3	96	リョウブ	生	3.7	4.5
24		アオハダ	生	2.9	4.3	97	アカマツ	枯	14.4	5.4
25		アオハダ	生	2.0	4.3	98	フジ	生	2.8	5.4
26		アオハダ	生	2.3	4.3		フジ	生	1.8	5.4
27	75	ネジキ	生	1.6	3.2	99	アオハダ	生	3.7	4.4
28	76	ミヤマガマズミ	生	2.9	3.5		アオハダ	生	3.1	4.4
29		ミヤマガマズミ	生	3.0	3.5		アオハダ	生	3.7	4.4
30		ミヤマガマズミ	生	2.2	3.5	100	リョウブ	生	2.0	2.9
31		ミヤマガマズミ	生	2.0	3.5	101	リョウブ	生	1.7	3.3
32		ミヤマガマズミ	生	2.2	3.5	102	クリ	生	1.8	2.8
33		ミヤマガマズミ	生	2.2	3.5	103	リョウブ	生	2.3	3.3
34		ミヤマガマズミ	生	2.4	3.5	104	カマツカ	生	1.9	3.5
35	77	コバノガマズミ	生	1.7	2.4	105	ウツミズザクラ	生	3.9	5.0
36	78	マルバアオダモ	生	3.9	4.8	106	リョウブ	生	2.5	3.6
37		マルバアオダモ	生	1.8	4.8	107	リョウブ	生	3.4	3.7
38	79	タカノツメ	生	7.7	7.4	108	ヤマウルシ	生	8.7	6.6
39		タカノツメ	生	8.4	7.4	109	ネジキ	生	4.9	5.2
40		タカノツメ	生	4.6	7.4		ネジキ	生	4.2	5.2

No. 4	調査地	馬頭町大字小口		
(地形)	山頂・ <u>尾根</u> ・斜面(上・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当)	強・中・ <u>弱</u>	(面積) 15×15m
(土壌)	ぼど性・ <u>褐色</u> ・赤・黄・黄褐色・ <u>アル</u> ・ <u>グレイ</u> ・擬 <u>グレイ</u> ・	(日当)	<u>陽</u> ・中陰・陰	(方位) N5E
	沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他(	(土湿)	乾・ <u>通</u> ・湿・過湿	(傾斜) 15°

(群落名) アカマツ-コナラ群落			2005年8月18日		調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)
1	110 エゴノキ	生	3.1	3.6					
2	111 フジ	生	0.4	2.9					
3	112 コシアブラ	生	2.5	2.5					
4	113 ネジキ	生	3.1	3.3					
5	114 マルバアオダモ	生	2.0	3.5					
6	マルバアオダモ	生	4.1	3.5					
7	115 アカマツ	生	32.2	16.0					
8	116 アカマツ	生	17.9	13.0					
9	117 ヤマウルシ	生	9.0	5.4					
10	118 ヤマウルシ	生	0.3	3.0					
11	119 マルバアオダモ	生	1.0	3.0					
12	120 マルバアオダモ	生	1.2	3.4					
13	121 マルバアオダモ	生	2.2	3.3					
14	122 ネジキ	生	6.1	5.0					
15	ネジキ	生	4.4	5.0					
16	ネジキ	生	2.3	5.0					
17	123 リョウブ	生	1.9	2.1					
18	124 マルバアオダモ	生	0.8	2.8					
19	125 リョウブ	生	2.1	3.9					
20	リョウブ	生	1.8	3.9					
21	126 ヤマザクラ	生	1.7	2.6					
22	127 リョウブ	生	1.8	2.6					
23	128 ネジキ	生	4.2	3.9					
24	ネジキ	生	2.3	3.9					
25	ネジキ	生	4.8	3.9					
26	ネジキ	生	6.7	3.9					
27	ネジキ	生	3.9	3.9					
28	129 マルバアオダモ	生	9.6	8.1					
29	マルバアオダモ	生	6.5	8.1					
30	130 ヤマウルシ	生	2.6	3.2					
31	131 アカマツ	枯	29.1	6.0					
32	132 ヤマザクラ	生	3.1	3.1					
33	133 アオダモ	生	1.9	3.2					
34	アオダモ	生	0.6	3.2					
35	134 シラカシ	生	4.6	3.4					
36	135 リョウブ	生	0.9	2.4					
37	136 アカマツ	生	28.6	16.0					
38	137 アオハダ	生	1.8	3.0					
39	アオハダ	生	0.8	3.0					
40	138 ヤマザクラ	生	1.8	2.4					

No. 5		調査地		馬頭町大字小口	
(地形)	山頂・尾根・斜面(☒)・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当)	強・中(☒)	(面積)	15×10m
(土壌)	おど ⁺ 性(☒)・赤・黄・黄褐森・ｱﾝﾄﾞ・ｸﾞﾗｲ・擬ｸﾞﾗｲ・	(日当)	(☒)・中陰・陰	(方位)	S30W
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他()		(土湿)	乾・通(☒)・湿・過湿	(傾斜)	10°

(群落名) スギ・ヒノキ若齢林					2005年8月18日					調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)					
1	1	ヒノキ	生	8.4	6.3									
2	2	ヒノキ	生	8.1	5.9									
3	3	ヒノキ	生	10.3	7.6									
4	4	ヒノキ	生	9.7	7.5									
5	5	ヒノキ	生	11.0	7.0									
6	6	ヒノキ	生	9.1	6.9									
7	7	ヒノキ	生	9.2	6.6									
8	8	ヒノキ	生	10.4	6.6									
9	9	ヒノキ	生	3.4	3.9									
10	10	ヤマウルシ	生	0.7	1.7									
11	11	ヒノキ	生	8.5	5.9									
12	12	ヒノキ	生	9.8	6.9									
13	13	ヒノキ	生	7.4	5.9									
14	14	ヒノキ	生	7.3	5.9									
15	15	ヒノキ	生	8.3	6.0									
16	16	ヒノキ	生	7.6	6.0									
17	17	ヒノキ	生	10.2	7.3									
18	18	ヒノキ	生	9.5	6.5									
19	19	ヒノキ	生	10.7	6.7									
20	20	ヒノキ	生	10.5	6.7									
21	21	ヒノキ	生	9.5	6.9									
22	22	ヒノキ	生	7.4	5.7									
23	23	ヒノキ	生	8.7	6.2									
24	24	ヒノキ	生	8.8	6.2									
25	25	ヒノキ	生	10.1	6.2									
26	26	ヒノキ	生	9.4	5.8									
27	27	ヒノキ	生	1.0	1.8									
28		ヒノキ	生	0.8	1.8									
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														

No. 6		調査地		馬頭町大字小口	
(地形)	山頂・尾根・斜面(☐)・上・中・下・凸・凹)・谷・平地	(風当)	強・中(☒)	(面積)	10×10m
(土壌)	おど ⁺ 性(☒)・赤・黄・黄褐森・ｱﾝﾄﾞ・ｸﾞﾗｲ・擬ｸﾞﾗｲ・	(日当)	(☒)・中陰・陰	(方位)	-
沼沢・沖積・高湿草・非固結岩・水面下・その他()		(土湿)	乾・通(☒)・湿・過湿	(傾斜)	-

(群落名) 伐採跡地群落					2005年8月19日					調査者				
No.	種名	状態	DBH	樹高 (m)	No.	種名	状態	DBH (cm)	樹高 (m)					
1	ヤマザクラ	生	4.0	6.3										
2	ヤマザクラ	生	3.2	6.3										
3	ヤマザクラ	生	3.9	6.3										
4	ヤマザクラ	生	3.3	6.3										
5	ヤマザクラ	生	4.5	6.3										
6	ヤマザクラ	生	4.1	6.3										
7	ヤマザクラ	生	2.7	6.3										
8	ヤマザクラ	生	4.3	6.3										
9	2	コナラ	生	2.7	3.0									
10	3	ヤマザクラ	生	6.3	5.0									
11	ヤマザクラ	生	3.9	5.0										
12	ヤマザクラ	生	3.9	5.0										
13	ヤマザクラ	生	5.2	5.0										
14	ヤマザクラ	生	4.0	5.0										
15	ヤマザクラ	生	2.6	5.0										
16	ヤマザクラ	生	5.2	5.0										
17	ヤマザクラ	生	3.7	5.0										
18	4	ツノハシバミ	生	2.0	2.8									
19	ツノハシバミ	生	2.3	2.8										
20	ツノハシバミ	生	2.5	2.8										
21	5	クリ	生	8.2	7.0									
22	クリ	生	3.2	7.0										
23	クリ	生	2.8	7.0										
24	クリ	生	8.1	7.0										
25	6	クリ	生	2.7	2.4									
26	クリ	生	2.4	2.4										
27	クリ	生	3.1	2.4										
28	クリ	生	3.2	2.4										
29	7	コナラ	生	2.2	2.6									
30	8	コナラ	生	2.0	2.1									
31	9	コナラ	生	1.7	2.6									
32	10	コナラ	生	1.8	3.0									
33	コナラ	生	3.7	3.0										
34	コナラ	生	1.2	3.0										
35	コナラ	生	3.2	3.0										
36	11	コナラ	生	0.4	2.5									
37	12	コナラ	生	2.1	2.8									
38														
39														
40														

[illegible]

11.2 水処理施設から発生する汚泥及び塩の量

(1) 汚泥

1) アルカリ凝集沈殿工程からの発生スラッジ量

a) SS より

流入 SS=300mg/ℓ、処理水 SS=10mg/ℓ

汚泥生成比 1.00kg-ds/kg-SS

$$100\text{m}^3/\text{日} \times (300 - 10) \text{ mg}/\ell \div 1000 = 29.0\text{kg}/\text{日}$$

b) 凝集剤より

凝集剤（塩化第2鉄）添加量=排水量に 60mg/ℓ

汚泥生成比 0.658kg-ds/kg-Fe

$$100\text{m}^3/\text{日} \times 60\text{mg}/\ell \div 1000 \times 0.658 = 3.9\text{kg}/\text{日}$$

c) 炭酸ソーダより

流入 Ca^{2+} = 1000mg/ℓ

炭酸ソーダ添加量 = 排水量に 2.65kg- Na_2CO_3 /kg- Ca^{2+}

汚泥生成比 = 0.944kg-ds/kg- Na_2CO_3

$$100\text{m}^3/\text{日} \times 1000\text{mg}/\ell \times 2.65\text{kg-}\text{Na}_2\text{CO}_3/\text{kg-}\text{Ca}^{2+} \\ \times 0.944\text{kg-ds/kg-}\text{Na}_2\text{CO}_3 \div 1000 = 250.2 \text{ kg}/\text{日}$$

d) 合計汚泥量

$$29.0 + 3.9 + 250.2 = 283.1\text{kg}/\text{日}$$

2) 凝集沈殿処理工程からの発生スラッジ量

a) BOD より

流入 BOD=250mg/ℓ、処理水 BOD=3mg/ℓ

$$100\text{m}^3/\text{日} \times (250 - 3) \text{ mg}/\ell \div 1000 \times 0.4 \text{ (汚泥転換率)} \\ = 9.9\text{kg}/\text{日}$$

b) T-N より

流入 T-N=300mg/ℓ、処理水 T-N=10mg/ℓ

$$100\text{m}^3/\text{日} \times (300 - 10) \text{ mg}/\ell \div 1000 \times 0.06 \text{ (汚泥転換率)} \\ = 1.7\text{kg}/\text{日}$$

c) メタノールより

流入 T-N=300mg/ℓ

$$100\text{m}^3/\text{日} \times 300\text{mg}/\ell \div 1000 \times 0.25 \text{ (汚泥転換率)} \\ \times 3 \text{ (注入率)} = 22.5\text{kg}/\text{日}$$

d) 凝集剤より

凝集剤（塩化第2鉄）添加量=排水量に 250mg/ℓ

汚泥生成比 0.658kg-ds/kg-Fe

$$100\text{m}^3/\text{日} \times 250\text{mg}/\ell \div 1000 \times 0.658 = 16.5\text{kg}/\text{日}$$

e) 合計汚泥量

$$9.9 + 1.7 + 22.5 + 16.5 = 50.6 \text{ kg/日}$$

3) 汚泥発生量

脱水後の汚泥（脱水ケーキ）の含水率を 85%とする。

$$\begin{aligned} \text{汚泥（脱水ケーキ）量} &: (283.1 \text{ kg/日} + 50.6 \text{ kg/日}) \\ &\quad \times (100 / (100 - 85)) \\ &\quad \div 1,000 \text{ kg/m}^3 = 2.2 \text{ m}^3/\text{日} \\ &= 811.9 \text{ m}^3/\text{年} \end{aligned}$$

(2) 塩

発生する塩全てが NaCl で発生すると仮定する。（原子量：Na=23 Cl=35.5）

流入 Cl^- 3,000 mg/ℓ 処理水 Cl^- 200 mg/ℓ

$$\begin{aligned} \text{塩発生量} &= 100 \text{ m}^3/\text{日} \times (3,000 - 200) \text{ mg/ℓ} \times 58.5 / 35.5 \\ &= 461.4 \text{ kg/日} \\ &= 168.4 \text{ t/年} \end{aligned}$$